松川町学校施設等長寿命化計画

令和２年３月

（令和７年１１月改訂）

松川町教育委員会

目　　次

第１章　計画の基本事項……1
1-1　計画の背景……1
1-2　計画の目的……1
1-3　計画の位置付け・計画期間……2
(1) 計画の位置付け……2
(2) 計画期間……2
1-4　関連する主な計画等の概要……3
(1) 国の動向……3
(2) 本町の動向……6
1-5　計画対象施設……11
(1) 対象施設……11
(2) 対象建物……12

第２章　学校施設等の目指すべき姿……13
2-1　安全な学校施設……13
(1) 災害対策……13
(2) 防犯対策……13
2-2　学習活動に適応し快適な学習空間……13
(1) 快適な学習環境……13
(2) バリアフリー・ユニバーサルデザインの導入……13
2-3　学習活動への適応性……14
2-4　環境に配慮した学校施設……14
(1) エコスクールへの取組……14
(2) 食育環境の充実……14
2-5　地域連携の拠点としての学校施設……14

第３章　対象施設の実態……16
3-1　施設の運営状況と本町の人口推計……16
(1) 小学校の状況……16
(2) 中学校の状況……18
(3) 保育園の状況……20
(4) 子育て支援センターの状況……24
(5) 児童館の状況……24
(6) 人口の将来推計……25
3-2　施設の運営状況・活用状況等の実態……28
(1) 対象施設の配置……28
(2) 学校施設の保有状況……28
(3) 投資的経費の推移……30

3-3　学校施設における劣化状況の実態……31
(1) 調査概要……31
(2) 評価基準・健全度の算定……31
(3) 劣化状況評価結果……33
(4) 個別劣化状況判定結果の整理……34
3-4　今後の維持・更新コストの把握……60
(1)　維持管理コストの現状……60
(2)　従来型による今後の維持・更新コスト……62
(3)　長寿命化による今後の維持・更新コスト……63

第4章　学校施設整備の基本的な方針等……65
4-1　学校施設の長寿命化計画の基本方針……65
4-2　保全に係る基準等の設定……66
(1) 学校施設の長寿命化方針……66
(2) 予防保全型による維持管理……67
(3) 施設関連経費の平準化……67
(4) 目標使用年数の設定……67
(5) 改修周期の設定……69

第5章　方針等を踏まえた施設整備の水準等……70
5-1　改修等の整備水準……70
5-2　維持管理の項目・手法等……70
(1) 情報の整理と更新……70
(2) 維持管理の項目・手法……70

第6章　長寿命化の実施計画……72
6-1　改修等の優先順位付け……72
(1) 財政制約の設定……72
(2) 保全優先度の設定……72
(3) 優先順位に向けた考察……74
6-2　長寿命化計画の検討……76
(1) 改築を中心とした従来型の施設整備……76
(2) 長寿命化改修を中心とした施設整備……77
6-3　改修等の実施計画……79
(1) 今後５年間の整備内容……79
6-4　長寿命化コストの見通しと長寿命化の効果……81
(1) 長寿命化の効果……81
(2) 長寿命化計画によるコストの見通し……81
(3) 維持・更新の課題と今後の方針……81

第7章　長寿命化計画の継続的運用の方針……82

7-1　情報基盤の整備と活用.....82
7-2　推進体制等の整備.....82
7-3　ＰＤＣＡサイクルの確立.....82
参考資料.....83

第１章　計画の基本事項

1-1　計画の背景

本町の学校施設及び保育施設は、これからのまちづくりを支える大切な子どもたちの豊かな人間性を育む場であるとともに、住民の生涯学習の活動拠点、災害時の避難所として防災拠点の役割も担う、地域や世代間の絆を深める“拠り所”となっています。

こうした複合的な機能を有する本町の学校施設及び保育施設ですが、現在の耐震性能に劣る昭和 56 年以前に建設された、いわゆる旧耐震施設であり、老朽化対策が必要となっています。その一方、本町の財政状況が厳しくなる見通しの中で、健全な行財政運営を図る上では、施設の大規模改修や建て替えに関するコスト縮減も大きな命題になります。

本町の将来人口の見通しも勘案する必要があります。現在、本町では少子化が進んでおり、今後も年少人口（15 歳未満）は減少することが予測されています。この予測通りに年少人口が減少し続ける場合、余剰した施設の統廃合や不要となった部分を取り壊す「減築」等といった検討も必要になります。

このような本町の施設の現状とまちづくりにおける機能、将来人口の見通し等を踏まえ、施設の老朽化対策にかかる中長期的なコスト抑制と、学習・保育・地域振興の拠点に相応しい機能との両立を図る、学校施設及び保育施設の整備の在り方を定める必要があります。

1-2　計画の目的

「松川町学校施設等長寿命化計画」（以下、本計画という。）は、就学前児童や児童生徒のみならず、全ての住民が利用する上で求められる安全性・機能性・快適性を備える施設であり続けるよう、施設整備にかかる財政負担の縮減や平準化を図り、中長期的な改修の実施時期や規模等を定める長寿命化方針を明らかにするものです。

【「学校施設の長寿命化」の意義】

学校施設の長寿命化は、施設の耐用年数の延伸、工事費用の縮減や工期短縮、構造躯体の再利用による廃棄物排出量や二酸化炭素発生量の発生抑制等を実現する。

同時に、多様な学習内容・学習形態に対応する教育環境の質的向上の確保と、社会的要請に応じた整備（省エネルギー化、再生可能エネルギーの活用、防災機能の強化、木材の活用、バリアフリー化等）を実現するものである。

（文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画）「総論」の一部を要約）

1-3　計画の位置付け・計画期間

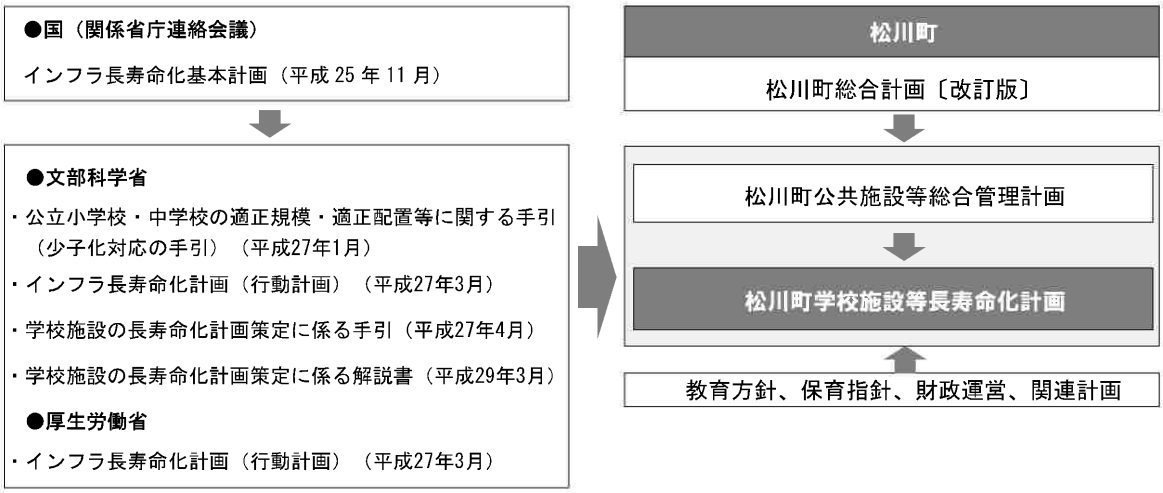
(1) 計画の位置付け

本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」、「文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画）」、「厚生労働省インフラ長寿命化計画（行動計画）」に定められた地方公共団体で策定する「個別施設ごとの長寿命化計画（個別施設計画）」のひとつに該当します。

本町においては、町内の公共施設等の管理方針等を定めた「松川町公共施設等総合管理計画」における個別計画のひとつとして、学校施設及び保育施設等の長寿命化計画に位置付けます。

本計画策定にあたっては、本町の「松川町総合計画〔改訂版〕」及び関連する諸計画、保育指針、中長期的な財政運営及び松川町教育委員会の教育方針との整合を図っています。

図表　本計画の位置付け



(2) 計画期間

上位計画である「松川町公共施設等総合管理計画」の計画期間（平成 29 年度～令和 12 年度）との整合を図り、本計画の期間は令和２(2020)年度から令和 12(2030)年度までの 11 年間とします。

また、施設の長寿命化による財政効果には長期的な視点も必要なことから、コストシミュレーション（費用試算）は今後 40 年間を見通すものとします。

ただし、「松川町公共施設等総合管理計画」が５年ごとに見直す予定であることから、見直し時に本計画の進捗状況を精査し、社会情勢や教育環境の変化等への対応が必要となる場合は適宜見直すものです。

1-4　関連する主な計画等の概要

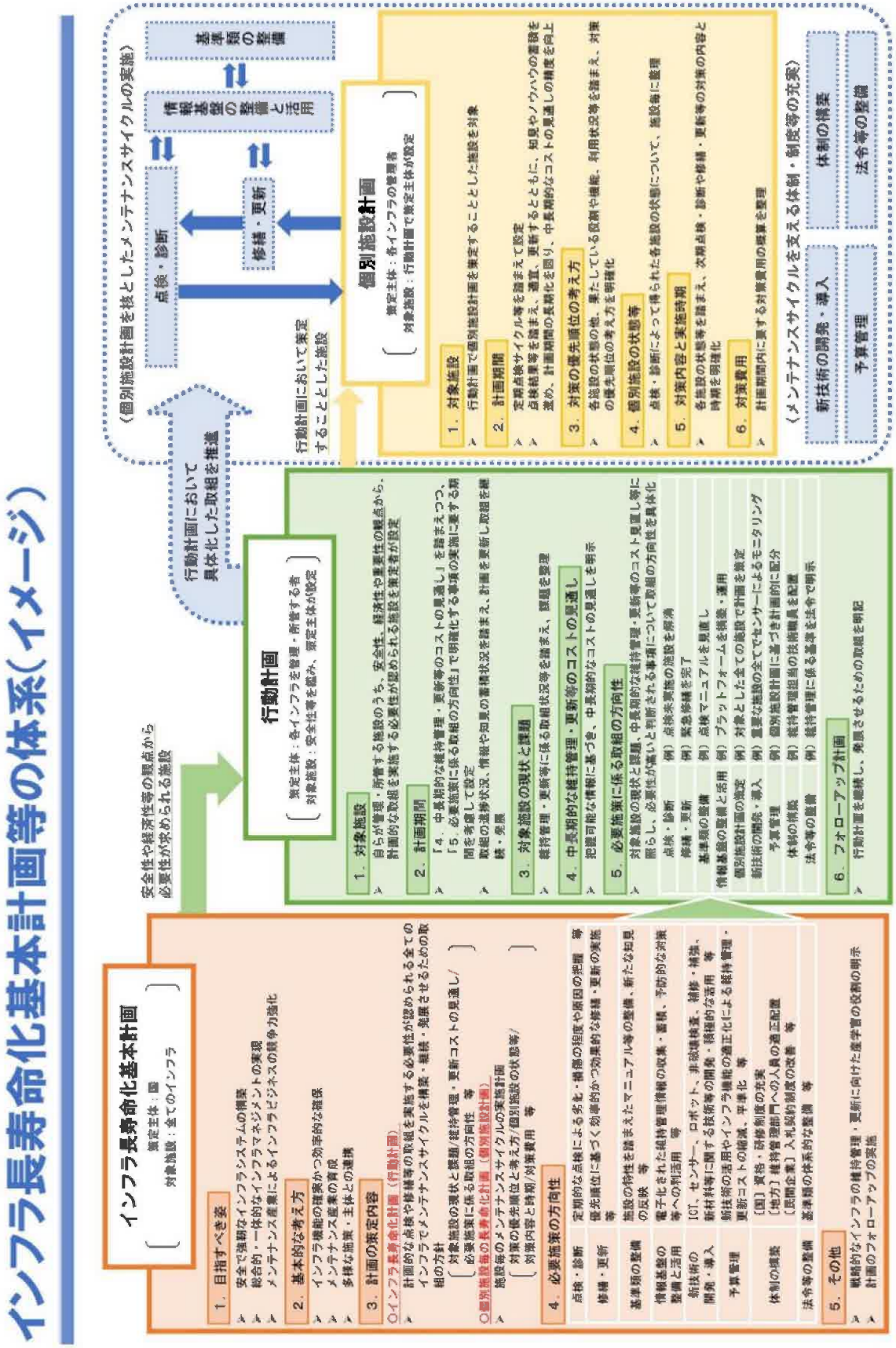
（1）国の動向

ア　インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議

日本再興戦略（平成 25 年 6 月 14 日閣議決定）で示した令和 12 年（2030 年）のあるべき姿のひとつ「安全で強靭なインフラが低コストで実現されている社会」の実現に向け、インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議を設置し、「インフラ長寿命化基本計画」を平成 25 年 11 月に策定しました。

この基本計画に基づき、関係府省庁、自治体レベルの全分野にわたり、インフラ長寿命化計画（行動計画）の策定が進められています。

図表　インフラ長寿命化基本計画等の体系（イメージ）



資料：内閣官房「インフラ長寿命化基本計画（概要）」

イ　文部科学省、厚生労働省の「インフラ長寿命化計画（行動計画）」

学校施設を所管する文部科学省は、国の「インフラ長寿命化基本計画」（平成 25 年 11 月）に基づき、「文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画）」を平成 27 年３月に策定しました。この計画に基づき、全国の教育委員会に対して、令和２年（2020）までに学校施設の長寿命化に向けた個別施設計画の策定を求めており、それを促すため、計画策定の手引等を順次提供しています。

計画の範囲		維持管理等に関する公財政支出があり、多数の国民を受け入れる施設（国公立学校施設、公立社会教育施設、施設運営型独立行政法人、庁舎等）
計画期間		平成 26～令和 2 年（2014～2020 年度）
目指すべき姿		○　各設置者における「メンテナンスサイクル」（①定期的な点検・診断、②計画策定、③計画に基づく対策の実施）の構築 ○　これまでの改築中心から長寿命化への転換による、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減 ○　行動計画・個別施設計画の策定を通じた予算の平準化
取り組みの方向性	点検･診断の着実な実施	地域差のない点検の着実な実施を要請、点検実施の手引を作成・提供
	個別施設計画の策定	個別施設計画策定の手引の作成・提供等により各設置者の取組を促進
	対策の着実な実施	個別施設計画に基づく着実な取組を促進
	予算管理	トータルコスト縮減・予算の平準化の促進、必要な予算の安定的な確保
	指針・手引の策定	「点検・診断」「計画」「対策」の各段階に対応する指針・手引の整備・充実
	体制の構築	体制構築の重要性・手段等に関する周知、先駆的事例の普及啓発
	情報基盤の整備及び活用	施設に関する情報の蓄積・共有の有用性に関する普及啓発
	新技術の開発･導入	非破壊診断技術・新材料に関する研究開発、導入段階に至った新技術の周知

保育所等を所管する厚生労働省でも「厚生労働省インフラ長寿命化計画（行動計画）」を平成 27 年３月に策定し、各設置者における社会福祉施設等の長寿命化に向けた取組を推進しています。

計画の範囲	厚生労働省が所管・管理するインフラについて、安全性、経済性及び重要性の観点から、計画的な維持管理・更新等の取組を実施する必要性が認められる施設（水道、医療、福祉、雇用、年金、官庁施設）
計画期間	平成 27～令和 2 年（2015～2020 年度）
個別施設計画の策定	対象施設について、予防保全型維持管理の考え方を前提とした個別施設計画の策定を推進する。全ての管理者によって早期に計画の策定が進むよう、策定方針や手引の策定等を実施する。

(2) 本町の動向

ア　第５次松川町総合計画〔改訂版〕

「第５次松川町総合計画〔改訂版〕」は町政の最上位計画として、SDGs の視点や考え方を参考とし、共通のプラットフォームを持つことで、若い世代とも地域づくりの考え方を共有し、その理念を経営方針に盛り込む企業・組織等多様な主体と協力・連携していく効果も期待した計画となっています。

まちづくりの将来像	**いっしょに育てよう** **一人ひとりが輝く笑顔あふれるまちまつかわ** 将来像には、松川町に暮らす全ての人や、これから松川町で暮らしを始めたいと考えている多くの人たちに、輝きと笑顔あふれる生活を営んでほしいという想いが込められています。
テーマ 持続可能な地域づくり	今日、長寿命化・情報化・グローバル化など急激に社会が変化しています。人生 100 年時代といわれ、人生設計が多様化してきています。また、ＡＩ（＝artificialintelligence、人工知能）、ＩｏＴ（＝InternetofThings、もののインターネット）、ロボット等の技術革新が進んで、様々な知識や情報が共有され、生産性の向上や新たな価値観によるビジネスが創出されるなど、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く新たな社会、いわゆる「society5.0」と呼ばれる超スマート社会を迎えつつあります。SNS なども普及し、世界中、いつでも、どこでも、誰とでもつながることができるようになって、地球は益々近く感じられるようになりました。 一方で、本格的な人口減少時代が到来し、区会・自治会や公民館等自治組織の運営困難化、災害対策、公共施設等の統廃合、土地・ひとの空洞化問題等、容易には解決できない課題も続出しています。このように、私たちはかつて経験したことのない新たな時代を迎える中で、「どのようにして持続可能な地域をつくっていくか」ということが、これからの地域づくりで問われている大きなテーマだといえます。
計画期間	令和２年（2020 年）４月１日から令和６年（2024 年）３月 31 日までの４年間
まちづくりの将来像を実現するための３つの柱	『あなたの想いを生かします』 『人のつながりを大切にします』 『住みよいまちをつくります』
基本方針 ２安心して子育てできる環境づくりと地域で学び、地域で育つ人づり	**１　子どもの育ちの切れ目のない支援** **町の基本方針** 関係機関や地域と連携して、妊娠期からの切れ目のない子育て支援体制の整備と推進をします。 **基本施策** ③地域と連携した子育てネットワークづくり ④各園の特徴・資源を生かした保育園づくり ⑤保育園と小学校の「学び」と「発達」の接続 **２　探求的・主体的な学び** **町の基本方針** 小中学校の児童生徒の主体的・探究的な学びを育むため、学力の定着と情報化等社会変化に応じた教育のための学習環境を整備します。 **基本施策**

	①基礎学力をつけるための少人数学習や補充的な学習サポート ②教科の学習目標を達成するためのＩＣＴの活用 ③目的意識や挑戦心を持って自律的に学ぶ児童生徒の育成 **３　地域とともに育てる学校づくり** **町の基本方針** ①地域全体で子どもを育てるため、地域と協働し地域に開かれた学校づくりを推進します。 ②一層の少子化を迎える、これからの時代の学校運営を地域とともに考えていきます。 **基本施策** ①地域と学校の相互交流 ②少子化時代の活力ある学校運営の在り方検討 **４　学びが循環する社会づくり** **町の基本方針** ①地域の生活に根差した公民館活動の推進をします。 ②図書館利用を促し、読書活動を推進します。 ③郷土資料の整理を行い、情報を発信して探究活動を推進します。 **基本施策** ①公民館を拠点とした社会教育の充実 ②利用者の思いや学びに寄り添った図書資料の充実 ③歴史に学ぶ地域づくりと魅力ある資料館運営

イ松川町公共施設等総合管理計画

「松川町公共施設等総合管理計画」は、本町が所有する全ての公共施設等について今後整備すべき施設の選定とその方向性を示し、中長期的な施設の保全管理を進めるための計画です。

計画期間		平成28年度から令和12年度までの15年間
対象施設		本町が保有する全施設（98 施設 176 建物、土木インフラを除く）
供給目標		本町が所有する公共施設の総延床面積15%削減
公共施設マネジメントの基本方針	品質	①公共施設の「品質」が今後どうあるべきかを検討し、そのグランドデザインを町民の皆様へ情報提供していきます。 ②「供給」との調整を図りつつ、現時点で「品質」が十分でない施設は優先的に対応します。 ③次世代に引き継ぐ施設については、社会経済情勢などの変化に的確に対応できるよう、適宜整備計画を見直してまいります。
	供給	①これまで整備してきた公共施設を大切に使うとともに、次世代に「引き継ぐ」べき施設を選定します。 ②将来のまちづくりの観点から、「松川町総合計画〔改訂版〕」との整合性を図り施設の再整備を行います。
	財務	①長期的な視点から必要な「品質」については財源を確保し、「財務」からの支援を積極的に行います。 ②効率的な「供給」目標の実現により、投資の選択と集中を行い「財務」負担の削減を行います。 ③持続可能な自治体経営のため、公共施設マネジメントに対する「財務」管理を行います。

ウ松川町教育方針

松川町教育委員会では、長期的視点に立った町の教育の課題と方向性について、次のような検討が行われています。

たくましく生きる力と創造性を備えた子どもたち
(1) 基礎学力の定着と伸長 (2) 世界に通じる広い視野とコミュニケーション能力の育成 (3) 強化学習を達成するためのＩＣＴの活用
保小中・一貫教育の更なる充実
(1) 同じ指導目標・指導内容・指導方法・評価の継続実践 (2) 学校施設の長寿命化計画と保育園・学校施設の在り方検討 ①20 年後を見据えた適正規模・適正配置 ※6 年後の児童生徒数の予測 ・北小 90 名（6 学級）・中央小 482 名（18 学級）・中学校 322 名（9 学級） ・北小 68 名（6 学級）・中央小 363 名（12 学級）・中学校 243 名（9 学級） 小中学校ともに 12 学級以上 18 学級以下 少なくとも学級替えができる複数学級が望ましい
「学校における働き方改革」を視野に入れた学校運営
(1) 「勤務時間」を意識した働き方を進める (2) 業務改善の取組と勤務環境の整備を進める

松川町教育委員会の教育ビジョンと取組（案）

松川町教育委員会

重点目標

知識や技能を働かせ、より深く探究し、創造したり表現したりすることで、未来の創り手として必要な資質と能力を育成する

確かな学力

めあてと挑戦心を持って主体的に学ぶ子

1 少人数学習や学習サポートによる基礎学力の底上げ

・算数指導教員の配置による少人数指導の実現と「分かる授業」の推進
・放課後を利用した数学と英語の補充学習「てらこや」の運営

2 各種検定試験に挑戦する「進んで学ぶ子」の育成

・「英検」「数検」「漢検」の受検対策講座「サマーチャレンジ」の開講
・英検の受検料補助と検定試験実施のための地域人材の活用

3 ＩＣＴを活用した制作や発表などの協働学習の展開

・タブレット１人１台（中学校）の実現と探究･表現のツールとしての活用
・子どものつまずきを洗い出し、学びの定着を助ける個別最適化ＡＩ型教材の導入

4 学力検査の実施と結果の分析・指導の改善

・ＮＲＴ学力検査、ＱＵ検査の実施
・結果分析と改善の手立ての公表

豊かな社会力

社会とかかわることで自己肯定感を育む子

1 世界とつながるコミュニケーション能力の育成

・相手の考え方を理解して自分の考えを発信する「対話的な授業」の推進
・小学校へのＡＬＴの配置と会話表現などの英語スキルの向上
・ＪＩＣＡ研修員や中国児童生徒との交流を通じた人とかかわり合う力の育成

2 自分の力で自分の生き方を選択するための能力や態度の育成

・仕事のやりがいや自己実現の可能性を探る「キャリアフェスティバル」の開催
・中学生の手によるキャリアフェスの企画と運営を通しての主体性と実行力の育成

3 地域の奉仕活動やイベントなどへの参加と参画

・地域行事などへの企画段階からの参加と地域との一体感の醸成
・ボランティア活動への参加を促す「ボランティアカード」の活用と顕彰

学校運営委員会の設置・活力ある学校運営
地域に支えられ地域を支える学校

人間形成の土台づくり

1 妊娠期からの子どもの育ちの切れ目ない支援

・親と子どもの個別ニーズに寄り添ったきめ細やかな相談支援とそのための人的配置及び保健師や心理士などとのチーム支援

2 特別な支援を必要とする子どもの連続的なサポート

・就学相談委員会での判断結果をもとにした児童生徒の継続的支援

3 子どもの自己決定体験を通して主体性と自律性を育む保育

・自分で決めて自分でやり遂げた体験を積ませることによる達成感や自尊心、粘り強さの育成

エ松川町保育指針

本町では、町内５か所の保育園に共通する保育理念と保育目標を定め、子どもにとって最もふさわしい生活の場を提供しています。

保育理念	松川町の恵まれた自然・文化・歴史的環境の中で、子どもの最善の利益を守り、すべての子どもが心身ともに健やかに成長することを願い、子どもにとって最もふさわしい生活の場を提供します。
保育目標	○　健康でたくましい子ども ○　自分から進んでする子ども ○　友達と仲良く遊ぶ子ども ○　よく見、よく聞き、よく考える子ども ○　心豊かな子ども

1-5 計画対象施設

（1）対象施設

本計画の対象施設は、小学校２校、中学校１校、保育園５か所、子ども支援センター１か所、児童館２か所の合計 11 施設です。

図表対象施設（平成 30 年 4 月 1 日現在）

区分	施設名	建物棟数
学校施設	松川中央小学校	6棟
	松川北小学校	4棟
	松川中学校	5棟
保育施設等	福与保育園	1 棟
	大島保育園	1 棟
	双葉保育園	1 棟
	上片桐保育園	1 棟
	名子中央保育園	1 棟
	名子児童館	1 棟
	上片桐児童センター	1 棟
	子育て支援センター	1 棟

(2) 対象建物

対象施設のうち、劣化調査に向け調査対象とする棟別の建築物一覧は次のとおりです。

図表対象建物一覧（平成 30 年 4 月 1 日現在）

施設名	建物名	用途区分		構造	階数	延床面積（㎡）	建築年度		築年数	耐震安全性		
		学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強
松川中央小学校	校舎 1	小学校	校舎	RC	2	2,321	1967	S42	51	旧	済	済
	校舎 2	小学校	校舎	RC	2	1,684	1967	S42	51	旧	済	済
	校舎 3	小学校	校舎	RC	2	418	1967	S42	51	旧	済	済
	校舎 4	小学校	校舎	SRC	2	759	1967	S42	51	旧	済	済
	校舎 5	小学校	給食センター	S	1	569	2013	H25	5	新		
	屋内運動場	小学校	体育館	RC	2	1,354	1968	S43	50	旧	済	済
松川北小学校	校舎 1	小学校	校舎	RC	2	1,173	1964	S39	54	旧	済	済
	校舎 2	小学校	校舎	RC	2	1,182	1965	S40	53	旧	済	済
	校舎 3	小学校	給食センター	RC	1	130	1990	H2	28	新		
	屋内運動場	小学校	体育館	SRC	2	1,350	1984	S59	34	新		
松川中学校	校舎 1	中学校	校舎	RC	3	2,695	1978	S53	40	旧	済	済
	校舎 2	中学校	校舎	RC	3	2,102	1978	S53	40	旧	済	済
	校舎 3	中学校	校舎	RC	2	749	1979	S54	39	旧	済	済
	校舎 4	中学校	給食センター	S	1	455	2018	H30	0	新		
	屋内運動場	中学校	体育館	RC	2	1,737	1980	S55	38	旧	済	済
福与保育園	園舎	保育園	園舎	W	1	316	1978	S53	40	旧	済	済
大島保育園	園舎	保育園	園舎	SW	1	830	1975	S50	43	旧	済	済
双葉保育園	園舎	保育園	園舎	S	1	937	1985	S60	33	新		
上片桐保育園	園舎	保育園	園舎	S	1	1,700	2003	H15	15	新		
名子中央保育園	園舎	保育園	園舎	SW	1	1,971	2014	H26	4	新		
名子児童館	館舎	児童福祉施設	館舎	SW	1	248	1982	S57	36	新		
上片桐児童センター	館舎	児童福祉施設	館舎	SW	1	140	2000	H12	18	新		
子育て支援センター	館舎	児童福祉施設	館舎	SW	1	1,040	1981	S56	37	旧	済	済

第 2 章学校施設等の目指すべき姿

学校施設は、児童生徒が日々の学習や生活のために、日常の多くの時間を過ごす教育施設であり、安全・安心で快適な教育環境の整備が求められます。

また、学校施設は地域の住民にとって生涯学習やスポーツの場として親しまれるとともに、災害が発生した際には避難所としての役割を果たすなど、防災面での機能も期待されています。

本町の「平成 28 年度松川町教育委員会の基本方針」においては、「確かな学力の伸長」「豊かな社会力の育成」「信頼される学校づくり」「幼児期教育の充実」「こども相談・支援の充実」「学びが循環する社会づくり」といった基本方針が掲げられ、将来の松川町を担う子どもたちの生きる力を育み、グローバル社会に活躍できる人材の育成などに取り組んでいくこととしています。

また、将来の地域の人口動向や児童生徒数の推移を見定めながら、施設の在り方を検討し、余裕教室が生じた場合は、適宜、有効活用を図る等といった視点から、学校施設の整備を進めていくにあたっては、環境負荷の低減やバリアフリー、ユニバーサルデザインといったこれからの時代に求められる様々な視点を取り入れていく必要があります。

2-1 安全な学校施設

(1) 災害対策

自然災害等における建物被害を最低限にとどめ、地域の防災拠点、避難所としての役割を担うなど、災害時の対応に配慮した施設とします。

また、自家発電設備、通信設備、非常時の給水システム等の必要な機能を整備します。

(2) 防犯対策

児童生徒が安心して学校生活が過ごせるよう、防犯や施設の安全性に配慮した整備を図ります。

2-2 学習活動に適応し快適な学習空間

(1) 快適な学習環境

快適に学習等ができるように適切な室内環境や吸音・遮音等を備えた施設環境の確保、多様な学習内容・学習形態に対応できる施設整備を進めます。

(2) バリアフリー・ユニバーサルデザインの導入

スロープや階段等に手摺を付けるなど、配慮を必要とする児童生徒を含め、誰もが安心して施設を利用できるよう、バリアフリー・ユニバーサルデザインを取り入れた施設整備を進めます。

2-3 学習活動への適応性

児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけるきめ細かな指導を行うため、個人の習熟度等に応じた少人数授業等に対応した施設整備を図るとともに、ＩＣＴ化への対応等、学習環境の向上を図ります。

2-4 環境に配慮した学校施設

(1) エコスクールへの取組

ＬＥＤ照明等、省エネ性能の高い機器類の導入のほか、自然エネルギーを活用するなど、環境に配慮した施設整備を進めます。

(2) 食育環境の充実

「食育」に関する学習を実施しやすい環境を備えます。

2-5 地域連携の拠点としての学校施設

学校・家庭・地域のネットワーク形成や、コミュニティスクールの一層の推進等、学校教育活動を支えるＰＴＡ等の活動に配慮するとともに、地域に開かれた学校とするため、保護者や地域の住民が学校を訪れ、利用しやすい環境としていきます。

また、学校施設が目指すべき姿として、文部科学省「学校施設整備基本構想の在り方について」（平成 25 年（2013） ３月）では、学校施設の「安全性」・「快適性」・「学習活動への適応性」・「環境への適応性」・「地域の拠点化」の視点から、次のとおり整理しています。

図表学校施設の目指すべき姿の例

1. 安全性

○災害対策
- 地震に強い学校施設
- 津波・洪水に強い学校施設
- 防災機能を備えた学校施設

○防犯・事故対策
- 安全で安心な学校施設

2. 快適性

○快適な学習環境
- 学習能率の向上に資する快適な学習環境
- 児童生徒の学校への愛着や思い出につながり、また、地域の人々が誇りや愛着を持つことができる学校

○教職員に配慮した環境
- 教職員に配慮した空間
- 教職員等の事務負担軽減などのための校務の情報化に必要なＩＣＴ環境

3. 学習活動への適応性

○主体性を養う空間の充実
- 子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境
- 子どもたちの教育等に対する興味関心を引き、自ら学ぶ主体的な行動を促すための空間
- 子どもたちや保護者等が教員を訪れやすい空間
- 社会性を身につけるための空間

○効果的・効率的な施設整備
- 習熟度別指導や少人数指導などの、きめ細かい個に応じた指導を行うための空間
- 調べ学習や習熟度別学習、ティームティーチングなどの多様な学習集団・学習形態を展開するための空間
- 各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるためのＩＣＴ環境
- 各教科等の授業を充実させるための環境

○言語活動の充実
- 各教科等における発表・討論などの教育活動を行うための空間
- 子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境
- 各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるためのＩＣＴ環境

3. 学習活動への適応性（続き）

○理数教育の充実
- 充実した観察・実験を行うための環境

○運動環境の充実
- 充実した運動ができる環境

○伝統や文化に関する教育の充実
- 伝統や文化に関する教育を行うための環境

○外国語教育の充実
- 外国語活動等におけるジェスチャーゲームなどの体を動かす活動や、ペアやグループでの活動など、児童生徒が積極的にコミュニケーションを図ることができるような空間

○学校図書館の活用
- 子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境
- 調べ学習や習熟度別学習、ティームティーチングなどの多様な学習集団・学習形態を展開するための空間
- 各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるためのＩＣＴ環境
- 地域に開かれた学校とするための環境
- 地域の生涯学習の拠点となる学校施設

○キャリア教育・進路指導の充実
- 充実したキャリア教育・進路指導を行うための環境

○食育の充実
- 食育のための空間

○特別支援教育の推進
- バリアフリーに配慮した環境
- 自閉症、情緒障害又はＡＤＨＤ等のある児童生徒に配慮した学校施設

○環境教育の充実
- 地球環境問題への関心を高めるためのエコスクール

4. 環境への適応性
- 環境を考慮した学校施設（エコスクール）

5. 地域の拠点化
- 安全で安心な学校施設
- バリアフリーに配慮した環境
- 地域に開かれた学校とするための環境
- 地域の生涯学習の拠点となる学校施設

資料：文部科学省「学校施設整備基本構想の在り方について」

第 3 章対象施設の実態

3-1 施設の運営状況と本町の人口推計

（1） 小学校の状況

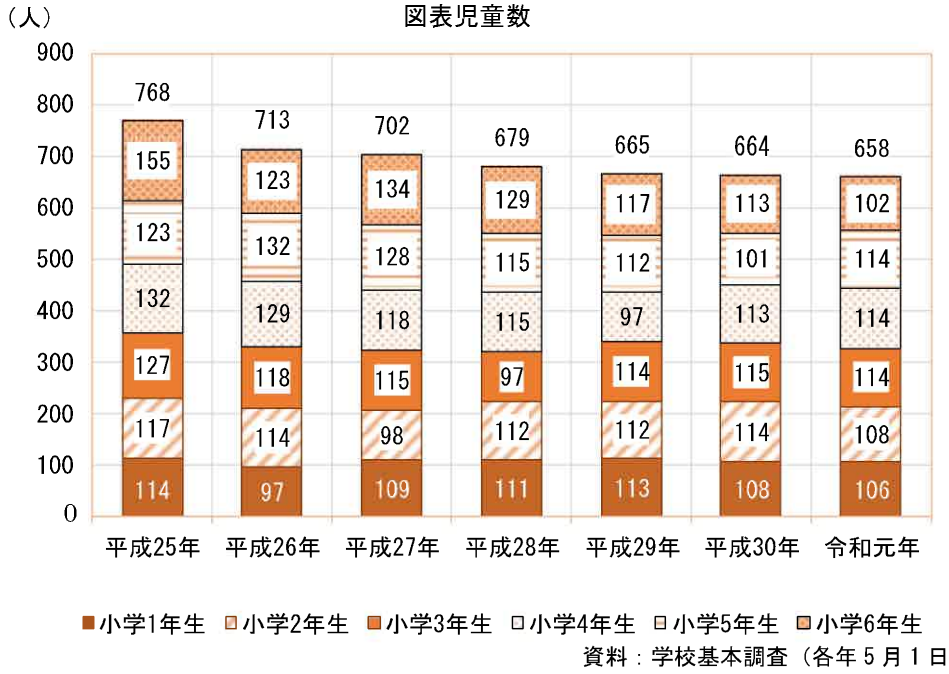
平成 26 年度末をもって松川東小学校を閉校し、平成 27 年４月から小学校２校となり、現在に至ります。現在の松川北小学校と松川中央小学校を合わせた児童数は、平成 25～27 年に 700 人台でしたが、平成 28 年からは 600 人台で推移しており、全体的に減少傾向にあります。

図表学校別児童数（令和元年５月１日現在）

年度	松川中央小学校			松川北小学校			松川東小学校			児童数
	児童			児童			児童			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
平成 22 年度	315	308	623	91	96	187	－	－	19	829
平成 23 年度	320	296	616	77	100	177	7	14	21	814
平成 24 年度	290	290	580	78	97	175	6	10	16	771
平成 25 年度	290	288	578	74	100	174	6	10	16	768
平成 26 年度	273	276	549	66	87	153	1	8	9	711
平成 27 年度	276	272	548	67	87	154	－	－	－	702
平成 28 年度	272	266	538	62	79	141	－	－	－	679
平成 29 年度	268	256	524	67	74	141	－	－	－	665
平成 30 年度	279	257	536	61	67	128	－	－	－	664
令和元年度	277	253	530	67	61	128	－	－	－	658

資料：松川町教育委員会

図表児童数

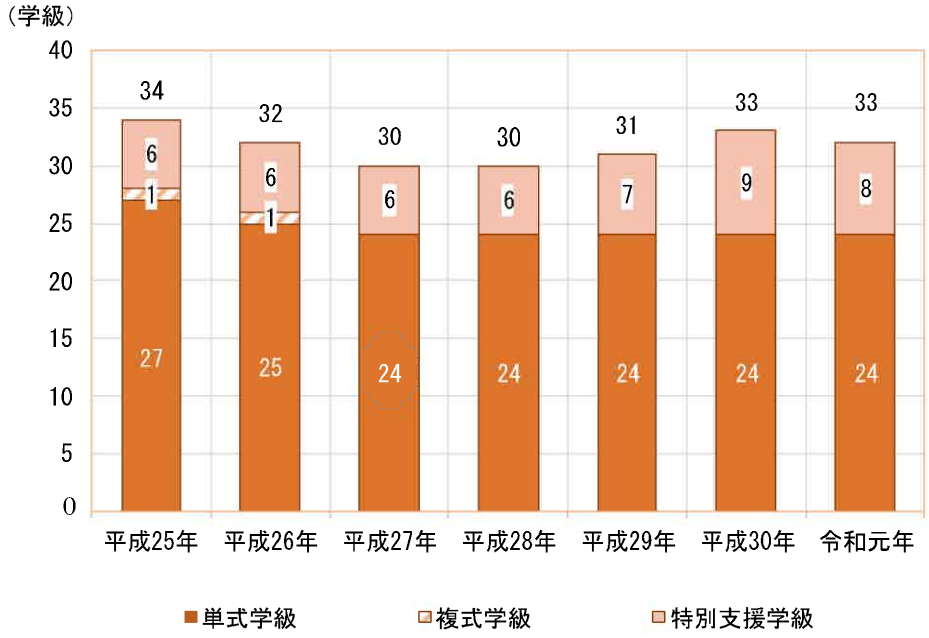


資料：学校基本調査（各年５月１日現在）

学級数（２校合計）は 30～34 学級で推移しています。

平成 25～26 年は２学年をひとつにした複式学級がありましたが、平成 27 年からは複式学級を解消し、１学年で１学級以上の単式学級と、支援の必要な児童対象の特別支援学級となっています。

図表学級数



資料：学校基本調査（各年５月１日現在）

図表松川中央小学校別学級数（令和元年５月１日現在）

松川中央小学校								
学年	普通学級			支援学級			学年合計	家庭数
	男	女	学級数	男	女	学級数		
1	40	39	3	4	－	5	83	46
2	39	41	3	8	－		88	48
3	52	40	3	2	2		96	60
4	40	45	3	6	2		93	67
5	37	41	3	3	－		81	79
6	42	39	3	4	4		89	88
計	250	245	18	27	8	5	530	388

松川北小学校								
学年	普通学級			支援学級			学年合計	家庭数
	男	女	学級数	男	女	学級数		
1	14	7	1	1	1	3	23	10
2	9	11	1	－	－		20	10
3	6	7	1	4	1		18	11
4	8	10	1	3	－		21	21
5	17	14	1	2	－		33	33
6	3	8	1	－	2		13	13
計	57	57	6	10	4	3	128	98

(2) 中学校の状況

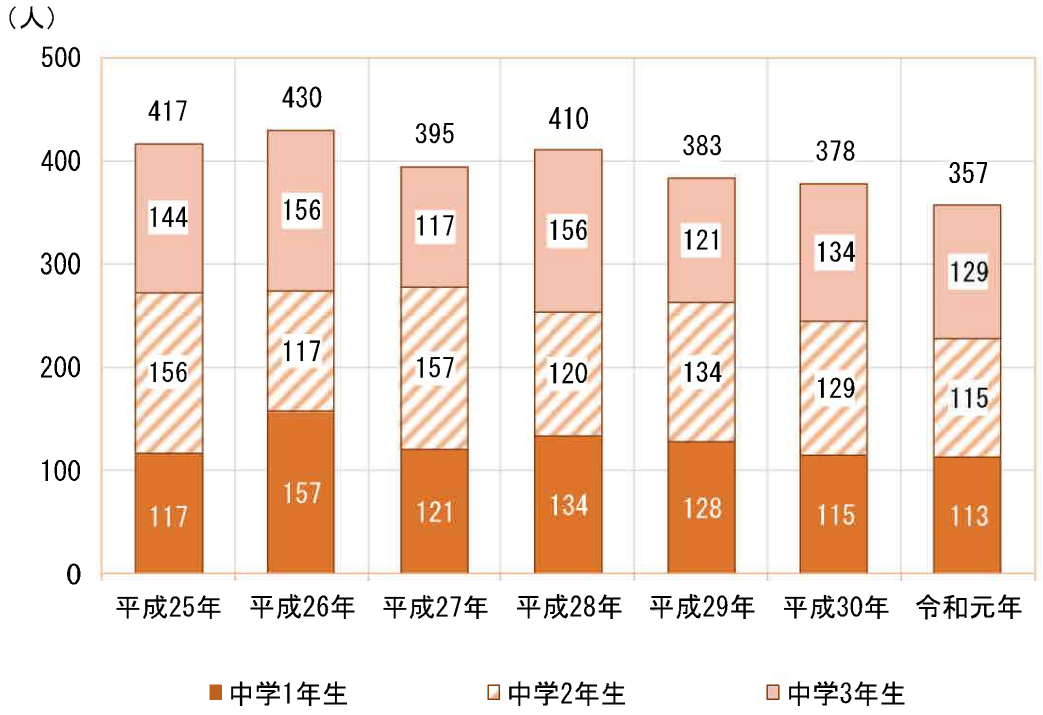
松川中学校の生徒数は、平成 22 年以降、毎年 400 人前後で推移していましたが、平成 29 年以降 400 人を下回っています。

図表松川中学校生徒数（令和元年 5 月 1 日現在）

年度	松川中学校		
	生徒		
	男	女	計
平成 22 年度	241	233	474
平成 23 年度	230	210	440
平成 24 年度	217	221	438
平成 25 年度	208	209	417
平成 26 年度	218	212	430
平成 27 年度	195	200	395
平成 28 年度	205	205	410
平成 29 年度	187	196	383
平成 30 年度	183	195	378
令和元年度	169	188	357

資料：松川町教育委員会

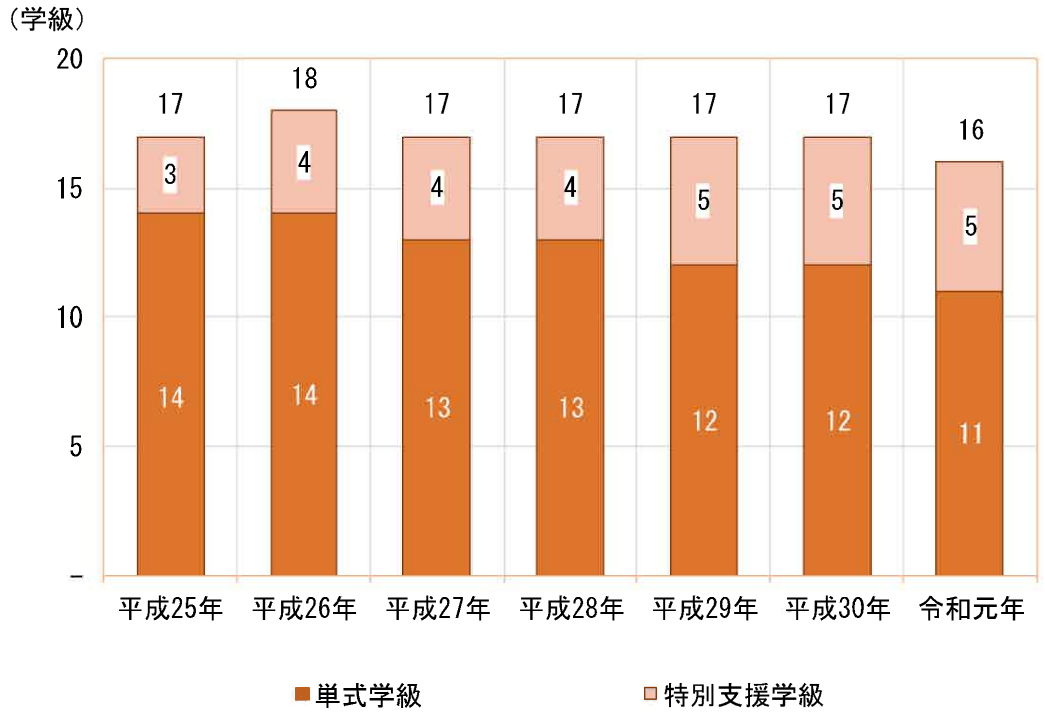
図表学年別生徒数



資料：学校基本調査（各年 5 月 1 日現在）

学級数は 17～18 学級と、横ばいで推移しています。
なお、中学校は複式学級はなく、単式学級と特別支援学級となっています。

図表学級数



資料：学校基本調査（各年 5 月 1 日現在）

(3) 保育園の状況

平成 25 年度末をもって中央保育園と北名子保育園を統合し、名子中央保育園として運営を行い、平成 26 年４月から５園体制で、０歳児から５歳児までの保育を行っています。

図表保育園の概要（平成 30 年度）

保育園名	所在地	定員（人）	開所時間	延長保育	未満児保育	一時保育	休日保育	病後児保育	障がい児・子育て相談
上片桐保育園	上片桐 2197	120	7 時～19 時	○	○	－	－	○	○
大島保育園	大島 1722	60		○	○	－	－	－	○
双葉保育園	元大島 1664-5	90		○	○	－	－	－	○
名子中央保育園	元大島 3771	140		○	○	○	○	－	○
福与保育園	生田 589-3	40		○	○※	－	－	－	○

※2 歳児のみ

資料：町ホームページ

図表園児数（5 園合計）

区分		平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
園児総数		338	342	334	395	401	406	414	406
年齢	0 歳	8	12	12	12	14	19	26	15
	1 歳	23	27	22	29	36	33	36	40
	2 歳	41	33	34	36	41	45	53	57
	3 歳	82	93	84	109	94	102	96	96
	4 歳	86	85	93	106	107	98	102	96
	5 歳	98	92	89	103	109	109	101	102

※平成 25 年度末で中央保育園と北名子保育園を統合し、名子中央保育園として運営。

資料：松川町教育委員会（各年 3 月付人数）

図表園別園児数（上片桐保育園）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
平成23年	3	8	15	14	22	32	94
平成24年	4	8	10	28	13	22	85
平成25年	6	5	10	17	30	14	82
平成26年	2	9	10	16	18	30	85
平成27年	3	15	13	19	14	22	86
平成28年	9	8	7	22	19	16	81
平成29年	6	8	8	10	21	19	72
平成30年	5	8	11	13	11	22	70

出典：松川町教育委員会調べ

図表園別園児数（大島保育園）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
平成23年				11	15	13	39
平成24年				17	11	16	44
平成25年				17	18	12	47
平成26年	－	5	4	20	16	18	63
平成27年	－	－	8	19	19	16	62
平成28年	－	1	8	18	20	19	66
平成29年	3	7	9	20	17	20	76
平成30年	1	8	11	18	19	17	74

出典：松川町教育委員会調べ

図表園別園児数（双葉保育園）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
平成23年	1	10	12	22	23	26	94
平成24年	5	7	16	21	23	24	96
平成25年	4	9	11	23	20	23	90
平成26年	1	6	13	21	23	18	82
平成27年	7	5	8	20	22	22	84
平成28年	1	12	8	25	21	25	92
平成29年	8	3	17	19	30	23	100
平成30年	3	11	8	29	19	30	100

出典：松川町教育委員会調べ

図表園別園児数（福与保育園）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
平成23年				3	8	0	11
平成24年				3	3	8	14
平成25年				5	3	3	11
平成26年				2	5	3	10
平成27年				1	3	5	9
平成28年	休園						0
平成29年				3	－	1	4
平成30年			1	2	3	－	6

出典：松川町教育委員会調べ

図表園別園児数（名子中央保育園）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
平成23年							
平成24年							
平成25年							
平成26年	9	9	9	50	44	34	155
平成27年	4	16	12	35	49	44	160
平成28年	9	12	22	37	38	49	167
平成29年	9	18	19	44	34	38	162
平成30年	6	13	26	34	44	33	156

出典：松川町教育委員会調べ

図表園別園児数（中央保育園）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
平成23年				10	8	19	37
平成24年				9	18	14	41
平成25年				16	10	7	33
平成26年	名子中央保育園へ統合						
平成27年							

出典：松川町教育委員会調べ

図表園別園児数（北名子保育園）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
平成23年	4	5	14	32	18	27	100
平成24年	3	12	7	24	35	22	103
平成25年	2	8	13	22	22	37	104
平成26年	名子中央保育園へ統合						
平成27年							

出典：松川町教育委員会調べ

(4) 子育て支援センターの状況

本町の子育て支援の拠点として、子育て支援センター「ひまわり」を１か所設置しています。

支援センターでは、施設や芝生の庭を利用し、遊びの場の提供、育児・子育て相談、子育てに関する情報提供、子育てサークルへの支援等を行っています。また、子ども会育成連絡協議会や松川町要保護児童対策地域協議会の事務局として、各機関との連携を図る活動もしています。

図表子育て支援センターの概要（平成 30 年度）

施設	所在地	開館時間	休館日
子育て支援センター「ひまわり」	上片桐 1077	月曜日～土曜日（水曜日は除く） 9 時 30 分～17 時 （11 月 1 日～3 月 31 日は 16 時 30 分まで）	毎週水曜日・日曜日・祭日 8 月 14 日～16 日 年末年始

資料：町ホームページ

(5) 児童館の状況

児童館は名子児童館と上片桐児童館の２か所があり、放課後保護者が就労、介護、看護等で保育に欠ける児童又は教育長が必要と認めた児童（１年生～６年生）が利用しています。

図表児童館の概要（平成 30 年度）

施設	所在地	開館時間	休館日
名子児童館	元大島 2250	月曜日～金曜日 13 時 30 分～18 時 （延長希望者 19 時まで） 土曜日 8 時～18 時	日曜、祭日 8 月 13 日～8 月 16 日 12 月 29 日～1 月 3 日
上片桐児童館	上片桐 3589-1		

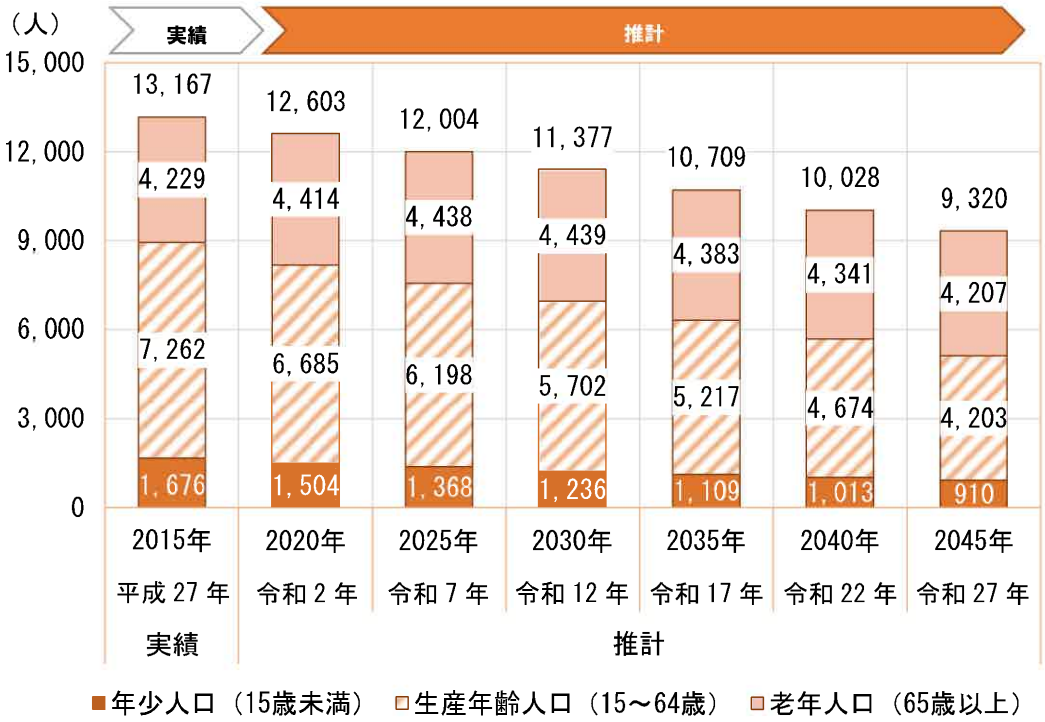
資料：町ホームページ

(6) 人口の将来推計

本町では、近年、人口が減少傾向にあり、人口の将来推計においてもさらに減少する見通しです。

対象施設である学校施設及び保育施設の主な利用者である年少人口（15 歳未満）をみると、約 10 年後の令和 12（2030）年は 1,200 人台（対平成 27 年比 73.7%）に、約 25 年後の令和 27（2045）年には 900 人台（対平成 27 年比 54.3%）に減少していくことが予測されています（国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成 30 年３月推計）による）。

図表人口の将来推計

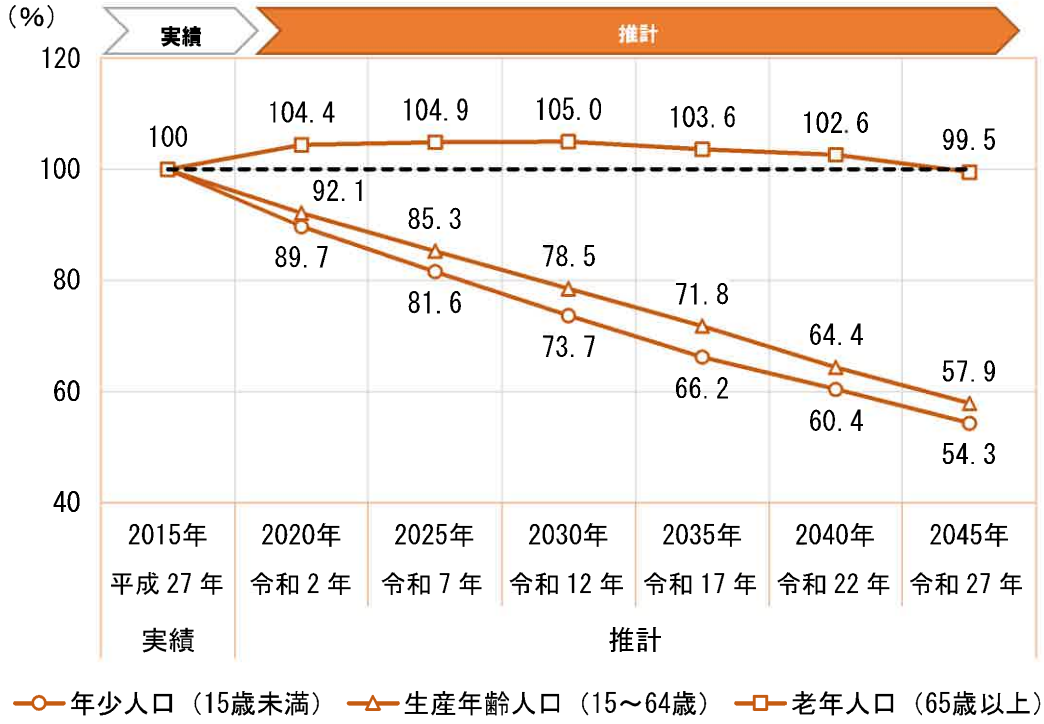


資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成 30 年 3 月推計）

平成 27（2015）年の年齢別人口を 100 とした場合の将来推計（増減比）では、約 30 年後の令和 27（2045）年までに年少人口（15 歳未満）と生産年齢人口（15～64 歳）は大きく減少します。

老年人口（65 歳以上）は、当面、増加しますが、約 30 年後の令和 27（2045）年には現在と同程度の人口になると予測されています。

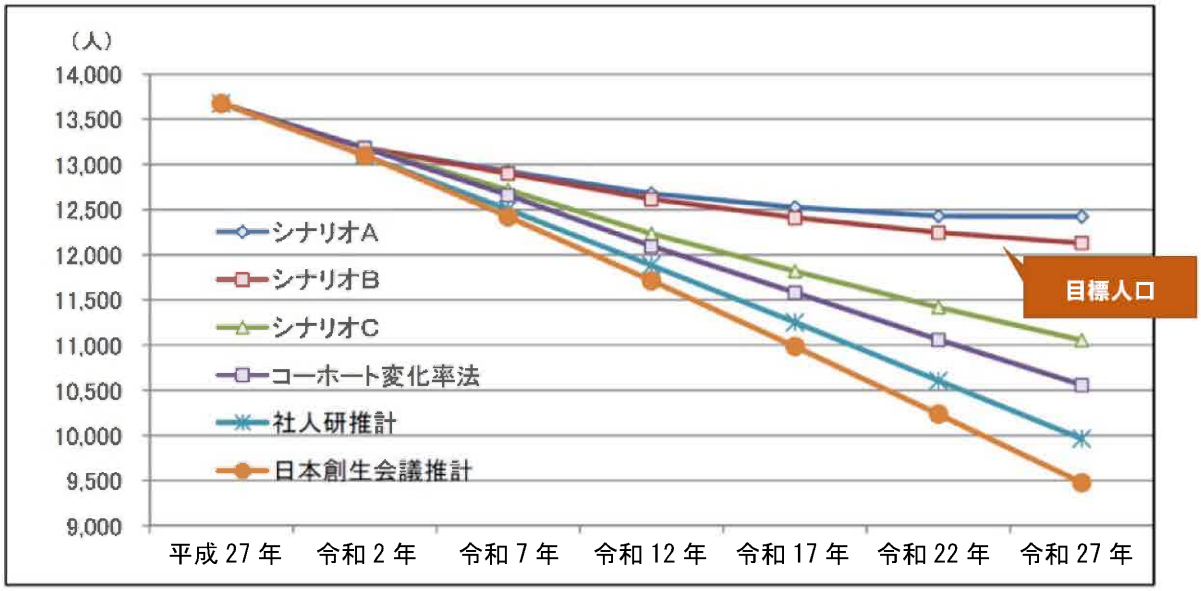
図表平成 27（2015）年を 100 とした年齢別人口の将来推計（増減比）



資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成 30 年 3 月推計）

なお、「松川町人口ビジョン」（平成 27 年 10 月策定、平成 28 年 3 月改訂）において、人口シナリオ別の推計結果のうち、シナリオＢを具体的目標とし、令和元年度に総人口 13,050 人以上、令和 22（2040）年に 12,300 人以上を目標人口としています。

図表人口シナリオ別の推計結果



	平成 22 年（2010）	平成 27 年（2015）	令和 2 年（2019）	令和 7 年（2020）	令和 12 年（2025）	令和 17 年（2030）	令和 22 年（2035）	令和 27 年（2040）
シナリオA	13,676	13,183	12,975	12,924	12,679	12,528	12,431	12,425
シナリオB	13,676	13,183	12,955	12,900	12,616	12,412	12,247	12,131
シナリオC	13,676	13,183	12,815	12,720	12,236	11,819	11,418	11,056
コーホート変化率法	13,676	13,183	12,766	12,660	12,095	11,582	11,060	10,560
社人研推計	13,676	13,099	－	12,502	11,883	11,252	10,607	9,963
日本創生会議推計	13,676	13,100	－	12,422	11,712	10,985	10,236	9,477

資料：松川町人口ビジョン

3-2 施設の運営状況・活用状況等の実態

（1）対象施設の配置

対象施設の配置状況は次の通りです。

図表公共施設等の配置

資料：松川町公共施設等総合管理計画

（2）学校施設の保有状況

松川町公共施設等総合管理計画による学校施設の状況は、次のとおりです。

ア公共施設の老朽化及び学校施設が占める割合

学校教育系施設及び福利厚生他の施設構成は、下表のとおりとなっています。

図表建設年度別にみた学校施設の延床面積

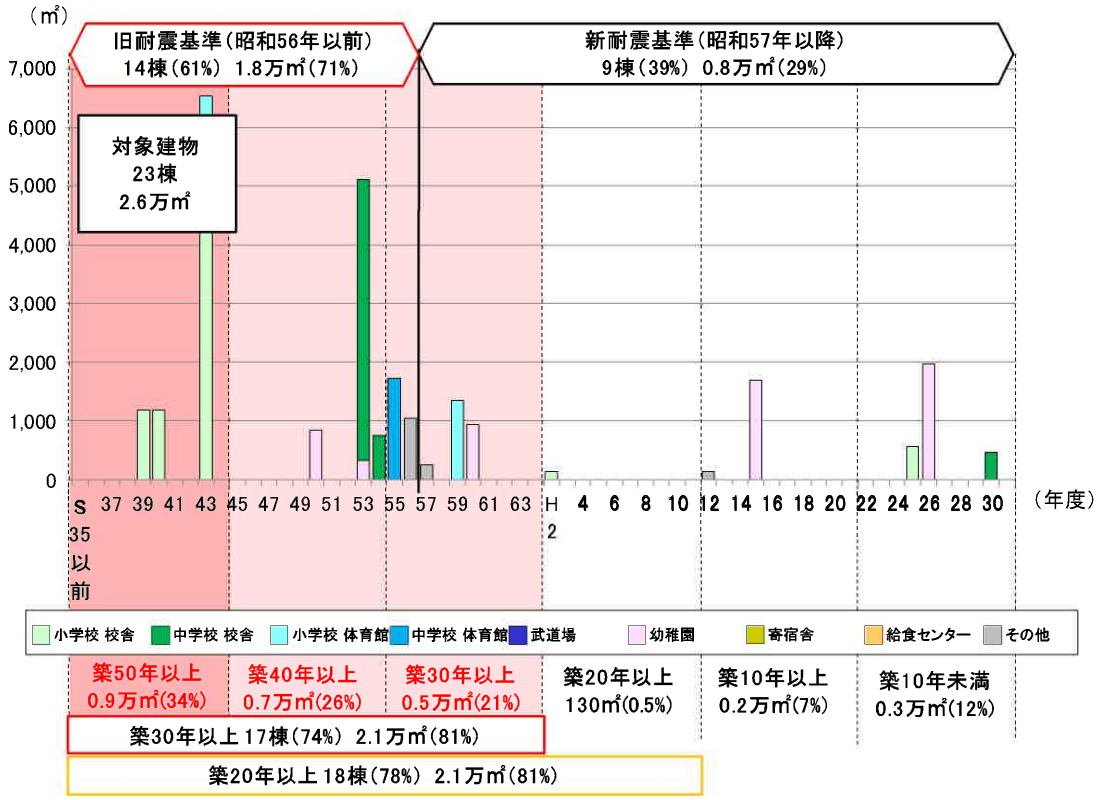
分類	施設例	施設数	棟数	延床面積（㎡）
小学校	小学校	2	29	11,795
中学校	中学校	1	14	8,037
福利厚生他	図書館、公民館、集会所	67	87	40,211
計		70	130	60043

資料：松川町公共施設等総合管理計画

イ学校施設の建築年別整備状況

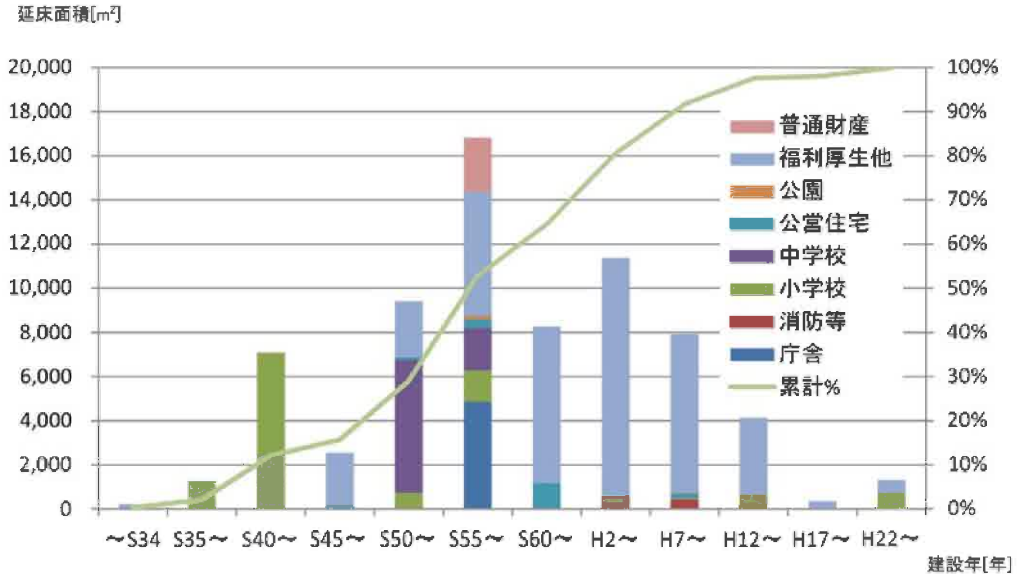
本町が保有する本調査対象である学校等施設の建設年別にみると、近年建設された施設の延床面積は全体的に抑えられている傾向が見られるものの、昭和 56 年以前に建築された建物が対象施設の 14 棟（61%）、1.8 万㎡（71%）を占めています。

図表築年別整備状況



本町の公共施設の中で、現在の耐震性能に劣る 1980 年以前に建設されたいわゆる旧耐震の施設の中で、小学校・中学校が占める割合が高くなっています。

図表公共施設の建築年度別延床面積



資料：松川町公共施設等総合管理計画

ウ学校施設の耐震化の状況

調査対象となる23棟の学校当施設のうち14棟は昭和56年以前の新耐震基準以前の建築物で、全てにおいて耐震診断及び耐震補強済みとなっています。

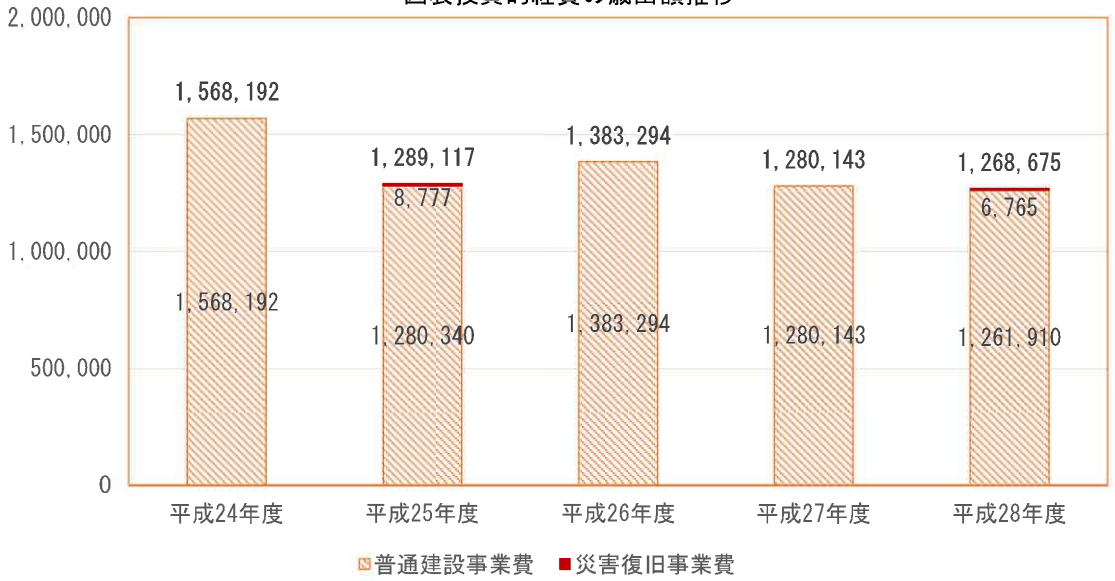
(3) 投資的経費の推移

公共施設運営状況として、平成24（2012）年から5年間の投資的経費は、約12.8億円～15.7億円であり、平均は約13.6億円/年となっています。

このうち、普通建設事業費は五カ年で67.8億円、災害復旧事業費は、1.6千万円となっています。

今後、高齢化社会の進行に伴う社会福祉関連経費（扶助費等）の増大により、今後の公共施設等の整備や維持管理に充当できる財源を近年の水準で維持することが困難となることが想定されます。

図表投資的経費の歳出額推移



	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	計	平均
普通建設事業費	1,568,192	1,280,340	1,383,294	1,280,143	1,261,910	6,773,879	1,354,776
災害復旧事業費	0	8,777	0	0	6,765	15,542	3,108
計	1,568,192	1,289,117	1,383,294	1,280,143	1,268,675	6,789,421	1,357,884

資料：市町村別決算状況調（総務省）

3-3 学校施設における劣化状況の実態

対象施設について、建築基準法第 12 条の定期報告における目視点検の項目及び公共建築物の点検マニュアル等の基準類に準拠して目視点検による劣化状況調査を実施するとともに、その結果を分析・評価し、長寿命化に必要なコストと保全の優先順位を設定します。

(1) 調査概要

現地調査票を作成し、校舎、体育館等の部位ごとに目視による現地調査を実施しました。

(2) 評価基準・健全度の算定

ア評価基準

屋根・屋上、外壁は目視状況により、内部仕上げ、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの４段階で評価します。

図表評価基準

●目視による評価（屋根・屋上、外壁）

良好

劣化

評価	基　準
A	概ね良好
B	部分的に劣化（安全上・機能上・問題なし）
C	広範囲に劣化（安全上・機能上・不具合発生の兆し）
D	早急に対応する必要がある （安全上・機能上・問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （施設が故障し施設運営に支障を与えている）　等

●経過年数による評価（内部仕上げ、電気設備、機械設備）

良好

劣化

評価	基　準
A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

資料：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）より

イ健全度の算定

健全度は、各建物の５つの部位について劣化状況を４段階で評価し、100 点満点で数値化します。「部位の評価点」、「部位のコスト配分」を以下表のように定め、「健全度」を 100 点満点で算定します。

図表健全度の算定

【部位の評価点】

評価	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

【部位のコスト配分】

評価	評価点
1　屋根・屋上	5.1
2　外壁	17.2
3　内部仕上げ	22.4
4　電気設備	8.0
5　機械設備	7.3
計	60.0

【健全度】

総和（部位の評価点×部位のコスト配分）÷60

※100点満点にするためにコスト配分

※健全度は，数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

資料：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）より

健全度計算例

評価部位	判定評価
1　屋根・屋上	A
2　外壁	B
3　内部仕上げ	C
4　電気設備	D
5　機械設備	C

劣化調査の結果が上表のような判定結果となった場合の健全度試算式は

健全度＝（100×5.1+75×17.2+40×22.4+10×8.0+40×7.3）÷60＝3,068÷60＝51/100 点

(3) 劣化状況評価結果

対象施設の劣化点検を実施した結果は次のとおりです。

調査結果として対象とした 23 棟の施設のうち、屋根・屋上はじめ５つの部位全てでＡ判定の評価となった施設が３棟あり、他の施設ではいずれかの部位でＢ判定以下の評価となっています。

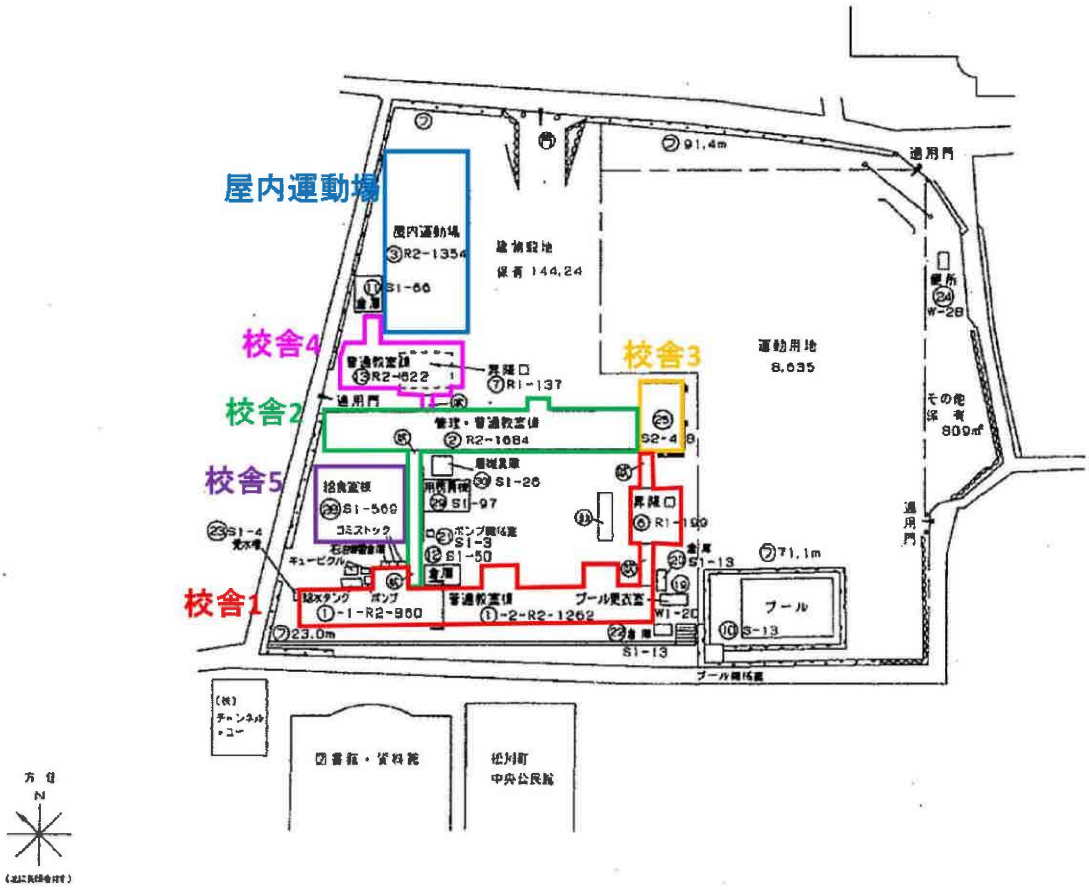
図表建物情報及び劣化状況評価結果一覧

学校名	建物名	構造種別	経過年数	健全度
松川中央小学校	校舎 1	RC 造	51	81
	校舎 2	RC 造	51	81
	校舎 3	RC 造	51	91
	校舎 4	S 造	51	75
	校舎 5	S 造	5	100
	屋内運動場	RC 造	50	91
松川北小学校	校舎 1	RC 造	54	53
	校舎 2	RC 造	53	53
	校舎 3	RC 造	28	75
	屋内運動場	S 造+RC 造	34	75
松川中学校	校舎 1	RC 造	40	53
	校舎 2	RC 造	40	53
	校舎 3	RC 造	39	75
	校舎 4	S 造	0	100
	屋内運動場	RC 造	38	75
福与保育園	校舎 1	W 造	40	53
大島保育園	校舎 1	S 造+W 造	43	53
双葉保育園	校舎 1	S 造	33	69
上片桐保育園	校舎 1	S 造	15	91
名子中央保育園	校舎 1	S 造+W 造	4	100
名子児童館	校舎 1	S 造+W 造	36	75
上片桐児童センター	校舎 1	S 造+W 造	18	91
子育て支援センター	校舎 1	S 造+W 造	37	75

(4) 個別劣化状況判定結果の整理

ア松川中央小学校

(7) 調査建物区分図



松川町学校施設劣化状況判定の整理

通し番号	1				
学校名	松川中央小学校	学校番号	1011	調査日	2018/12/12
建物名	校舎1			記入者	緒方文行
棟番号	1-1,1-2,6			建築年度	1967年度
構造種別	RC造	延床面積	2,321㎡	階　数	地上2階
改修履歴	H21,H22：大規模改修、耐震補強工事			経過年数	51年

部　位	劣化状況チェック																		評価
1.屋根・屋上	降雨時の雨漏れ	－	雨漏れ痕	2	防水層の膨れ・破れ	－	屋根材の錆損傷	－	笠木・立上がり等の損傷	－	その他	－							B
2.外　壁	鉄筋の露出・ｺﾝｸﾘの剥落	－	外壁からの漏水	－	塗装剥離	－	タイル・石の剥離	－	大きな亀裂	－	窓廻りの漏水	－	窓・ﾄﾞｱ・手摺りの錆・腐食・変形	2					B
3.内部仕上	改修工事実施年	H21,H22	⇒	経過年数評価	A	⇒	広範囲（25%）又は隅所（5か所）に劣化事象有りは評価を1段階下げる		随所に劣化あり										B
4.電気設備	改修工事実施年	H21,H22		経過年数評価	A		目視確認・ヒアリングによる状況		－										A
5.機械設備	改修工事実施年	H21,H22		経過年数評価	A		目視確認・ヒアリングによる状況		－										A

						評価
全景		屋根・屋上				B
		コメント	屋根材、全体的に劣化あり	屋根材、全体的に劣化あり	漏水痕（2箇所）あり	

						評価
外壁						B
	コメント	軒天に塗装剥離あり	軒天に塗装膨れあり	土間クラックあり	擁壁に破損あり	ガラスの破損あり

						評価
内部仕上						B
	コメント	全体的に床材の劣化あり	巾木に塗装剥離あり	洗面台にクラックあり	ビート劣化あり	天井材のズレあり

						評価
電気設備			A	機械設備			A
	コメント	碍金である		コメント	暖房器具錆あり、配管に破損あり	

松川町学校施設劣化状況判定の整理

通し番号	2				
学校名	松川中央小学校	学校番号	1011	調査日	2018/12/12
建物名	校舎2			記入者	緒方文行
棟番号	2			建築年度	1967年度
構造種別	RC造	延床面積	1,684㎡	階 数	地上2階
改修履歴	H21,H22:大規模改修、耐震補強工事			経過年数	51年

部 位	劣化状況チェック														評価
1.屋根・屋上	降雨時の雨漏れ	－	雨漏れ痕	2	防水層の膨れ・破れ	－	屋根材の錆損傷	－	笠木・立上がり等の損傷	－	その他	－			B
2.外 壁	鉄筋の露出・コンクリの剥落	－	外壁からの漏水	－	塗装剥離	－	タイル・石の剥離	－	大きな亀裂	－	窓廻りの漏水	－	窓・ドア・手摺りの錆・腐食・変形	－	B
3.内部仕上	改修工事実施年	H21,H22		経過年数評価	A		広範囲(25%)又は随所(5か所)に劣化事象有りは評価を1段階下げる				随所に劣化あり				B
4.電気設備	改修工事実施年	H21,H22	⇒	経過年数評価	A	⇒	目視確認・ヒアリングによる状況				－				A
5.機械設備	改修工事実施年	H21,H22		経過年数評価	A		目視確認・ヒアリングによる状況				－				A

全景

屋根・屋上

コメント 屋根材、鋼板水溜りあり

屋根材、鋼板水溜りあり

立上り部、鋼板劣化あり

現在も漏水あり

評価 B

外壁

コメント 軒天に塗装剥離あり

外壁に塗装剥離あり

外壁にクラックあり

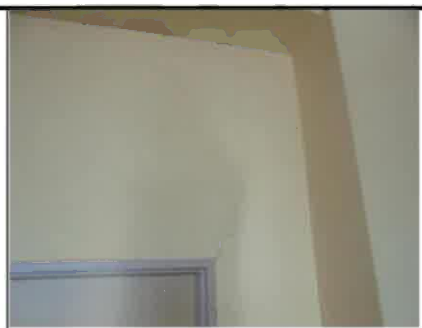
外壁にクラックあり

スロープ床浮きあり

評価 B

内部仕上

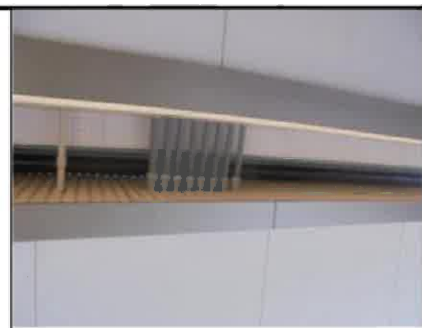
コメント 床全体的に劣化あり



内壁にクラックあり

内壁にクラックあり

天井材のズレあり



渡り廊下天井継目隙間あり

評価 B

電気設備

コメント ソーラーパネル設置、健全である

評価 A

機械設備

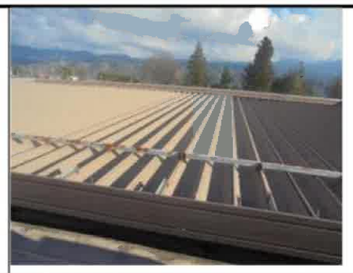
コメント 健全である

評価 A

松川町学校施設劣化状況判定の整理

通し番号	3				
学校名	松川中央小学校	学校番号	1011	調査日	2018/12/12
建物名	校舎3			記入者	緒方文行
棟番号	25			建築年度	1967年度
構造種別	RC造	延床面積	418㎡	階　数	地上2階
改修履歴	H21,H22：大規模改修、耐震補強工事			経過年数	51年

部　位	劣化状況チェック																		評価
1.屋根・屋上	降雨時の雨漏れ	－	雨漏れ痕	2	防水層の膨れ・破れ	－	屋根材の錆損傷	－	笠木・立上がり等の損傷	－	その他	－							B
2.外　壁	鉄筋の露出・ｺﾝｸﾘの剥落	－	外壁からの漏水	－	塗装剥離	－	タイル・石の剥離	－	大きな亀裂	－	窓廻りの漏水	－	窓・ﾄﾞｱ・手摺りの錆・腐食・変形	－					B
3.内部仕上	改修工事実施年	H21,H22	⇒	経過年数評価	A	⇒	広範囲(25%)又は隅所(5か所)に劣化事象有りは評価を1段階下げる	－											A
4.電気設備	改修工事実施年	H21,H22	⇒	経過年数評価	A	⇒	目視確認・ヒアリングによる状況	－											A
5.機械設備	改修工事実施年	H21,H22		経過年数評価	A		目視確認・ヒアリングによる状況	－											A

全景	屋根・屋上			評価
				B
	コメント　屋根材、鋼板劣化りあり	屋根材、鋼板劣化りあり	漏水痕(2箇所)あり	

外壁				評価
				B
コメント　外壁手摺部錆あり	健全である	外壁にクラックあり	ダクト破損あり	

内部仕上				評価
				A
コメント　健全である	床全体的に劣化あり	鍵破損あり	内壁にクラックあり	

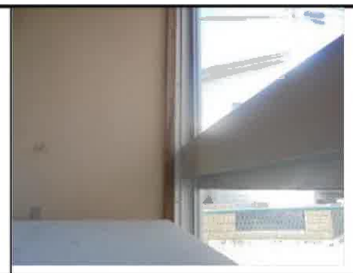
電気設備		評価	機械設備		評価
		A			A
コメント　健全である			コメント	健全である	

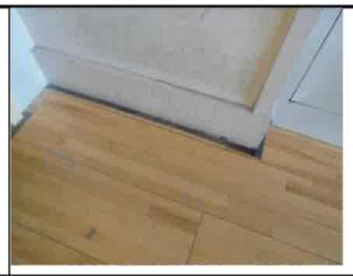
松川町学校施設劣化状況判定の整理

通し番号	4				
学校名	松川中央小学校	学校番号	1011	調査日	2018/12/12
建物名	校舎4			記入者	緒方文行
棟番号	7,13			建築年度	1967年度
構造種別	S造	延床面積	759㎡	階　数	地上2階
改修履歴	H21,H22：大規模改修、耐震補強工事			経過年数	51年

部　位	劣化状況チェック																				評価
1.屋根・屋上	降雨時の雨漏れ	－	雨漏れ痕	2	防水層の膨れ・破れ	－	屋根材の錆損傷	－	笠木・立上がり等の損傷	－	その他	－									B
2.外　壁	鉄筋の露出・ｺﾝｸﾘの剥落	－	外壁からの漏水	広範囲	塗装剥離	－	タイル・石の剥離	－	大きな亀裂	－	窓廻りの漏水	－	窓・ﾄﾞｱ・手摺りの錆・腐食・変形	－							B
3.内部仕上	改修工事実施年	H21,H22		経過年数評価	A		広範囲(25%)又は隅所(5か所)に劣化事象有りは評価を1段階下げる				随所に劣化あり										B
4.電気設備	改修工事実施年	H21,H22	⇒	経過年数評価	A	⇒	目視確認・ヒアリングによる状況		随所に劣化あり												B
5.機械設備	改修工事実施年	H21,H22		経過年数評価	A		目視確認・ヒアリングによる状況		随所に劣化あり												B

全景	屋根・屋上				評価
					B
	コメント	研摩である	防水層に水溜りあり	漏水痕(2箇所)あり	

外壁					評価
					B
コメント	土間にクラックあり	窓廻りシーリング劣化あり	柱クラックあり	基礎クラックあり	外壁からの漏水あり

内部仕上					評価
					B
コメント	健全である	床材の浮きあり	クッション材破損あり	扉のアルミパネル破損あり	天井材のズレあり

電気設備		評価	機械設備		評価
		B			B
コメント	健全である		コメント	配管の破損あり	

松川町学校施設劣化状況判定の整理

通し番号	5				
学校名	松川中央小学校	学校番号	1011	調査日	2018/12/12
建物名	校舎5			記入者	緒方文行
棟番号	28			建築年度	2013年度
構造種別	S造	延床面積	569㎡	階　数	地上1階
改修履歴				経過年数	5年

部　位	劣化状況チェック																評価
1.屋根・屋上	降雨時の雨漏れ	－	雨漏れ痕	－	防水層の膨れ・破れ	－	屋根材の錆損傷	－	笠木・立上がり等の損傷	－	その他	－					A
2.外　壁	鉄筋の露出・ｺﾝｸﾘの剥落	－	外壁からの漏水	－	塗装剥離	－	タイル・石の剥離	－	大きな亀裂	－	窓廻りの漏水	－	窓・ﾄﾞｱ・手摺りの錆・腐食・変形	－			A
3.内部仕上	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	A	⇒	広範囲(25%)又は隅所(5か所)に劣化事象有りは評価を1段階下げる	－									A
4.電気設備	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	A	⇒	目視確認・ヒアリングによる状況	－									A
5.機械設備	改修工事実施年	－		経過年数評価	A		目視確認・ヒアリングによる状況	－									A

					評価
全景		屋根・屋上			A
		コメント	屋根材、全体的に劣化あり	屋根材、全体的に劣化あり	

					評価
外壁					A
	コメント	健全である	健全である		

					評価
内部仕上					A
	コメント	健全である	健全である	サッシ廻りからの漏水あり	

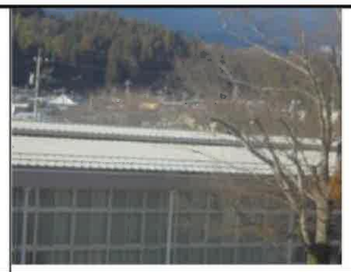
電気設備		評価	A
	コメント	健全である	

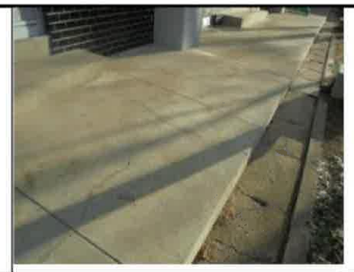
機械設備		評価	A
	コメント	健全である	

松川町学校施設劣化状況判定の整理

通し番号	6				
学校名	松川中央小学校	学校番号	1011	調査日	2018/12/12
建物名	屋内運動場			記入者	緒方文行
棟番号	3			建築年度	1968年度
構造種別	RC造	延床面積	1,354㎡	階　数	地上2階
改修履歴	H22：大規模改修、耐震補強工事			経過年数	50年

部　位	劣化状況チェック																		評価
1.屋根・壁上	降雨時の雨漏れ	－	雨漏れ痕	－	防水層の膨れ・破れ	－	屋根材の錆損傷	－	笠木・立上がり等の損傷	－	その他	－							B
2.外　壁	鉄筋の露出・ｺﾝｸﾘの剥落	－	外壁からの漏水	－	塗装剥離	－	タイル・石の剥離	－	大きな亀裂	－	窓廻りの漏水	－	窓・ドア・手摺りの錆・腐食・変形	－					B
3.内部仕上	改修工事実施年	H22		経過年数評価	A		広範囲(25%)又は隅所(5か所)に劣化事象有りは評価を1段階下げる		－										A
4.電気設備	改修工事実施年	H22	⇒	経過年数評価	A	⇒	目視確認・ヒアリングによる状況		－										A
5.機械設備	改修工事実施年	H22		経過年数評価	A		目視確認・ヒアリングによる状況		－										A

全景	屋根・屋上				評価
					B
	コメント	屋根材、全体的に劣化あり	屋根材、全体的に劣化あり	屋根材、全体的に劣化あり	

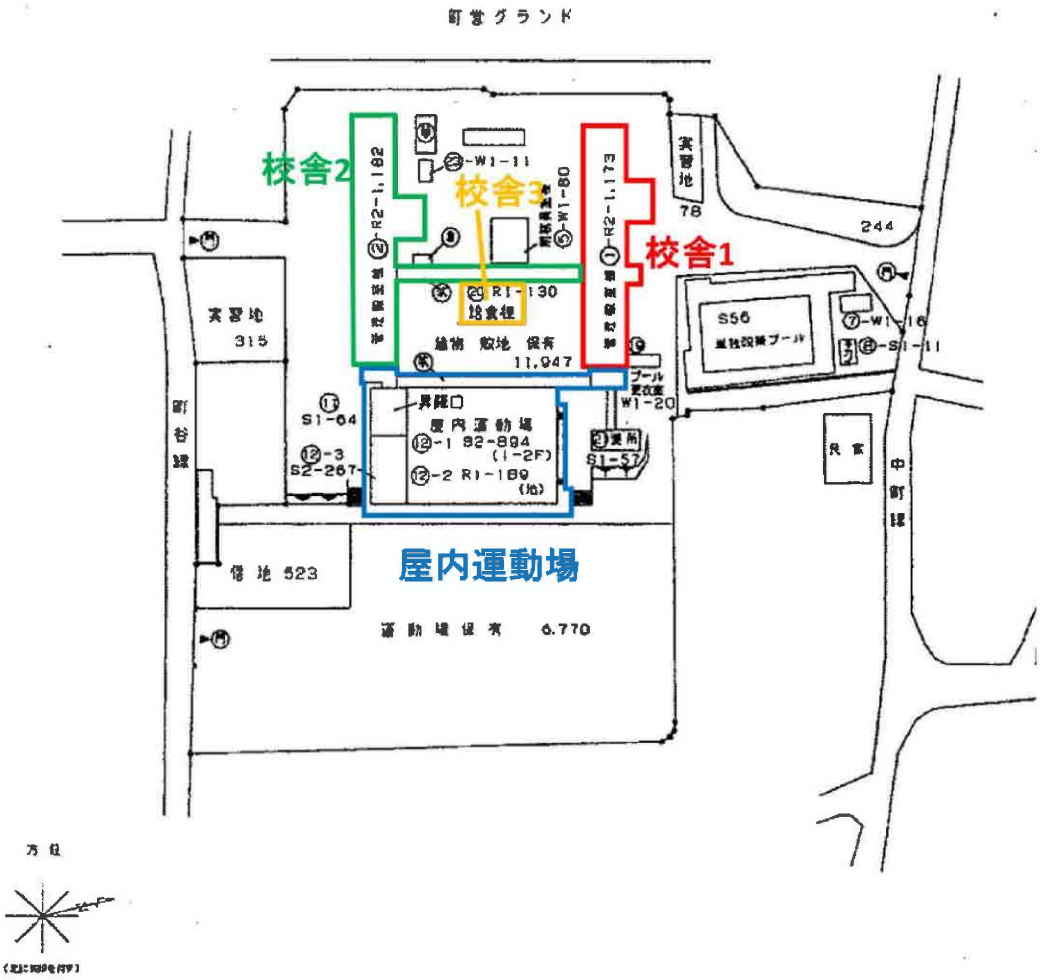
外壁					評価
					B
コメント	健全である	土間にクラックあり	外壁タイル破損あり	外壁タイル破損あり	外壁タイル破損あり

内部仕上					評価
					A
コメント	健全である	階段横クラックあり	内壁クラックあり	ギャラリー床シート浮きあり	

電気設備		評価	機械設備		評価
		A			A
コメント	健全である		コメント	健全である	

イ松川北小学校

(ｱ)調査建物区分図



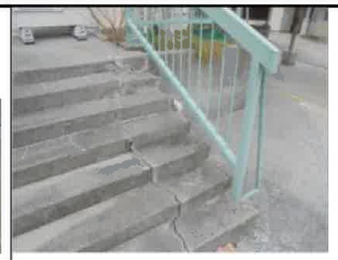
(ｲ)調査結果一覧

松川町学校施設劣化状況判定の整理

通し番号	7				
学校名	松川北小学校	学校番号	1012	調査日	2018/12/11
建物名	校舎1			記入者	緒方文行
棟番号	1			建築年度	1964年度
構造種別	RC造	延床面積	1,173㎡	階　数	地上2階
改修履歴	H21：耐震補強工事			経過年数	54年

部　位	劣化状況チェック																		評価
1.屋根・屋上	降雨時の雨漏れ	－	雨漏れ痕	6	防水層の膨れ・破れ	－	屋根材の銷損傷	－	笠木・立上がり等の損傷	－	その他	－							B
2.外　壁	鉄筋の露出・ｺﾝｸﾘの剥落	－	外壁からの漏水	－	塗装剥離	多数	タイル・石の剥離	－	大きな亀裂	1	窓廻りの漏水	－	窓・ﾄﾞｱ・手摺りの銷・腐食・変形	－					B
3.内部仕上	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	C	⇒	広範囲(25%)又は隣所(5か所)に劣化事象有りは評価を1段階下げる		－										C
4.電気設備	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	C	⇒	目視確認・ヒアリングによる状況	－											C
5.機械設備	改修工事実施年	－		経過年数評価	C		目視確認・ヒアリングによる状況	－											C

					評価
全景					B
屋根・屋上					
コメント	防水シート劣化あり	屋上手摺基礎部クラックあり	排水ドレンに落ち葉詰まりあり	漏水痕(6箇所)あり	

					評価
外壁					B
コメント	軒天に塗装剥離あり	外壁にクラックあり	犬走クラックあり	外階段にクラックあり	

					評価
内部仕上					C
コメント	天井材のズレあり	内壁に破損あり	内壁のクラックあり	面台にクラックあり	

					評価
電気設備		C	機械設備		C
コメント	健全である		コメント	健全である	

松川町学校施設劣化状況判定の整理

通し番号	8				
学校名	松川北小学校	学校番号	1012	調査日	2018/12/11
建物名	校舎2			記入者	緒方文行
棟番号	2			建築年度	1965年度
構造種別	RC造	延床面積	1,182㎡	階　数	地上2階
改修履歴	H21：耐震補強工事			経過年数	53年

部　位	劣化状況チェック																								評価
1.屋根・屋上	降雨時の雨漏れ	－	雨漏れ痕	2	防水層の膨れ・破れ		多数	屋根材の錆損傷	－	笠木・立上がり等の損傷	多数	その他	－												B
2.外　壁	鉄筋の露出・コンクリの剥落	3	外壁からの漏水	－	塗装剥離	－	タイル・石の剥離	－	大きな亀裂	－	窓廻りの漏水	－	窓・ドア・手摺りの錆・腐食・変形	－											B
3.内部仕上	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	C	⇒	広範囲（25%）又は隅所（5か所）に劣化事象有りは評価を1段階下げる		－																C
4.電気設備	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	C	⇒	目視確認・ヒアリングによる状況		－																C
5.機械設備	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	C	⇒	目視確認・ヒアリングによる状況		－																C

全景

屋根・屋上

評価：B

コメント	防水シート劣化あり	立上り部モルタル剥離、暴露あり	排水ドレンに落ち葉詰まりあり	漏水痕（2箇所）あり

外壁

評価：B

コメント	窓廻りシーリング劣化あり	外壁に塗装剥離あり	外壁にクラックあり	土間破損あり

内部仕上

評価：C

コメント	床材にクラック、浮きあり	内壁に塗装剥離あり	内壁にクラックあり	面台にクラックあり	内壁にクラックあり

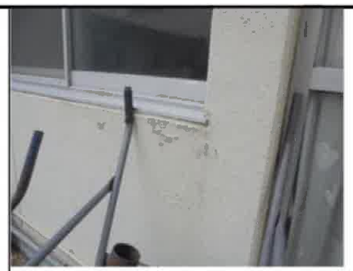
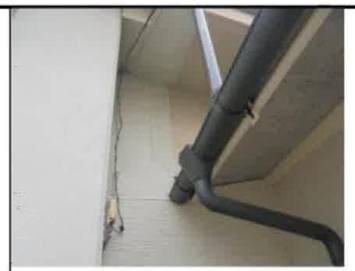
電気設備		評価	機械設備		評価
コメント	健全である	C	コメント	健全である	C

松川町学校施設劣化状況判定の整理

通し番号	9				
学校名	松川北小学校	学校番号	1012	調査日	2018/12/11
建物名	校舎3			記入者	緒方文行
棟番号	20			建築年度	1990年度
構造種別	RC造	延床面積	130㎡	階　数	地上1階
改修履歴	H21:耐震補強工事			経過年数	28年

部　位	劣化状況チェック																				評価
1.屋根・屋上	降雨時の雨漏れ	－	雨漏れ痕	2	防水層の膨れ・破れ	－	屋根材の錆損傷	－	笠木・立上がり等の損傷	－	その他	－									B
2.外　壁	鉄筋の露出・ｺﾝｸﾘの剥落	－	外壁からの漏水	－	塗装剥離	少々	タイル・石の剥離	－	大きな亀裂	－	窓廻りの漏水	－	窓・ﾄﾞｱ・手摺りの錆・腐食・変形	－							B
3.内部仕上	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	B	⇒	広範囲(25%)又は隅所(5か所)に劣化事象有りは評価を1段階下げる	－													B
4.電気設備	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	B	⇒	目視確認・ヒアリングによる状況	－													B
5.機械設備	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	B	⇒	目視確認・ヒアリングによる状況	－													B

					評価
全景		屋根・屋上			B
		コメント	屋根材、多少の劣化あり	屋根材、多少の劣化あり	

					評価
外壁					B
コメント	健全である	外壁に塗装剥離あり	外壁に塗装剥離あり	外壁にクラックあり	

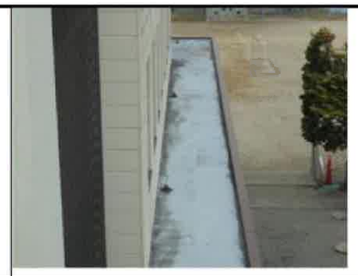
					評価
内部仕上					B
コメント	床に破損あり	床シートにヨレあり	床シートに伸縮あり	床シートに破れあり	

						評価
電気設備		B	機械設備			B
コメント	電気BOXに多少の錆あり		コメント	調理機器に錆あり		

松川町学校施設劣化状況判定の整理

通し番号	10				
学校名	松川北小学校	学校番号	1012	調査日	2018/12/11
建物名	屋内運動場			記入者	緒方文行
棟番号	11,12-1,12-2,12-3			建築年度	1984年度
構造種別	S造+RC造	延床面積	1,414㎡	階　数	地上2階
改修履歴	H27：防災機能強化工事（天井）			経過年数	34年

部　位	劣化状況チェック																		評価
1.屋根・屋上	降雨時の雨漏れ	－	雨漏れ痕	5	防水層の膨れ・破れ	－	屋根材の錆損傷	－	笠木・立上がり等の損傷	－	その他	－							B
2.外　壁	鉄筋の露出・ｺﾝｸﾘの剥落	－	外壁からの漏水	－	塗装剥離	－	タイル・石の剥離	－	大きな亀裂	－	窓廻りの漏水	－	窓・ﾄﾞｱ・手摺りの錆・腐食・変形	4					B
3.内部仕上	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	B	⇒	広範囲（25%）又は隅所（5か所）に劣化事象有りは評価を1段階下げる	－											B
4.電気設備	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	B	⇒	目視確認・ヒアリングによる状況	－											B
5.機械設備	改修工事実施年	－		経過年数評価	B		目視確認・ヒアリングによる状況	－											B

全景	屋根・屋上				評価
					B
	コメント	屋根材、全体的に劣化あり	屋根材、全体的に劣化あり	防水層劣化あり	漏水痕（2箇所）あり

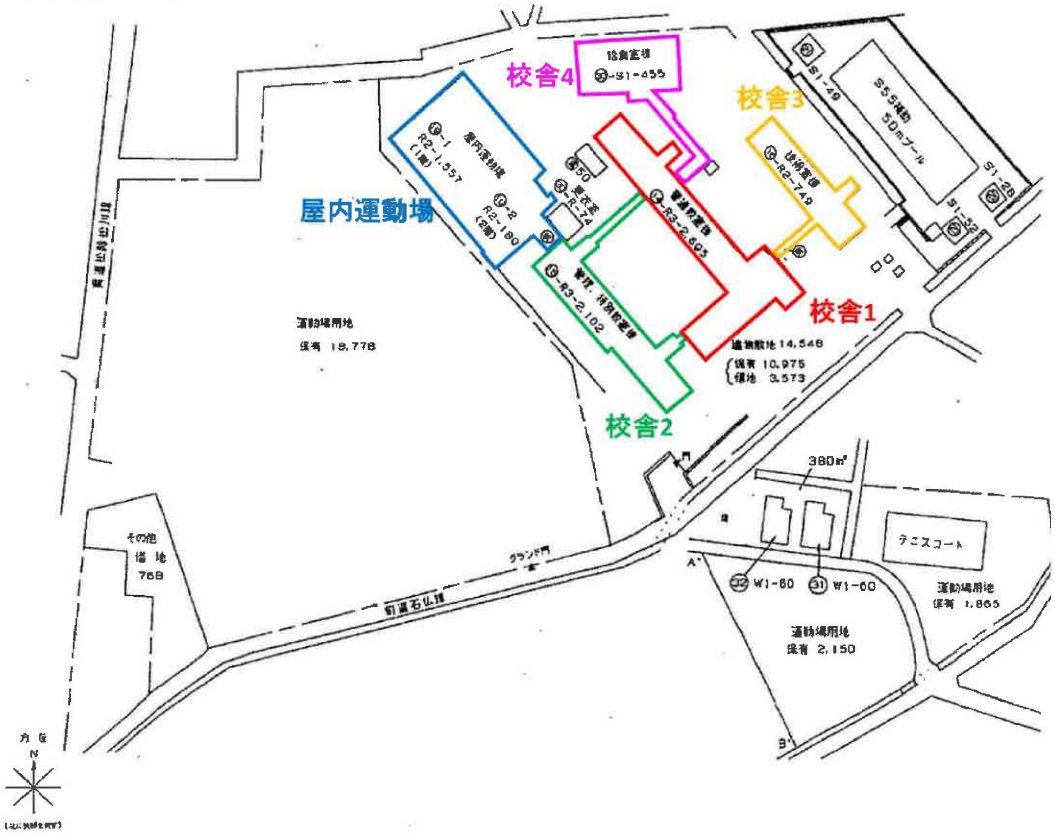
外壁					評価
					B
コメント	渡り廊下鉄骨部錆あり	外壁にクラックあり	巾木にクラック、鋼板に錆あり	外壁に破損あり	地盤に歪みにより、外階段にズレあり

内部仕上					評価
					B
コメント	鉄骨部錆あり	内壁に浮きあり	内壁ボードに浮きあり	ビート劣化あり	天井ボードに破損あり

電気設備		評価	機械設備		評価
		B			B
コメント	渡り廊下の照明機器錆あり		コメント	健全である	

ウ松川中学校

(7) 調査建物区分図



(ｲ)調査結果一覧

松川町学校施設劣化状況判定の整理

通し番号	11				
学校名	松川中学校	学校番号	4306	調査日	2018/12/13
建物名	校舎1			記入者	緒方文行
棟番号	14			建築年度	1978年度
構造種別	RC造	延床面積	2,695㎡	階　数	地上3階
改修履歴	H20：耐震補強工事			経過年数	40年

部　位	劣化状況チェック																評価
1.屋根・屋上	降雨時の雨漏れ	－	雨漏れ痕	5	防水層の膨れ・破れ	－	屋根材の錆損傷	－	笠木・立上がり等の損傷	－	その他	－					B
2.外　壁	鉄筋の露出・ｺﾝｸﾘの剥落	－	外壁からの漏水	2	塗装剥離	少々	タイル・石の剥離	－	大きな亀裂	－	窓廻りの漏水	－	窓・ﾄﾞｱ・手摺りの錆・腐食・変形	－			B
3.内部仕上	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	C	⇒	広範囲(25%)又は隅所(5か所)に劣化事象有りは評価を1段階下げる		－								C
4.電気設備	改修工事実施年	－		経過年数評価	C		目視確認・ヒアリングによる状況		－								C
5.機械設備	改修工事実施年	－		経過年数評価	C		目視確認・ヒアリングによる状況		－								C

全景

屋根・屋上

コメント：煙突廻りに錆あり

屋根材縞板凹凸あり

屋根材留め具錆あり

漏水痕(5箇所)あり

評価：B

外壁

コメント：軒天に塗装剥離あり

外壁にクラックあり

窓廻りシーリング劣化あり

外壁からの漏水あり

外壁からの漏水あり

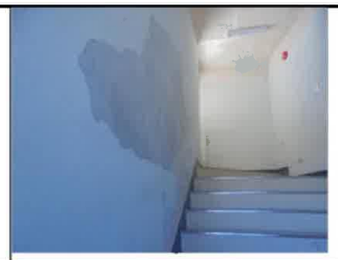
評価：B

内部仕上

コメント：天井材にズレあり

内壁タイルにクラックあり

内壁にクラックあり



内壁に塗装剥離あり

ピート劣化あり

評価：C

電気設備

コメント：ソーラーパネル健全である、スピーカー破損あり

評価：C

機械設備

コメント：配管に破損、錆あり

評価：C

松川町学校施設劣化状況判定の整理

通し番号	12				
学校名	松川中学校	学校番号	4306	調査日	2018/12/13
建物名	校舎2			記入者	緒方文行
棟番号	15			建築年度	1978年度
構造種別	RC造	延床面積	2,102㎡	階　数	地上3階
改修履歴	H21：耐震補強工事			経過年数	40年

部　位	劣化状況チェック																		評価
1.屋根・屋上	降雨時の雨漏れ	－	雨漏れ痕	－	防水層の膨れ・破れ	－	屋根材の錆損傷	－	笠木・立上がり等の損傷	－	その他	－							B
2.外　壁	鉄筋の露出・ｺﾝｸﾘの剥落	－	外壁からの漏水	－	塗装剥離	少々	タイル・石の剥離	－	大きな亀裂	－	窓廻りの漏水	－	窓・ﾄﾞｱ・手摺りの錆・腐食・変形	－					B
3.内部仕上	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	C	⇒	広範囲（25%）又は隣所（5か所）に劣化事象有りは評価を1段階下げる	－											C
4.電気設備	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	C	⇒	目視確認・ヒアリングによる状況	－											C
5.機械設備	改修工事実施年	－		経過年数評価	C		目視確認・ヒアリングによる状況	－											C

						評価
全景		屋根・屋上				B
		コメント	防水層全体的に劣化あり	防水層全体的に劣化あり	防水層全体的に劣化あり	

						評価
外壁						B
	コメント	軒天に塗装剥離あり	軒天に塗装剥離あり	外壁にクラックあり	ガラス破損あり	ビート劣化、窓廻りシーリング劣化あり

						評価
内部仕上						C
	コメント	ビート劣化あり	内壁タイルの破損あり	内壁にクラックあり	内壁に塗装剥離あり	建具縁廻り破損あり

						評価
電気設備		C	機械設備			C
	コメント	健全である		コメント	健全である	

松川町学校施設劣化状況判定の整理

通し番号	13				
学校名	松川中学校	学校番号	4306	調査日	2018/12/13
建物名	校舎3			記入者	緒方文行
棟番号	16			建築年度	1979年度
構造種別	RC造	延床面積	749㎡	階　数	地上2階
改修履歴	H21：耐震補強工事			経過年数	39年

部　位	劣化状況チェック																		評価
1.屋根・屋上	降雨時の雨漏れ	－	雨漏れ痕	－	防水層の膨れ・破れ	－	屋根材の錆損傷	－	笠木・立上がり等の損傷	－	その他	－							B
2.外　壁	鉄筋の露出・ｺﾝｸﾘの剥落	1	外壁からの漏水	－	塗装剥離	多数	タイル・石の剥離	－	大きな亀裂	－	窓廻りの漏水	－	窓・ﾄﾞｱ・手摺りの錆・腐食・変形	－					B
3.内部仕上	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	B	⇒	広範囲(25%)又は隅所(5か所)に劣化事象有りは評価を1段階下げる	－											B
4.電気設備	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	B	⇒	目視確認・ヒアリングによる状況	－											B
5.機械設備	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	B	⇒	目視確認・ヒアリングによる状況	－											B

全景	屋根・屋上			評価
				B
	コメント　全体的に劣化あり	梁部破損あり		

外壁					評価
					B
コメント　軒天に塗装剥離あり	軒天に塗装剥離あり	巾木にクラックあり	暴露あり	渡り廊下鉄骨部錆あり	

内部仕上					評価
					B
コメント　天井材にズレあり	内壁にクラックあり	洗面台にクラックあり	柱に塗装剥離あり		

電気設備		評価	機械設備		評価
		B			B
コメント　渡り廊下の照明機器錆あり			コメント	健全である	

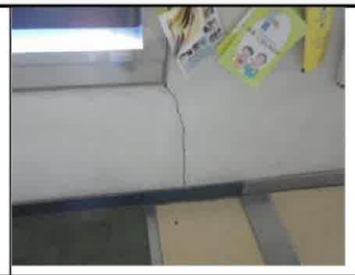
松川町学校施設劣化状況判定の整理

通し番号	14				
学校名	松川中学校	学校番号	4306	調査日	2018/12/13
建物名	校舎4			記入者	緒方文行
棟番号	33			建築年度	2018年度
構造種別	S造	延床面積	455㎡	階　数	地上1階
改修履歴				経過年数	0年

部　位	劣化状況チェック																		評価
1.屋根・屋上	降雨時の雨漏れ	－	雨漏れ痕	－	防水層の膨れ・破れ	－	屋根材の錆損傷	－	笠木・立上がり等の損傷	－	その他	－							A
2.外　壁	鉄筋の露出・ｺﾝｸﾘの剥落	－	外壁からの漏水	－	塗装剥離	－	タイル・石の剥離	－	大きな亀裂	－	窓廻りの漏水	－	窓・ﾄﾞｱ・手摺りの錆・腐食・変形	－					A
3.内部仕上	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	A	⇒	広範囲(25%)又は隅所(5か所)に劣化事象有りは評価を1段階下げる	－											A
4.電気設備	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	A	⇒	目視確認・ヒアリングによる状況	－											A
5.機械設備	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	A	⇒	目視確認・ヒアリングによる状況	－											A

					評価
全景		屋根・屋上			A
		コメント	健全である		

						評価
外壁						A
コメント	健全である	健全である	外壁に一部クラックあり			

						評価
内部仕上						A
コメント	健全である	健全である	健全である	内壁に一部クラックあり		

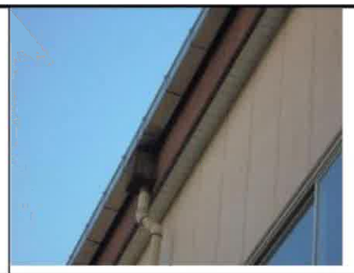
		評価			評価
電気設備		A	機械設備		A
コメント	健全である		コメント	健全である	

松川町学校施設劣化状況判定の整理

通し番号	15				
学校名	松川中学校	学校番号	4306	調査日	2018/12/13
建物名	屋内運動場			記入者	緒方文行
棟番号	19-1,19-2			建築年度	1980年度
構造種別	RC造	延床面積	1,737㎡	階　数	地上2階
改修履歴	H19：耐震補強工事			経過年数	38年

部　位	劣化状況チェック																		評価
1.屋根・屋上	降雨時の雨漏れ	－	雨漏れ痕	3	防水層の膨れ・破れ	－	屋根材の錆損傷	－	笠木・立上がり等の損傷	－	その他	－							B
2.外　壁	鉄筋の露出・ｺﾝｸﾘの剥落	－	外壁からの漏水	－	塗装剥離	多数	タイル・石の剥離	－	大きな亀裂	－	窓廻りの漏水	－	窓・ﾄﾞｱ・手摺りの錆・腐食・変形	10					B
3.内部仕上	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	B	⇒	広範囲（25%）又は隅所（5か所）に劣化事象有りは評価を1段階下げる	－											B
4.電気設備	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	B	⇒	目視確認・ヒアリングによる状況	－											B
5.機械設備	改修工事実施年	－		経過年数評価	B		目視確認・ヒアリングによる状況	－											B

全景	屋根・屋上				評価
					B
	コメント	健全である	健全である	現在も漏水あり	現在も漏水あり

外壁					評価
					B
コメント	渡り廊下の天井材剥がれあり	雨樋に不具合あり	外壁に破損あり	外壁にクラックあり	鋼製扉に錆あり

内部仕上					評価
					B
コメント	床材にクラック、剥がれあり	内壁ボードに破損あり	ビート劣化あり	内壁に漏水シミあり	ステージカーテン破損あり

電気設備		評価	機械設備		評価
		B			B
コメント	電気BOX錆あり		コメント	健全である	

松川町学校施設劣化状況判定の整理

通し番号	16				
学校名	福与保育園	学校番号	0	調査日	2018/12/10
建物名	校舎1			記入者	緒方文行
棟番号	－			建築年度	1978年度
構造種別	W造	延床面積	316㎡	階　数	地上1階
改修履歴				経過年数	40年

部　位	劣化状況チェック																評価
1.屋根・屋上	降雨時の雨漏れ	－	雨漏れ痕	1	防水層の膨れ・破れ	－	屋根材の錆損傷	－	笠木・立上がり等の損傷	－	その他	－					B
2.外　壁	鉄筋の露出・ｺﾝｸﾘの剥落	1	外壁からの漏水	－	塗装剥離	－	タイル・石の剥離	－	大きな亀裂	－	窓廻りの漏水	－	窓・ﾄﾞｱ・手摺りの錆・腐食・変形	4			B
3.内部仕上	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	C	⇒	広範囲(25%)又は隣所(5か所)に劣化事象有りは評価を1段階下げる		－								C
4.電気設備	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	C	⇒	目視確認・ヒアリングによる状況		－								C
5.機械設備	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	C	⇒	目視確認・ヒアリングによる状況		－								C

全景

屋根・屋上

評価：B

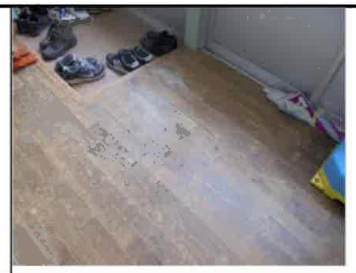
コメント：屋根材、全体的に劣化あり／屋根材、全体的に劣化あり／屋根材、全体的に劣化あり／漏水痕(1箇所)あり

外壁

評価：B

コメント：健全である／健全である／犬走にクラックあり／外壁にクラックあり

内部仕上



評価：C

コメント：天井材にズレあり／床に劣化あり／内壁にクラックあり／面台に劣化あり

電気設備

評価：C

コメント：健全である

機械設備

評価：C

コメント：オイルタンクに錆あり

オ大島保育園

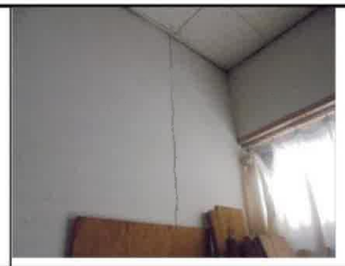
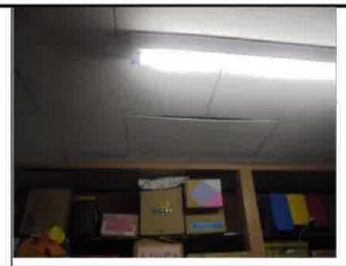
松川町学校施設劣化状況判定の整理

通し番号	17				
学校名	大島保育園	学校番号	0	調査日	2018/12/13
建物名	校舎1			記入者	緒方文行
棟番号	－			建築年度	1975年度
構造種別	S造+W造	延床面積	830㎡	階　数	地上1階
改修履歴				経過年数	43年

部　位	劣化状況チェック															評価
1.屋根・屋上	降雨時の雨漏れ	1	雨漏れ痕	6	防水層の膨れ・破れ	－	屋根材の錆損傷	－	笠木・立上がり等の損傷	－	その他	－				B
2.外　壁	鉄筋の露出・ｺﾝｸﾘの剥落	1	外壁からの漏水	－	塗装剥離	－	タイル・石の剥離	－	大きな亀裂	－	窓廻りの漏水	－	窓・ﾄﾞｱ・手摺りの錆・腐食・変形	－		B
3.内部仕上	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	C	⇒	広範囲(25%)又は購所(5か所)に劣化事象有りは評価を1段階下げる		－							C
4.電気設備	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	C	⇒	目視確認・ヒアリングによる状況		－							C
5.機械設備	改修工事実施年	－		経過年数評価	C		目視確認・ヒアリングによる状況		－							C

						評価
全景		屋根・屋上					B
		コメント	屋根材、全体的に劣化あり	屋根材、全体的に劣化あり	漏水痕あり	漏水痕あり	

						評価
外壁						B
コメント	軒天にシミあり	窓廻りシーリング劣化あり	巾木に暴露あり	ビート劣化あり	フェンスに歪みあり	

						評価
内部仕上						C
コメント	内壁にクラックあり	天井材にズレあり	ステージ縁破損あり	ビート劣化あり	トップライトガラスの飛散防止フィルムヨレあり	

		評価			評価
電気設備		C	機械設備		C
コメント	健全である		コメント	健全である	

カ双葉保育園

松川町学校施設劣化状況判定の整理

通し番号	18				
学校名	双葉保育園	学校番号	0	調査日	2018/12/10
建物名	校舎1			記入者	緒方文行
棟番号	－			建築年度	1985年度
構造種別	S造	延床面積	937㎡	階　数	地上1階
改修履歴				経過年数	33年

部　位	劣化状況チェック																評価
1.屋根・屋上	降雨時の雨漏れ	10以上	雨漏れ痕	5	防水層の膨れ・破れ	－	屋根材の錆損傷	－	笠木・立上がり等の損傷	－	その他	－					D
2.外　壁	鉄筋の露出・コンクリの剥落	1	外壁からの漏水	－	塗装剥離	－	タイル・石の剥離	－	大きな亀裂	－	窓廻りの漏水	－	窓・ドア・手摺りの錆・腐食・変形	4			B
3.内部仕上	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	B	⇒	広範囲(25%)又は隅所(5か所)に劣化事象有りは評価を1段階下げる		－								B
4.電気設備	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	B	⇒	目視確認・ヒアリングによる状況		－								B
5.機械設備	改修工事実施年	－		経過年数評価	B		目視確認・ヒアリングによる状況		－								B

全景

屋根・屋上

評価：D

コメント：瓦の劣化あり／瓦に破損あり／漏水痕あり／漏水痕あり

外壁

評価：B

コメント：外壁に破損あり／外壁に破損あり／外壁に暴露あり／軒天ボードに破損あり／屋根裏ボード破損あり

内部仕上

評価：B

コメント：内壁のクラックあり／床に劣化あり／扉の丁番に破損あり／引戸レール、建具廻りクッション破損あり／ガラス破損、ビート劣化あり

電気設備

評価：B

コメント：電気BOX錆あり

機械設備

評価：B

コメント：オイルタンクに錆あり

キ上片桐保育園

松川町学校施設劣化状況判定の整理

通し番号	19				
学校名	上片桐保育園	学校番号	0	調査日	2018/12/12
建物名	校舎1			記入者	緒方文行
棟番号	－			建築年度	2003年度
構造種別	S造	延床面積	1,700㎡	階　数	地上1階
改修履歴				経過年数	15年

部　位	劣化状況チェック																		評価
1.屋根・屋上	降雨時の雨漏れ	－	雨漏れ痕	1	防水層の膨れ・破れ	－	屋根材の錆損傷	－	笠木・立上がり等の損傷	－	その他	－							B
2.外　壁	鉄筋の露出・ｺﾝｸﾘの剥落	－	外壁からの漏水	－	塗装剥離	－	タイル・石の剥離	－	大きな亀裂	1	窓廻りの漏水	－	窓・ﾄﾞｱ・手摺りの錆・腐食・変形	－					B
3.内部仕上	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	A	⇒	広範囲（25%）又は隣所（5か所）に劣化事象有りは評価を1段階下げる		－										A
4.電気設備	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	A	⇒	目視確認・ヒアリングによる状況	－											A
5.機械設備	改修工事実施年	－		経過年数評価	A		目視確認・ヒアリングによる状況	－											A

					評価
全景		屋根・屋上			B
		コメント	屋根材、全体的に劣化あり	屋根材、全体的に劣化あり	

					評価
外壁					B
コメント	漏水あり	外壁にクラックあり	犬走にクラックあり	駐車場アスファルトに大きいクラックあり	

					評価
内部仕上					A
コメント	健全である	内壁に一部クラックあり	窓廻りに漏水痕あり	天井材にズレあり	

					評価
電気設備		A	機械設備		A
コメント	健全である		コメント	健全である	

ク名子中央保育園

松川町学校施設劣化状況判定の整理

通し番号	20				
学校名	名子中央保育園	学校番号	0	調査日	2018/12/11
建物名	校舎1			記入者	緒方文行
棟番号	－			建築年度	2014年度
構造種別	S造+W造	延床面積	1,971㎡	階　数	地上1階
改修履歴				経過年数	4年

部　位	劣化状況チェック																		評価
1.屋根・屋上	降雨時の雨漏れ	－	雨漏れ痕	－	防水層の膨れ・破れ	－	屋根材の錆損傷	－	笠木・立上がり等の損傷	－	その他	－							A
2.外　壁	鉄筋の露出・ｺﾝｸﾘの剥落	－	外壁からの漏水	1	塗装剥離	－	タイル・石の剥離	－	大きな亀裂	－	窓廻りの漏水	－	窓・ﾄﾞｱ・手摺りの錆・腐食・変形	－					A
3.内部仕上	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	A	⇒	広範囲(25%)又は隣所(5か所)に劣化事象有りは評価を1段階下げる		－										A
4.電気設備	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	A	⇒	目視確認・ヒアリングによる状況		－										A
5.機械設備	改修工事実施年	－		経過年数評価	A		目視確認・ヒアリングによる状況		－										A

						評価
全景		屋根・屋上				A
		コメント	健全である	健全である	健全である	

						評価
外壁						A
	コメント	外壁の板材に浮き、漏水あり	外壁にクラックあり	扉に劣化あり	室外機の木柵に腐食あり	デッキに穴多数あり

						評価
内部仕上						A
	コメント	健全である	健全である	健全である	床の継ぎ目シーリング劣化あり	

						評価
電気設備		A	機械設備			A
	コメント	健全である		コメント	健全である	

ケ名子児童館

松川町学校施設劣化状況判定の整理

通し番号	21				
学校名	名子児童館	学校番号	0	調査日	2018/12/11
建物名	校舎1			記入者	緒方文行
棟番号	－			建築年度	1982年度
構造種別	S造+W造	延床面積	248㎡	階　数	地上1階
改修履歴				経過年数	36年

部　位	劣化状況チェック																評価
1.屋根・屋上	降雨時の雨漏れ	－	雨漏れ痕	5	防水層の膨れ・破れ	－	屋根材の錆損傷	－	笠木・立上がり等の損傷	－	その他	－					B
2.外　壁	鉄筋の露出・コンクリの剥落	－	外壁からの漏水	－	塗装剥離	－	タイル・石の剥離	－	大きな亀裂	－	窓廻りの漏水	－	窓・ドア・手摺りの錆・腐食・変形	2			B
3.内部仕上	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	B	⇒	広範囲(25%)又は隅所(5か所)に劣化事象有りは評価を1段階下げる		－								B
4.電気設備	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	B	⇒	目視確認・ヒアリングによる状況		－								B
5.機械設備	改修工事実施年	－		経過年数評価	B		目視確認・ヒアリングによる状況		－								B

全景

屋根・屋上

評価：B

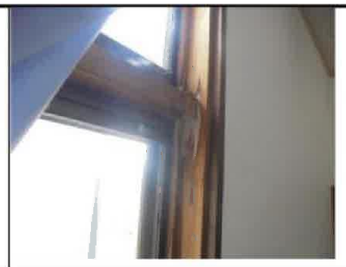
コメント：屋根材、全体的に劣化あり　／　屋根材、全体的に劣化あり　／　漏水痕あり

外壁

評価：B

コメント：健全である　／　外壁ボード汚れあり　／　巾木にクラックあり　／　ダクト汚れあり

内部仕上



評価：B

コメント：健全である　／　窓廻りに漏水痕あり　／　防球ネットに破損あり　／　扉のアルミパネル劣化あり

電気設備

評価：B

コメント：電気BOX錆あり

機械設備

評価：B

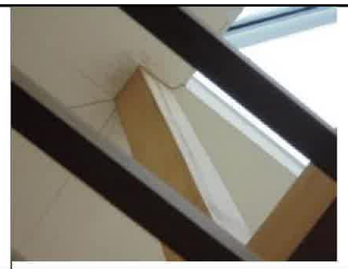
コメント：竪樋に破損あり

コ上片桐児童センター

松川町学校施設劣化状況判定の整理

通し番号	22				
学校名	上片桐児童センター	学校番号	0	調査日	2018/12/12
建物名	校舎1			記入者	緒方文行
棟番号	－			建築年度	2000年度
構造種別	S造+W造	延床面積	140㎡	階　数	地上1階
改修履歴				経過年数	18年

部　位	劣化状況チェック																評価
1.屋根・屋上	降雨時の雨漏れ	2	雨漏れ痕	7	防水層の膨れ・破れ	－	屋根材の錆損傷	－	笠木・立上がり等の損傷	－	その他	－					B
2.外　壁	鉄筋の露出・ｺﾝｸﾘの剥落	－	外壁からの漏水	－	塗装剥離	－	タイル・石の剥離	－	大きな亀裂	－	窓廻りの漏水	－	窓・ﾄﾞｱ・手摺りの錆・腐食・変形	－			B
3.内部仕上	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	A	⇒	広範囲(25%)又は隣所(5か所)に劣化事象有りは評価を1段階下げる		－								A
4.電気設備	改修工事実施年	－		経過年数評価	A		目視確認・ヒアリングによる状況		－								A
5.機械設備	改修工事実施年	－		経過年数評価	A		目視確認・ヒアリングによる状況		－								A

						評価
全景		屋根・屋上					B
		コメント	屋根材、全体的に劣化あり	屋根材、全体的に劣化あり	屋根材、全体的に劣化あり	漏水痕あり	

						評価
外壁						B
コメント	外壁にクラックあり	ガラス破損あり	外壁ボード破損あり	柱の木部の劣化あり	手摺部腐食あり(補修済)	

						評価
内部仕上						A
コメント	内壁にクラックあり	内壁にクラックあり	内壁、床との継目隙間あり	サッシレールに歪みあり		

		評価			評価
電気設備		A	機械設備		A
コメント	健全である		コメント	健全である	

サ子育て支援センター

松川町学校施設劣化状況判定の整理

通し番号	23				
学校名	子育て支援センター	学校番号	0	調査日	2018/12/10
建物名	校舎1			記入者	緒方文行
棟番号	－			建築年度	1981年度
構造種別	S造+W造	延床面積	1,040㎡	階　数	地上1階
改修履歴				経過年数	37年

部　位	劣化状況チェック																		評価
1.屋根・屋上	降雨時の雨漏れ	－	雨漏れ痕	3	防水層の膨れ・破れ	－	屋根材の錆損傷	－	笠木・立上がり等の損傷	－	その他	－							B
2.外　壁	鉄筋の露出・コンクリの剥落	－	外壁からの漏水	少々	塗装剥離	－	タイル・石の剥離	－	大きな亀裂	1	窓廻りの漏水	－	窓・ドア・手摺りの錆・腐食・変形	－					B
3.内部仕上	改修工事実施年	－	⇒	経過年数評価	B	⇒	広範囲(25%)又は隅所(5か所)に劣化事象有りは評価を1段階下げる	－											B
4.電気設備	改修工事実施年	－		経過年数評価	B		目視確認・ヒアリングによる状況	－											B
5.機械設備	改修工事実施年	－		経過年数評価	B		目視確認・ヒアリングによる状況	－											B

全景

屋根・屋上

評価：B

コメント：屋根材、全体的に劣化あり／屋根材汚れあり／雨樋に錆あり／漏水痕(3箇所)あり

外壁

評価：B

コメント：巾木にクラックあり／外壁、土間にクラックあり／軒天換気口破損あり／ビート劣化あり／樋の掴み金物腐食あり

内部仕上

評価：B

コメント：内壁にクラックあり／ビート劣化あり／ガラリに破損あり／天井材にズレあり／扉の建付けに不具合あり

電気設備

評価：B

コメント：電気BOX錆あり

機械設備

評価：B

コメント：健全である

3-4 今後の維持・更新コストの把握

従来型の建て替え中心での更新では、多額の出費が想定されます。

そのため、本項では長寿命化を行うことで今後想定されるコストの試算を行い、従来型のコストと比較することで長寿命化の実効性を検証します。

(1)維持管理コストの現状

本町の教育施設関連経費の過去五カ年の平均は、約1億7370万円となっていますが、平成29年度に中学校給食棟の建築工事費支出が大きくなっているため、全体のコストを押し上げています。

施設別には学校施設の工事費を含む維持管理コストのウエートが高くなっています。

図表学校等教育施設関連の経費の推移

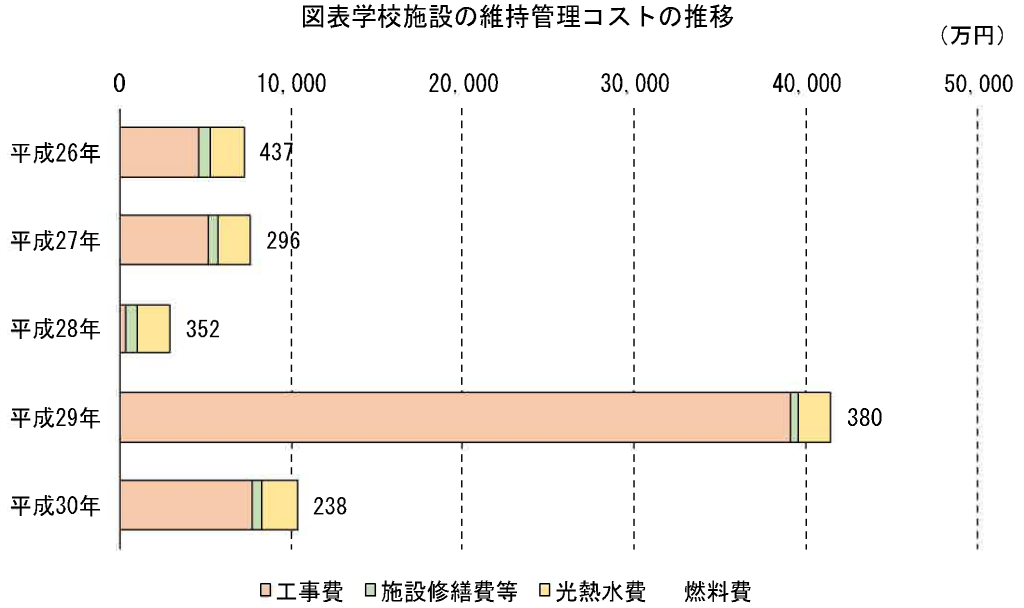
（単位：円）

	工事費	施設修繕費等	光熱水費	燃料費	合計
平成26年度	61,441,200	10,266,813	29,981,604	5,972,831	107,662,448
平成27年度	54,425,520	9,542,955	29,905,829	4,105,860	97,980,164
平成28年度	19,031,760	9,824,137	29,476,990	4,799,330	63,132,217
平成29年度	422,041,050	8,577,554	31,290,892	5,393,377	467,302,873
平成30年度	83,510,920	10,822,443	34,467,280	3,724,208	132,524,851
平均	128,090,090	9,806,780	31,024,519	4,799,121	173,720,511

※下水道使用料料は含みません。

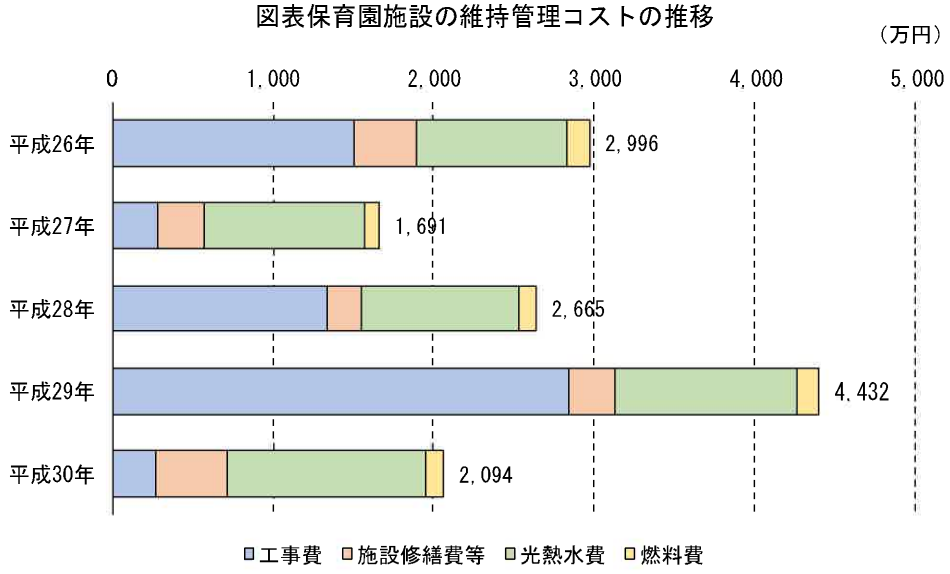
資料：松川町教育委員会

図表学校施設の維持管理コストの推移



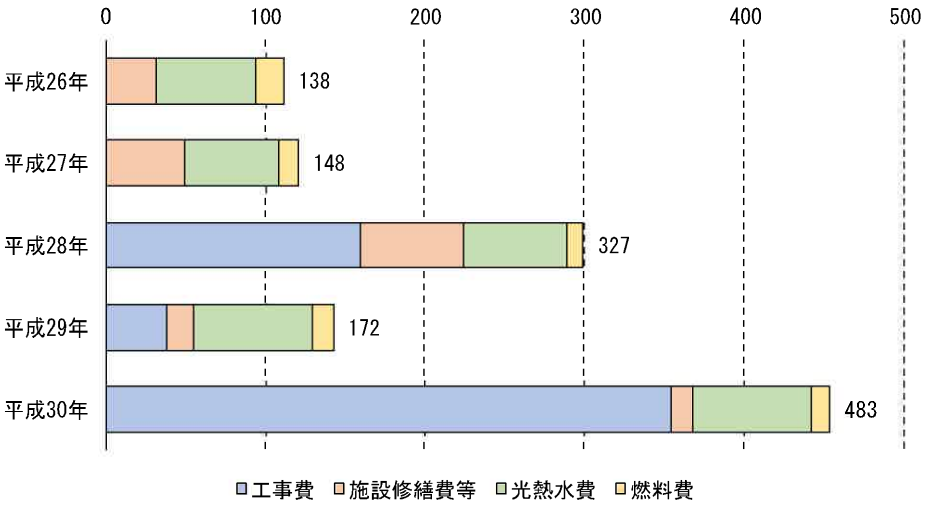
資料：松川町教育委員会

図表保育園施設の維持管理コストの推移



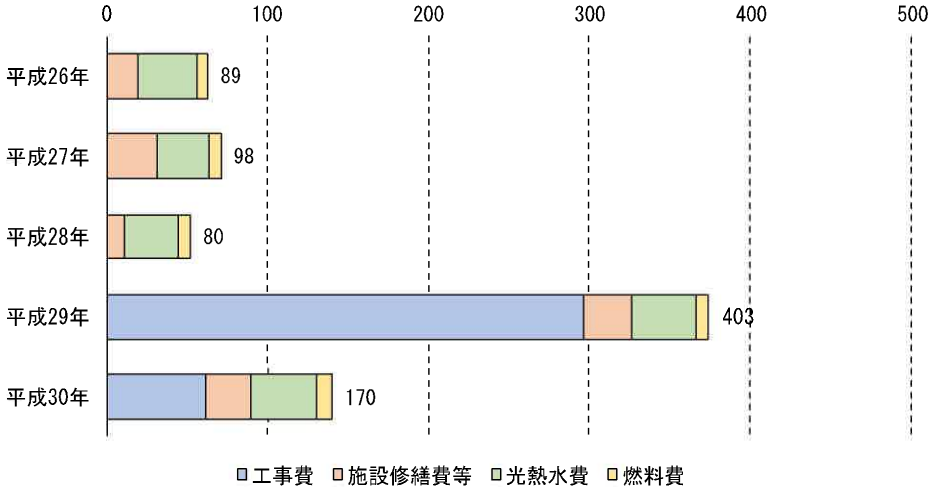
資料：松川町教育委員会

図表児童館施設の維持管理コストの推移



資料：松川町教育委員会

図表子育て支援センターの維持管理コストの推移



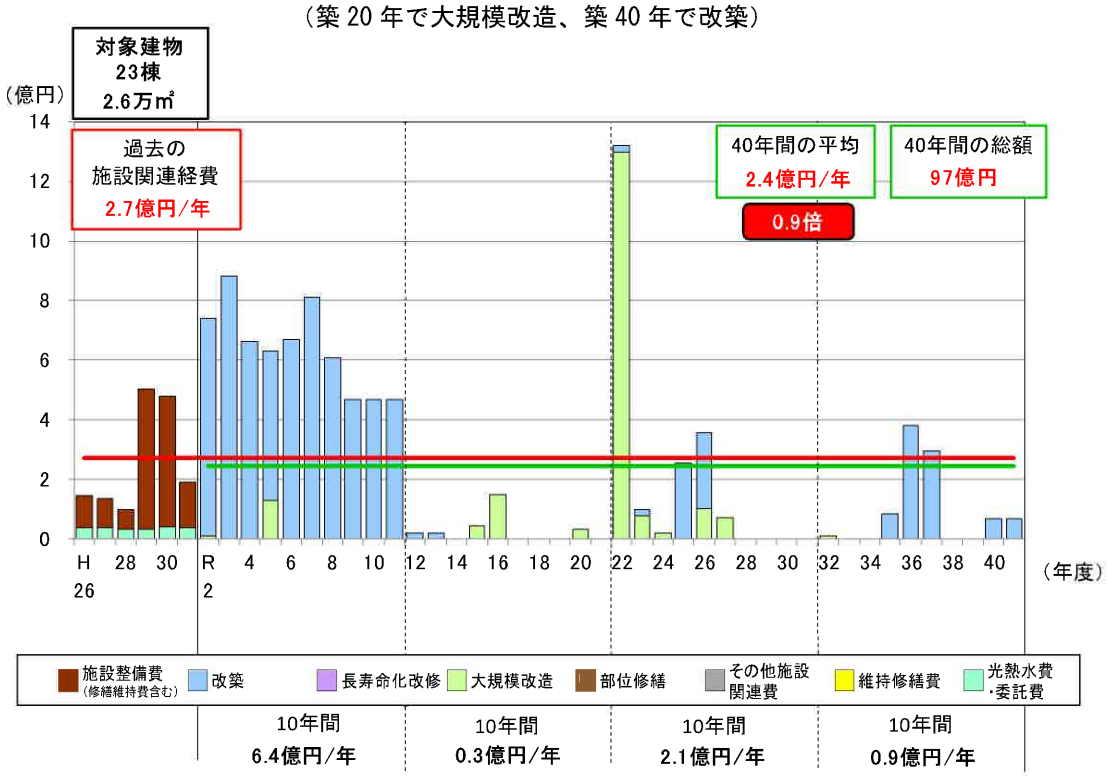
資料：松川町教育委員会

(2) 従来型による今後の維持・更新コスト

約 40 年で建て替えを行う従来型の改修を続けた場合、今後 40 年間の維持・更新コストは 97 億円（2.4 億円/年）かかります。

また、今後 10 年間の施設関連経費は平均で 6.4 億円/年かかることからも、従来型の整備を継続することは大きな財政負担になるとみられます。また、11 年目から 20 年目までの維持・更新コストは 0.3 億円/年となることから、施設の長寿命化を考慮しつつ、施設関連経費の平準化を考慮した、対応策を検討する必要があります。

図表今後の維持・更新コスト（従来型）
（築 20 年で大規模改造、築 40 年で改築）



(3) 長寿命化による今後の維持・更新コスト

従来型の改築中心から改修による長寿命化に切り替えていくためには、大規模改造及び長寿命化による改良（機能向上）を図るための計画的な実施と、適切な維持管理が必要となります。

長寿命化を実施し、耐用年数を約 80 年とした場合、従来型の場合維持管理コストとの差額を検討すると、今後十カ年の維持管理費は、従来型の 6.4 億円から、2.4 億円まで圧縮を図ることができると考えられます。

また、今後 40 年間の総額は従来型の 97 億円（2.4 億円/年）から、40 年間で 90 億円（２億円/年）と約８割に圧縮を図ることが可能となります。

コスト試算条件（長寿命化型）

＜グラフの年表示＞

基準年度 2019　西暦

試算期間：基準年の翌年度から40年間

改築

※1 試算上の区分（改築、長寿命）ごとに更新周期を設定する。
試算上の区分が未記入の場合は「改築」と同条件で算出する。

	＜改築、要調査＞	＜長寿命＞ ※1
更新周期	50 年	80 年

工事期間 2 年

実施年数より古い建物の改築を 10 年以内に実施

長寿命化改修

	＜長寿命＞
改修周期	60 年

工事期間 2 年

実施年数より古い建物の改修を 10 年以内に実施

大規模改造

改修周期 20 年周期

（ただし、改築、長寿命化改修の前後10年間に重なる場合は実施しない）

部位修繕 ※2

※2 躯体以外の劣化状況が未記入の場合は、部位修繕は算出されない。

D評価： 今後 5 年以内に部位修繕を実施

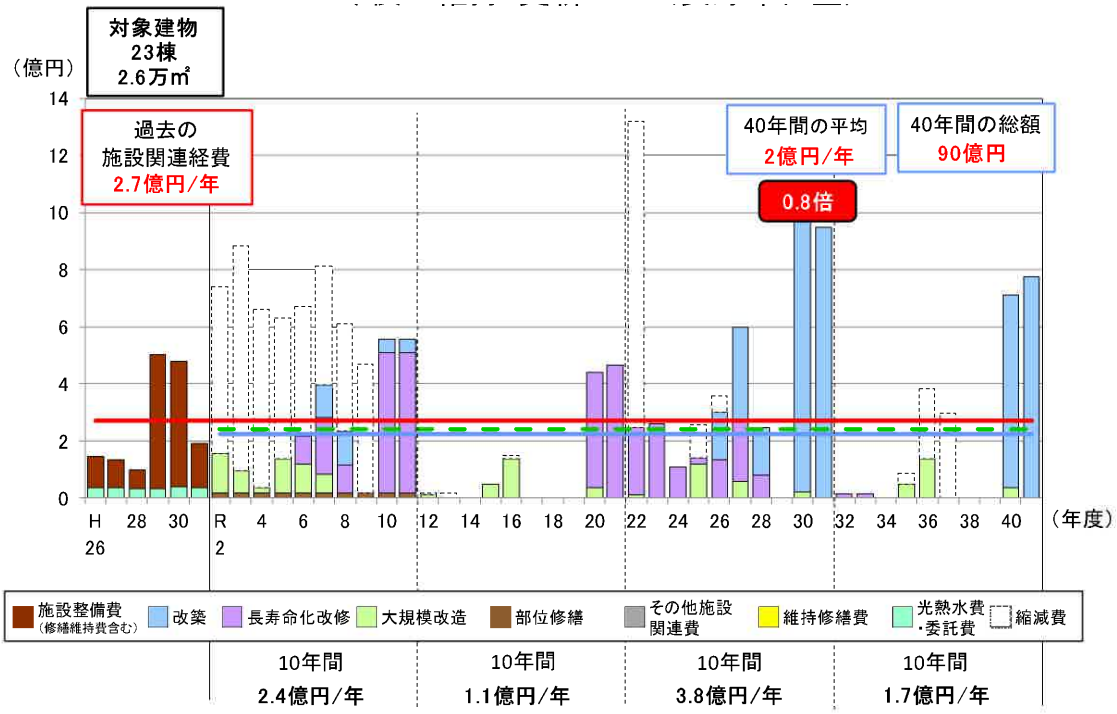
C評価： 今後 10 年以内に部位修繕を実施

（ただし、改築・長寿命化改修・大規模改造を今後10年以内に実施する場合を除く）

A評価： 今後 10 年以内の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く

図表今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

（築 20 年で大規模改造、築 60 年で長寿命化改修、築 50 年で改築）



第 4 章学校施設整備の基本的な方針等

4-1 学校施設の長寿命化計画の基本方針

「松川町公共施設等総合管理計」に基づくとともに本市の学校施設の目指すべき姿を踏まえ、学校施設の長寿命化計画の基本方針を次のように定めます。

方針 1　「品質」に対する基本方針

Ⅰ公共施設の「品質」が今後どうあるべきかを検討し、そのグランドデザインを町民の皆様へ情報提供していきます。

Ⅱ「供給」との調整を図りつつ、現時点で「品質」が十分でない施設を優先的に対応します。

Ⅲ次世代に引き継ぐ施設については、社会経済情勢などの変化に的確に対応できるよう、適宜整備計画を見直してまいります。

方針 2　「供給」に対する基本方針

Ⅰこれまで整備してきた公共施設を大切に使うとともに、次世代に「引き継ぐ」べき施設を選定します。

Ⅱ将来のまちづくりの観点から、「松川町総合計画〔改訂版〕」との整合性を図り施設の再整備を行います。

方針 3　「財務」に対する基本方針

Ⅰ長期的な視点から必要な「品質」に求められる点検・工事の財源を確保し、計画的な維持保全を行います。

Ⅱ効率的な「供給」目標の実現により、投資の選択と集中を行い「財務」負担の削減を行います。

Ⅲ持続可能な自治体経営のため、公共施設マネジメントに対する「財務」管理を行います。

方針 4　地域に開かれた施設としての機能向上

これからの学校施設に求められる地域コミュニティ、スポーツ、防災、生涯学習、子育て支援等の拠点機能を高めるため、学校施設の多面的な活用と周辺の公共施設の機能との複合化により、効率的かつ効果的な施設運営を図ります。

また、誰もが安全に利用できるよう、段差解消や手すりの設置、多目的トイレの整備等、施設・設備のユニバーサルデザイン（ＵＤ）化を図ります。

方針 5　町民・大学との協働作業や広域連携の視点導入による財政負担の軽減

教育施設の整備に際しては、ＰＰＰ・ＰＦＩ等の民間活力の導入を検討し、財政負担の軽減と民間ノウハウによるライフサイクルコスト低減を図ります。

また、広域的視点での施設の有効活用と財政負担軽減のため、県、近隣自治体、民間事業者との連携・協働による運営方法を検討します。

方針６	施設保有量の最適化（長寿命化や複合化）

将来の児童生徒見通しや地域の人口分布に注視し、必要に応じて小学校の適正規模・適正配置について、保護者や地域住民との協議を重ね、合意形成を図っていきます。

それに伴い、施設改修・改築時期の方針見直しなど柔軟に対応していきます。

4-2 保全に係る基準等の設定

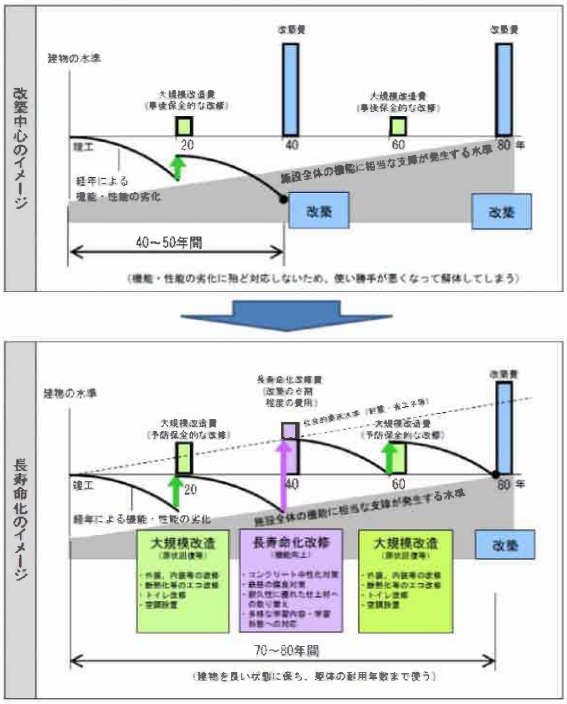
(1) 学校施設の長寿命化方針

本町では、築 50 年以上の建物が７棟（対象とした施設の 30%）、築 40～49 年の建物が４棟(対象とした施設の 17%)あり、今後の十カ年に大規模改修や改築時期が同じ時期に集中することが予想されます。そのため、従来の大規模改修や改築を中心とした老朽化対策では対応しきれない施設が大幅に増加する恐れがあります。

また、今後の厳しい財政状況の下では、改築を中心とした老朽化対策では、対応しきれない施設が大幅に増加する恐れがあります。

これらのことから、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減・予算の平準化を実現するため、改築より工事費が安価で、廃棄物や二酸化炭素の排出量が少ない長寿命化改修への転換を図ります。構造躯体が長期間の利用に適さない場合には、個別施設ごとに躯体の詳細な調査を行い、長寿命化に適さないと判断された建物については、改築までの期間に応急的な保全を行うなど、当面の安全性・機能性等の確保に努めます。

図表改築中心から長寿化への転換の考え方



(2) 予防保全型による維持管理

これまでの事後保全型の維持管理方法では、突発的な対応や修繕時期の集中等により、十分な老朽化対策や施設整備水準の維持には対応できず、予算措置も遅れる等長寿命化への対応が困難になります。建物の良好な維持と長期間の利用を図るためにも、予防保全型による維持管理への転換が必要です。

そのためには、定期的な点検・調査を実施することで、老朽状況の把握と十分な予防保全に向けた検討により適切な改修工事が行うことができます。

(3) 施設関連経費の平準化

学校施設における屋根・屋上、外壁の劣化状況は、一部の建築物においては老朽化（D評価）が進行しており、早急に対応する必要のある建物が広範囲にあることから、同じ時期に改築・改修、修繕が集中することが懸念されます。

各建物の老朽化状況やこれまでの修繕履歴などを考慮し、改築・改修時期の調整を行うとともに、同時期に改修建物が集中する場合、施設の劣化状況を踏まえて先送りすることにより、施設関連経費の平準化を行います。

(4) 目標使用年数の設定

建物の寿命は、立地条件や施工性、使用状況の違いによっても大きく左右されます。鉄筋コンクリート造の学校施設の法定耐用年数は 47 年となっていますが、これは税務上、減価償却費を算定するためのものであり、一般的に鉄筋コンクリート造の建物では、コンクリートのひび割れ・欠けや鉄筋の腐食等の劣化が生じていたとしても、劣化が重度にならないうちに適切な時期(概ね築後 45 年程度まで)にその劣化の原因を調査し、劣化の程度と原因に応じた適切な補修・改修を行うことで耐用年数を延ばすことができます。

鉄筋コンクリート造の校舎の場合、目標耐用年数として、普通品質では 50～80 年、高品質の場合は 80～120 年とされています。

本計画においては、「建築物の耐久計画に関する考え方」（社団法人日本建築学会）が提案する算定式や施設使用の限界年数の考え方と、適切な維持管理がなされることを前提に前述の構造躯体の健全性等に基づき、学校施設の目標使用年数を次のように設定します。

図表学校施設の目標使用年数

構造別の望ましい耐用年数		
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨造	木造
80 年	80 年	40 年

（参考）目標使用年数算定例

算定式：Y=Ｙｓ×A×B×C×D×E×F×G×H

Y：耐用年数　　YS：標準耐用年数（60 年）

A：コンクリート種類；**普通ｺﾝｸﾘｰﾄ＝1.0**、軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ＝0.95

B：セメント種類；**ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ＝1.0**、高炉ｾﾒﾝﾄ A＝0.85、高炉ｾﾒﾝﾄ B＝0.8

C：水セメント比；**65%＝1.0**、60%＝1.2、55%＝1.5

D：被り厚さ；20 ㎜＝0.25、30 ㎜＝0.56、**40 ㎜＝1.0**、50 ㎜＝1.56

E：外壁仕上げ材；無＝0.5、**複層塗材＝1.0**、ﾓﾙﾀﾙ 15 ㎜以上＝1.5、ﾀｲﾙ＝3.0

※15 ㎜以上の増打ちしているものは打ち放しでも、ﾓﾙﾀﾙ 15 ㎜以上塗ったものと同等。

F：コンクリート施工状況；**通常の施工＝1.0**、入念な施工＝1.5

G：建物維持保全の程度：劣化後も補修しない＝0.5、**劣化部分を補修する＝1.0**

H：地域；**一般＝1.0**、凍結融解を受ける地域＝0.9、海岸＝0.8

■本町の場合

Y＝Ys(60)×A(1.0)×B(1.0)×C(1.0)×D(1.0)×E(1.0)×F(1.0)×G(1.0)×H(1.0)≒60

（参考）望ましい目標耐用年数の級

構造種別 用途	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造			木造
			重量鉄骨		軽量鉄骨	
	高品質の場合	普通品質の場合	高品質の場合	普通品質の場合		
学校・官公庁	Y_o 100以上	Y_o 60以上	Y_o 100以上	Y_o 60以上	Y_o 40以上	Y_o 60以上

（参考）目標耐用年数の級の区分例

目標耐用年数 級（Y_o）	代表値	範囲	下限値
Y_o 150	150年	120～200年	120年
Y_o 100	100年	80～120年	80年
Y_o 60	60年	50～80年	50年
Y_o 40	40年	30～50年	30年

資料：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）

（参考）国税庁提唱の耐用年数

○「主な減価償却資産の耐用年数（建物・建物付属設備）」：国税庁

・鉄筋コンクリート造：47 年
・鉄骨造（金属造）　：19～34 年
・木　造　　：22 年
・電気設備（照明設備を含む）：6～15 年
・給排水・衛生設備・ガス設備：15 年

法定耐用年数は、省令制定当時には、建物を構成する主要な部位（構造躯体、外装、床等）ごとに耐用年数を総合的に勘案し、算定されたと言われています。よって、構造躯体の劣化により使用できなくなる寿命を表しているわけではありません。建物には、法定耐用年数以外に、物理的耐用年数、機能的耐用年数、経済的耐用年数があります。

(5) 改修周期の設定

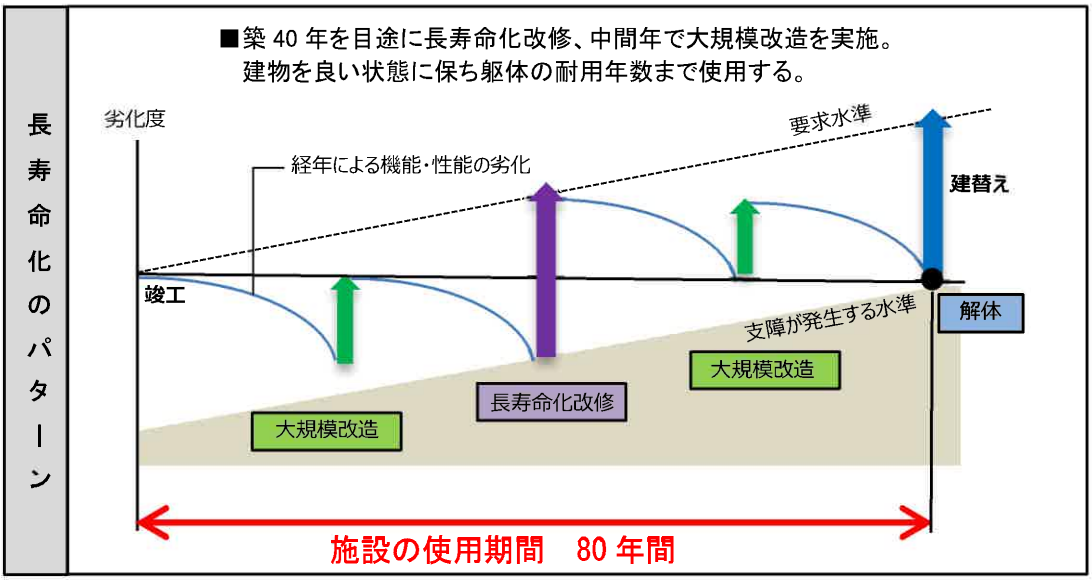
設定した目標使用年数まで建物を使用し、学校施設の機能・性能の低下を長期間放置することなく、求められている水準まで引き上げる機会を定期的に得るため、必要な改修の周期を次のように設定します。

図表学校施設の改修周期

建物用途	目標使用年数	大規模改造の周期	長寿命化改修の周期
校舎	80 年	築 20 年／80 年	築 60 年
体育館	80 年	築 20 年／80 年	築 60 年

築 20 年経過時点において、原状回復のための改修を行い、目標使用年数の中間期に長寿命化改修を実施、その後改築までの期間に再度原状回復のための改修を行う等、定期的に必要な改修を行い、建物を長寿命化します。

図表大規模改造と長寿命化改修による使用期間延長の概念



大規模改造	長寿命化改修
経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復工事	経年劣化による機能回復工事と耐用性、快適性、省エネ性を確保するための機能向上工事
・屋上防水改修 ・外壁改修 ・トイレ改修 ・内装改修 ・設備機器改修 ・劣化の著しい部位の修繕	・屋上防水改修 ・外壁改修 ・トイレ改修 ・内装改修 ・設備機器改修 ・劣化の著しい部位の修繕 ・コンクリート中性化対策 ・鉄筋の腐食対策 ・バリアフリー改修 ・外壁、屋上の断熱化改修 ・省エネルギー機器への更新

第 5 章方針等を踏まえた施設整備の水準等

5-1 改修等の整備水準

老朽化した施設を将来にわたって長く使い続ける長寿命化型改修では、物理的な不具合な箇所を修繕するだけでなく、建物の機能や性能を現在の学校施設に求められている水準まで引き上げ改修することです。学校施設の老朽化状況の実態において把握した現在の劣化状況や学校施設整備の基本的な方針等を踏まえ、今後の改修等によって引き上げる水準を施設の部位ごとに検討し、学校施設に関する統一的な方針として、今後の改修等による整備水準を設定します。

5-2 維持管理の項目・手法等

(1) 情報の整理と更新

本計画を推進するためには、現状の学校施設状況や改修履歴等のデータを蓄積し、定期的に更新することが重要とることから、本業務で実施した劣化状況調査による評価内容についても、今後の調査に合わせて更新することによって劣化の進行度合いを反映した改修メニューや改修時期の検討等を行うため、適宜、見直しを図ります。

(2) 維持管理の項目・手法

学校施設における従来の主な点検・調査には、法令で義務付けられている建築基準法第 12 条点検や、消防点検等の設備機器の定期点検があります。

12 条点検に合わせて簡易な老朽度調査も行うことで老朽状況の進行や危険な箇所を早期に確認することが可能となります。また、簡易な老朽調査結果を学校施設カルテや公共施設データベースに蓄積・更新することで、老朽化の進捗状況に合わせた改修メニューや改修時期等の見直しに役立てます。

（参考）維持管理項目・手法

町 （学校施設所管課）	維持	清掃
		改修・修繕
	点検	定期点検：年 1 回
		法定点検：定められた期間ごとの実施点検を定期的に実施する ※簡易な老朽調査を併せて実施する：3 年に 1 回 ・昇降機、防火設備、建築設備については、昇降機法定点検、消防設備点検、電気事業法による点検等の法定点検の実施：各設備の定期点検
		臨時点検：故障情報・異常気候における状況把握
	施設情報管理	履歴管理による現状把握（学校施設台帳・施設カルテ）：毎年
学校 （施設管理者・教職員等）	点検	日常点検：日常生活の中で、施設の不具合や児童・生徒が通常使用する施設及び設備の異常を発見した場合の報告と記録
		毎学期点検：通常使用する施設や設備の異常有無の確認
		臨時点検：故障情報・異常気候における状況把握

①部位ごとの対応手法

予防保全を実施すべき部位については建物構造躯体への影響が大きいことから、計画的な対応が必要（A）、運転の時間等において、また点検を介して不具合があれば故障する前に対応が必要（B）、事後保全対応する部位（C）の３つに区分した対応手法を設定します。

（参考）維持管理の部位ごとの対応手法の例

	対象部位	具体例	対応手法	理由
建築	屋根・屋上	屋上防水・屋根	A	屋根・屋上及び外壁の劣化に伴う亀裂の発生は漏水原因となる可能性が高い
	外壁	ＲＣ造躯体・外壁ボード	A	
	開口部	シャッター・アルミサッシ・スチール扉	B	日常使用で不具合が発見できる
	内部仕上げ	床・壁・天井内装材	A	雨漏れなどにより仕上げ材の劣化・損傷が進行する。日常使用で不具合が発見できる
電気設備	受変電	受電盤・変圧器・コンデンサー	B	電気事業法による点検及び、消防法による点検が１回/年実施されており、点検を通じて不具合が発見できる
	通信・情報	映像・音響・インターホン	C	日常使用で不具合が発見できる
	通信・情報（防災）	自動火災報知機・非常警報・非常灯	B	消防法による点検が１回/年実施されており、点検を通じて不具合が発見できる
	被雷・屋外	避雷針・外灯	C	日常点検により不具合が発見できる
機械設備	空調	パッケージエアコン・室外機	C	日常使用で不具合が発見できる
	換気・排煙	送風機・排煙機	C	窓やドアを開けるなどして、代替え措置が可能
	給排水衛生	屋内給水設備・ポンプ	C	衛生的環境の確保に関する法律により貯水槽の清掃を１回/年実施されており、清掃に合わせて点検を行い不具合が発見される
	消火	消火栓	B	消防法による点検が１回/年実施されており、点検を通じて不具合が発見できる
	昇降機など	エレベーター ダムウエーター	B	建築基準法に基づく点検が１回/年実施される。日常の使用の中で月１回程度作動確認を実施することで、不具合の発見が可能である

②定期点検

定期点検チェックシートを用いて、①建物（敷地）、②建物（外部）、③建物（内部）、④電気設備、⑤機械設備、⑥防災設備の点検結果を記録します。

また、劣化状況調査票（平成 30 年）に示される劣化箇所に新たな劣化状況が確認された場合、学校施設カルテの点検結果状況報告を用いて速やかに報告するものとします。

第 6 章長寿命化の実施計画

6-1 改修等の優先順位付け

(1) 財政制約の設定

学校施設における屋根・屋上、外壁の劣化状況は、双葉保育園園舎の屋根回りにD評価が確認され、早急に対応する必要のあります。

また、C判定と評価された部位のある建物が６棟あることから、各建物の老朽化状況やこれまでの修繕履歴等を考慮し、改築・改修時期の調整を行うとともに、同時期に改修する建物が集中する場合、施設の劣化状況を踏まえた施設関連経費の平準化を行います。

(2) 保全優先度の設定

長寿命化改修及び大規模改造工事は基本的に棟単位で行うものとし、優先順位付けの基本的な考え方については次の点を考慮します。

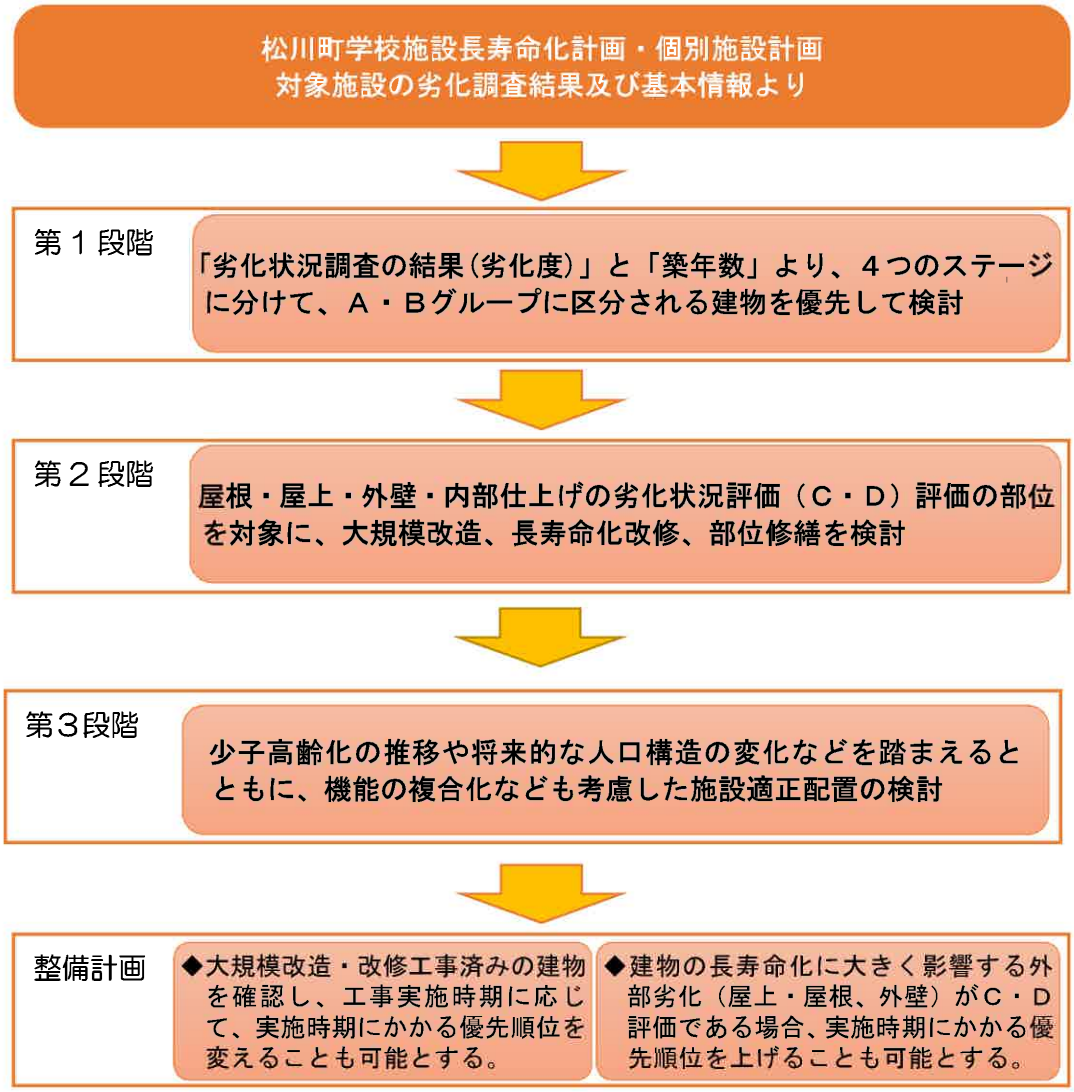
- ○ 本計画における劣化状況調査の結果(劣化度)
- ○ 建築年次
- ○ 部位ごとの劣化評価結果
- ○ 過去の改修履歴
- ○ その他、今後の学校整備計画上考慮すべき理由

優先順位の設定にあたっては、第１段階では前述した「劣化状況調査の結果(劣化度)」と「築年数」より、４つのステージに分けて、A・Bグループに区分される建物を優先して検討します。

また、整備計画の作成にあたっては、上記の優先順位設定につづき、劣化状況評価の健全度ポイントや、屋根・屋上・外壁・内部仕上げの劣化状況評価度D及びCを対象に、修繕周期なども踏まえて検討します。

さらに、児童生徒数の推移及び町の学校整備における適正配置などの指針に基づき、学校の配置等、社会情勢を考慮しつつ、実施計画作成期間は、直近 10 年の個別施設整備計画を作成します。

◆優先度の設定フロー


松川町学校施設長寿命化計画・個別施設計画
対象施設の劣化調査結果及び基本情報より
第１段階
「劣化状況調査の結果（劣化度）」と「築年数」より、４つのステージに分けて、Ａ・Ｂグループに区分される建物を優先して検討
第２段階
屋根・屋上・外壁・内部仕上げの劣化状況評価（Ｃ・Ｄ）評価の部位を対象に、大規模改造、長寿命化改修、部位修繕を検討
第３段階
少子高齢化の推移や将来的な人口構造の変化などを踏まえるとともに、機能の複合化なども考慮した施設適正配置の検討
整備計画
◆大規模改造・改修工事済みの建物を確認し、工事実施時期に応じて、実施時期にかかる優先順位を変えることも可能とする。
◆建物の長寿命化に大きく影響する外部劣化（屋上・屋根、外壁）がＣ・Ｄ評価である場合、実施時期にかかる優先順位を上げることも可能とする。

(3) 優先順位に向けた考察

対象施設の「健全度」と「築年数」で区分した場合、劣化度 40 点以上で築 40 年以上の「1 グループ」に該当する 6 施設は早期に大規模改造あるいは長寿命化型整備を最優先に行う必要があると考えられます。

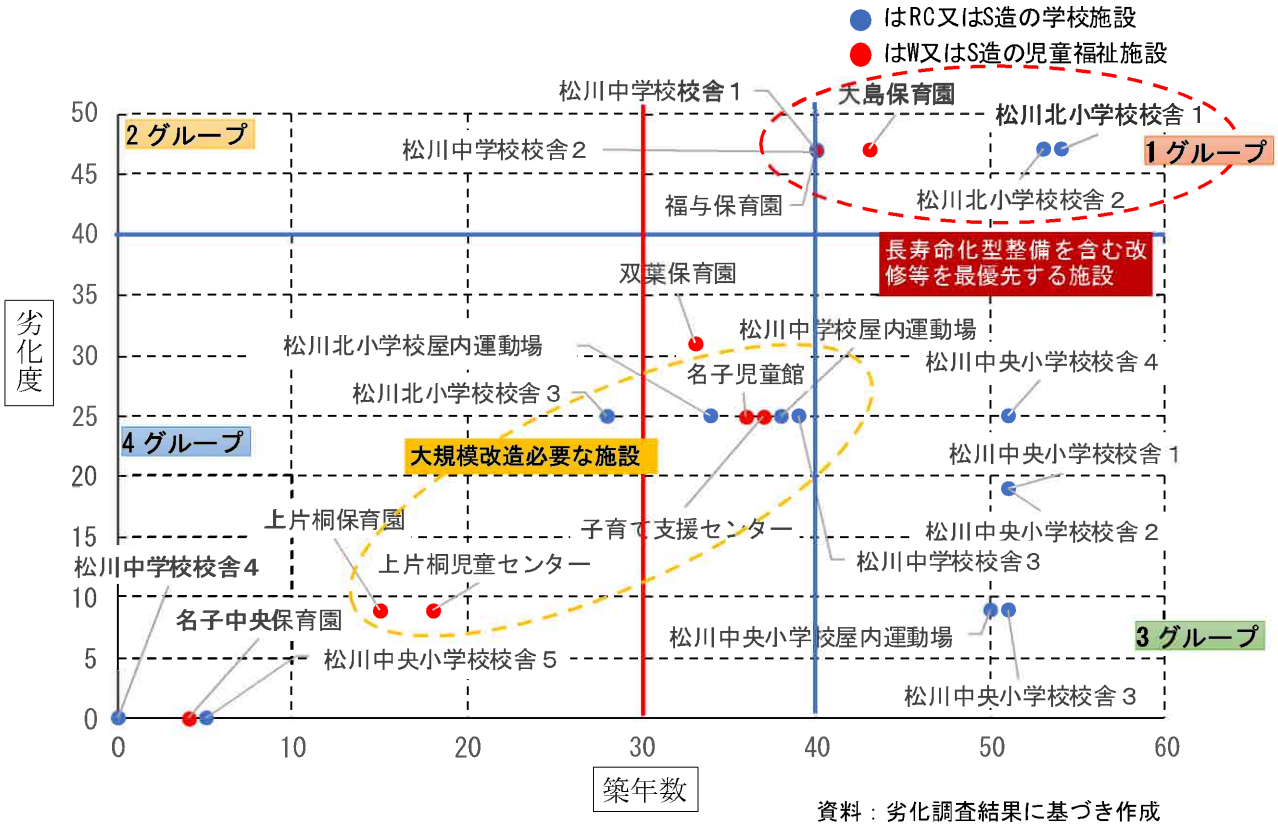
また、劣化度 40 点以下で築 40 年以上の「3 グループ」のうち、「D」評価の部位がある 1 施設についても部位修繕を含めた改修・修繕を検討を最優先に行う必要があると考えられます。

図表「劣化度」と「築年数」による整備の優先度

◇区分基準

区分	劣化度（100−健全度）	築年数	
		学校施設 RC 又は S 造	児童福祉施設 W 又は S 造
1 グループ	40 点以上	40 年以上	30 年以上
2 グループ	40 点以上	40 年未満	30 年未満
3 グループ	40 点以下	40 年以上	30 年以上
4 グループ	40 点以下	40 年未満	30 年未満

図表「劣化度」と「築年数」の散布図



資料：劣化調査結果に基づき作成

図表優先的整備が必要な対象施設

区分	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	築年数	劣化度（100−健全度）	劣化状況評価				
							屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
1グループ	1012	松川北小学校	校舎 1	1	54	47	B	B	C	C	C
	1012	松川北小学校	校舎 2	2	53	47	B	B	C	C	C
	4306	松川中学校	校舎 1	14	40	47	B	B	C	C	C
	4306	松川中学校	校舎 2	15	40	47	B	B	C	C	C
	―	大島保育園	園舎	3-1	43	47	B	B	C	C	C
	―	福与保育園	園舎	4-0	40	47	B	B	C	C	C
2グループ	該当なし										
3グループ	―	双葉保育園	―	―	33	31	D	B	B	B	B
	1011	松川中央小学校	校舎 4	7, 13	51	25	B	B	B	B	B
	1011	松川中央小学校	校舎 1	1-1, 1-2, 6	51	19	B	B	B	A	A
	1011	松川中央小学校	校舎 2	2	51	19	B	B	B	A	A
	1011	松川中央小学校	校舎 3	25	51	9	B	B	A	A	A
	1011	松川中央小学校	屋内運動場	3	50	9	B	B	A	A	A
	―	子育て支援センター	―	―	37	25	B	B	B	B	B
	―	名子児童館	―	―	36	25	B	B	B	B	B
4グループ	4306	松川中学校	校舎 3	16	39	25	B	B	B	B	B
	4306	松川中学校	屋内運動場	19-1, 19-2	38	25	B	B	B	B	B
	1012	松川北小学校	屋内運動場	11, 12-1, 12-2, 12-3	34	25	B	B	B	B	B
	1012	松川北小学校	校舎 3	―	28	25	B	B	B	B	B
	―	上片桐児童センター	―	―	18	9	B	B	A	A	A
	―	上片桐保育園	園舎	―	15	9	B	B	A	A	A
	1011	松川中央小学校	校舎 5	28	5	0	A	A	A	A	A
	4306	松川中学校	校舎 4	―	0	0	A	A	A	A	A
	―	名子中央保育園	園舎	―	4	0	A	A	A	A	A

※劣化状況評価基準

A	概ね良好
B	部分的に劣化
C	広範囲に劣化
D	早急に対応する必要がある

6-2 長寿命化計画の検討

(1) 改築を中心とした従来型の施設整備

本町の学校施設整備は、物理的・機能的な不具合が生じた部分的な箇所や部位別に改修しながら、改築後約 50～60 年まで使用し続けた後に改築することで整備してきました。この整備手法を「従来型の施設整備」といいます。

現在、保有する建物でみると、松川中央小学校及び松川北小学校では校舎や屋内運動場が築 50 年を過ぎています。今後も従来型の施設整備を行った場合、年度ごとに要する事業費の見通しは次の通りです。

①コスト試算条件の設定

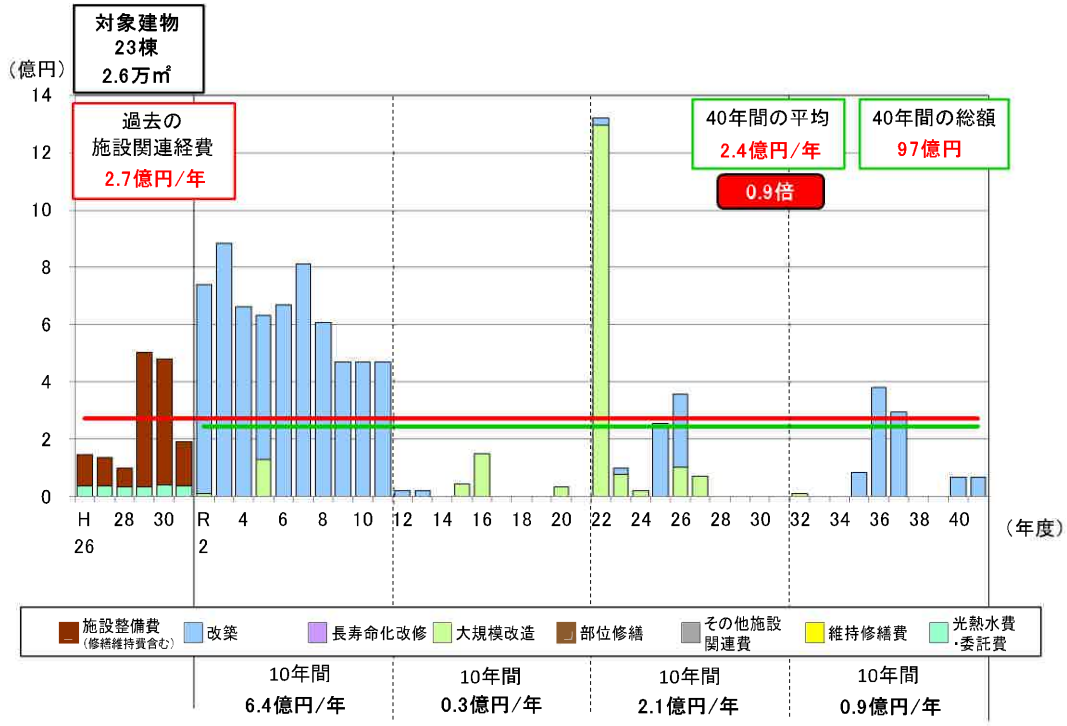
設定したコスト試算の条件は次の通りです。

計画期間	令和２年度から令和 41 年度までの 40 年間
整備順序	建物施設の建築年順とする
対象施設	小・中学校の校舎棟、体育館棟を対象とする
工事費	改築工事単価：30 万円／㎡
	更新周期：40 年
	大規模改造実施年数：20 年周期

②事業費の見通し

従来型の施設整備に要する平均年間施設関連は約 2.7 億円となり、令和２年度以降、改築件数が増加するため、必要な年間事業費が増大します。令和 12 年度以降においては、一旦改築件数は少なくなりますが、改築を終えた建物の大規模改造が始まります。

図表今後の維持・更新コスト【従来型】



資料：文部科学省提供ソフトによる試算結果

(2) 長寿命化改修を中心とした施設整備

①コスト試算条件の設定

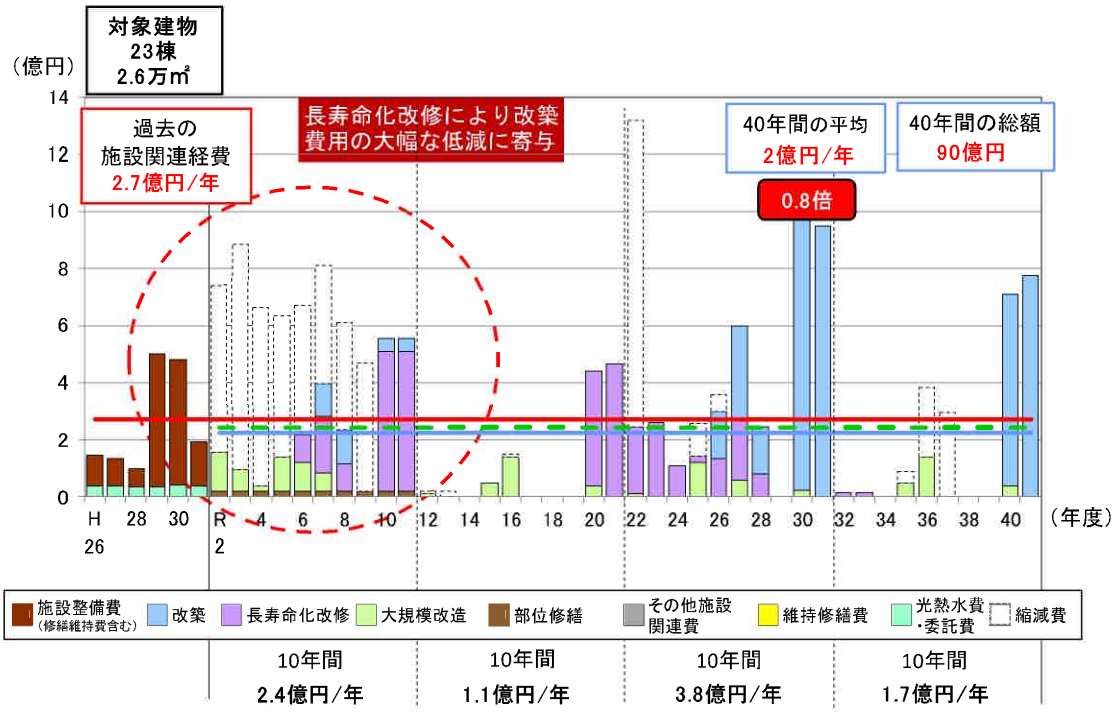
設定したコスト試算の条件は次の通りです。

計画期間	令和２年度から令和 41 年度までの 40 年間	
整備順序	建物施設の建築年順とする（築年数の大きい順）	
対象施設	小・中学校の校舎棟、体育館棟を対象とする	
工事費	長寿命化改修工事	校舎棟単価：16.8 万円／㎡、体育館棟：19.8 万円／㎡
	大規模改修工事	校舎棟単価：7.0 万円／㎡、体育館棟：8.25 万円／㎡
	改築工事	校舎棟単価：28.0 万円／㎡、体育館棟：33.0 万円／㎡

②事業費の見通し

長寿命化型改修の施設整備に要する平均年間事業費は約２億円と従来の施設関連経費 2.7 億円／年の 0.8 倍に縮小されます。令和２年度から令和 11 年度の 10 年間においては、長寿命化改修と改築件数が増加しますが、従来型コストでの予測コスト 6.4 億円/年が約 37.5%まで圧縮され 2.4 億円／年となります。

図表 今後の維持・更新コスト【長寿命化型】



資料：文部科学省提供ソフトによる試算結果

③整備計画別の事業費比較による長寿命化改修の効果

従来型の施設整備における計画期間 40 年間総事業費は約 97 億円、平均年間事業費は 2.4 億円です。

一方、長寿命化改修を中心とした施設整備の総事業費は約 90 億円、平均年間事業費は２億円となることから、総事業費では約７億円、毎年 0.4 億円程度の事業費削減が見込めます。

しかしながら、過去の実績値（過去５年の平均）と比較すると、年間の財政負担は増えるため、今後の計画においては、整備計画の精査による事業費の縮減や平準化を検討する必要があります。

◆整備計画別の事業費等一覧表

整備計画	平均年間事業費	計画期間	総事業費
過去の実績値（過去 10 年の平均）	1.5 億円	－	－
従来型の施設整備	2.4 億円	40 年	約 97 億円
長寿命化改修を中心とした施設整備	2.0 億円	40 年	約 90 億円

6-3 改修等の実施計画

(1) 今後５年間の整備内容

校舎・屋内運動場の長寿命化においては、劣化状況調査から得られた健全度を基に築経過年数や屋上・屋根及び外壁のＣ・Ｄ評価を優先的に考慮し、長寿命化改修と大規模改修を基本として実施計画検討に取り組むものとします。

長寿命化改修は、築 40 年を超える建物を対象に順次長寿命化の検討を行います。

また、大規模改修は 20 年を改修周期とし、対象時期を経過しているもの全てを対象に、順次大規模改修の検討を行います。大規模改修を実施した施設については、劣化部位においてＣ・Ｄ評価部分に絞り込んだ改修とするなど、個別に改修内容を検討することとします。

なお、それらに先立ち各学校において、水まわり等の配管設備の一部先行改修及び老朽化したトイレ施設改修を行うことにより、各学校の校舎の長寿命化を図るとともに児童生徒の生活環境改善を図るため、小中学校の洋式トイレの整備に取り組むこととします。

(2) 今後５年間の予算配分

文部科学省提供の試算ソフトによる実施計画では、過去の投資経費を上回る結果となることから、今後５年間の実施計画の作成においては、過去５年間の投資的経費や本町の財政状況等から、年間の施設整備費を約 1.5 億円に設定することを目標に、各年の平準化を図ります。

財源については、国の補助金や起債など、適切かつ効果的に活用して財政負担を軽減するものとします。

図表 今後５カ年の整備計画

年度 / 事業名称	2021		2022		2023	
	R3		R4		R5	
	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費
長寿命化改修						
大規模改造（老朽）			松川中学校屋内運動場	126,106,200	子育て支援センター	72,800,000
			上片桐児童センター	9,800,000		
部位修繕			双葉保育園園舎	11,019,120	松川中学校校舎2	39,139,240
トイレ改修	松川中央小学校	103,390,000				
	松川北小学校	49,280,000				
	松川中学校	31,400,000				
合　計		184,070,000		146,925,320		111,939,240
財政支出目標		150,000,000		150,000,000		150,000,000
差額		34,070,000		△ 3,074,680		△ 38,060,760

年度 / 事業名称	2024		2025		計
	R6		R7		
	学校名	事業費	学校名	事業費	
長寿命化改修	双葉保育園屋根	1,700,000	双葉保育園プール	4,000,000	19,700,000
	上片桐保育園プール	2,200,000			
	松川中央小学校中校舎	3,900,000			
	松川中学校屋内運動場	7,900,000			
大規模改造（老朽）	名子児童館	17,360,000	上片桐保育園	0	226,066,200
部位修繕	松川中学校校舎1	70,253,260	松川中学校校舎1	21,075,978	209,326,838
	松川中学校校舎2	39,139,240	松川北小学校昇降口	8,000,000	
	大島保育園環境改善	1,100,000	大島保育園遊具	1,500,000	
	大島保育園遊具	1,500,000	福与保育園遊具	1,500,000	
	双葉保育園環境改善	600,000	大島保育園環境改善	4,000,000	
	上片桐保育園環境改善	500,000	上片桐保育園環境改善	1,000,000	
	福与保育園環境改善	2,000,000	双葉保育園環境改善	2,000,000	
	福与保育園遊具	1,000,000			
	子育て支援センター遊具	4,000,000			
トイレ改修					184,070,000
合　計		153,152,500		43,075,978	639,163,038
財政支出目標		150,000,000		150,000,000	750,000,000
差額		3,152,500		△ 106,924,022	△ 110,836,962

6-4 長寿命化コストの見通しと長寿命化の効果

(1) 長寿命化の効果

従来型から長寿命化型にシフトすることで、今後 40 年間で維持・更新コストは総額約 90 億円（年平均事業費約 2.0 億円）となり、従来型の改築を中心の更新コスト約 97 億円より約７億円、約 7.2%の費用削減ができることから、長寿命化にシフトすることで一定の効果はあるといえます。

本町の学校施設等（校舎・屋内運動場等）について、従来の建て替え（改築）を前提とした維持・管理から長寿命化を前提とした維持・管理への切り替え、事後保全から予防保全への切り替えを行うことにより、修繕スパンの改善や修繕箇所の縮小等、改修以降の維持修繕費の低減につながります。

また、省エネ型の改修を導入することにより、光熱水費の低減にもつながり、トータルとしての維持・管理コストの低減が期待できます。

(2) 長寿命化計画によるコストの見通し

今後５年間の実施計画では、改修等に年平均約 1.5 億円を見込みますが、令和５(2023)年度から実施を予定する長寿命化工事は、この単年度予算枠では不足することから、その対処方法について検討します。

特に、少子化する町の現状を考慮すると、現在の学校棟数を維持したままで学校施設の維持管理・更新費用をあてることについても、ハード整備の観点とは別の視点で検討することが重要な課題になると考えられます。

計画した直近５年間の実施計画及び以降の長寿命化改修、予防保全型の修繕の導入、さらに改築時における減築を検討し、長寿命化型の試算（文部科学省ソフト）から、より一層の維持・管理コストの低減に努めます。

(3) 維持・更新の課題と今後の方針

劣化状況調査による健全度を基に築経過年数や劣化評価がＣ・Ｄ評価となっている部位を優先的に検討します。

また、上記の本計画による今後 40 年間のコストの見通しにおいても、過去５年間の費用実績に比べると大きく、長寿命化や予防保全への切り替えだけでは限界があると考えられます。

そのため、今後、本計画をフォローアップしていく中で、利用頻度が低く校舎等と別棟となっている建物の廃止や大規模改造時における減築を検討します。また、早い段階で小中学校の統廃合も視野に入れた保有量の縮小を検討します。

少子化を迎える、これからの時代の学校施設や保育施設の運営を考慮し、官民業のあらゆる参加主体を対象とした複合化等に関する協議の機会を設けるなど、地域と協働で、開かれた学校づくりを推進します。

第７章長寿命化計画の継続的運用の方針

7-1 情報基盤の整備と活用

固定資産台帳や学校施設台帳を活用した学校施設カルテを基に、学校施設の基本情報、光熱水費等の維持管理費、工事履歴や点検情報等を定期的に更新・管理していきます。また、継続的な実態把握によるデータベースの蓄積、計画・評価のためのシミュレーション、適正配置計画の検討と住民合意形成のための情報活用等、施設基本情報とともに光熱水費、修繕履歴情報、点検情報等を統一フォーマットで一元管理する、学校施設のマネジメント支援システムの構築を検討します。

7-2 推進体制等の整備

学校施設の老朽化や求められる機能の変化を的確に把握し、本計画を継続的に運用していくためには、教育委員会が中心となり、各学校、教育委員会各課、点検等実施業者との連携を図ります。

また、本計画を町全体の取組として推進するため、財政部門等の関連部局との横断的な庁内連携が重要であり、関係部門による総合的な推進体制の構築を図ります。

さらに、学校施設に関する地域の課題に対しては各支所との連携とともに、学校施設に関する情報と問題意識を町民並びに地域と共有することが重要であることから、情報共有の在り方を検討します。

7-3ＰＤＣＡサイクルの確立

学校施設の効率的かつ効果的な整備を進めていくためには、

①施設の点検・評価によって現状を的確に把握した上でそれを踏まえた計画（学校施設の長寿命化計画）を策定すること（Ｐｌａｎ）、

②計画に基づき、適切な改修や日常的な維持管理等を実施すること（Ｄｏ）、

③整備による効果の検証を継続的に行い、より効果的な整備手法など改善すべき点について課題を整理すること（Ｃｈｅｃｋ）、

④次期計画に反映していく（Ａｃｔｉｏｎ）、というＰＤＣＡサイクルを確立することが重要です。

本計画の改定以降、施設の老朽化に関する点検・評価を実施し、その結果を踏まえて概ね５年程度経過した段階で計画を見直すことを基本としますが、改修箇所の選定、実施方法などについては、これに関わらず毎年、機動的に行っていきます。

また、点検・評価や本計画の進捗状況等については、適宜、関係部課局、議会等関係機関に報告するとともに、町民に公表します。

こうした取組をとおし、保護者や地域住民の意見や要望を反映し、本町の実情に応じた学校づくりを進めます。

参考資料

通し番号	1				
学校名	松川中央小学校	学校番号		調査日	平成30年12月12日
建物名	校舎1			記入者	緒方文行
棟番号	I-1,1-2,6			建築年度	昭和42 年度（ 1967 年度）
構造種別	RC造	延床面積	2,321 ㎡	階数	地上 2 階 地下 階

部位	仕様（該当する項目にチェック）	工事履歴（部位の更新） 年度	工事内容	劣化状況（複数回答可）	箇所数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	□ アスファルト保護防水			□ 降雨時に雨漏りがある		屋根鋼鈑や劣化	B
	□ アスファルト露出防水			■ 天井等に雨漏り痕がある	2		
	□ シート防水、塗膜防水			□ 防水層に膨れ・破れ等がある			
	■ 勾配屋根（長尺金属板、折板）			□ 屋根葺材に錆・損傷がある			
	□ 勾配屋根（スレート、瓦類）			□ 笠木・立上り等に損傷がある			
	□ その他の屋根 （ ）			□ 樋やルーフドレンを目視点検できない			
				□ 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	■ 塗仕上げ			□ 鉄筋が見えているところがある		犬走り部階段破損 雨樋一部破損 軒天塗装剥がれ	B
	□ タイル張り、石張り			□ 外壁から漏水がある			
	□ 金属系パネル			□ 塗装の剥がれ			
	□ コンクリート系パネル（ALC等）			□ タイルや石が剥がれている			
	■ その他の外壁 （ サイディング ）			□ 大きな亀裂がある			
	■ アルミ製サッシ			□ 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	■ 鋼製サッシ			■ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある	2		
	□ 断熱サッシ、省エネガラス			■ 外部手すり等の錆・腐朽	少々		
				□ 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項（改修内容及び点検等による指摘事項）	評価
3 内部仕上	□ 老朽改修		壁クラック	B
（床・壁・天井）	□ エコ改修		壁塗装剥れ	
（内部建具）	□ トイレ改修		開口部下部目地材不具合	
（間仕切等）	□ 法令適合		床材劣化	
（照明器具）	□ 校内LAN		硝子破損	
（エアコン）等	□ 空調設置		トイレタイル破損	
	□ 障害児等対策		扉ガラリ部破損	
	□ 防犯対策		階段手摺根元部破損	
	□ 構造体の耐震対策			
	□ 非構造部材の耐震対策			
	□ その他、内部改修工事			
4 電気設備	□ 分電盤改修		照明機器球切れ	A
	□ 配線等の敷設工事			
	□ 昇降設備保守点検			
	□ その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	□ 給水配管改修		空調機器錆	A
	□ 排水配管改修			
	□ 消防設備の点検			
	□ その他、機械設備改修工事			

特記事項（改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載）

H21,22：大規模改修、耐震補強工事

健全度
81 ／100点

通し番号	2				
学校名	松川中央小学校	学校番号		調査日	平成30年12月12日
建物名	校舎2			記入者	緒方文行
棟番号	2			建築年度	昭和42 年度（ 1967 年度）
構造種別	RC造	延床面積	1,684 ㎡	階数	地上 2 階 地下 階

部位	仕様（該当する項目にチェック）	工事履歴（部位の更新） 年度	工事内容	劣化状況（複数回答可）	箇所数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	□ アスファルト保護防水 □ アスファルト露出防水 □ シート防水、塗膜防水 ■ 勾配屋根（長尺金属板、折板） □ 勾配屋根（スレート、瓦類） □ その他の屋根 （ ）			□ 降雨時に雨漏りがある ■ 天井等に雨漏り痕がある □ 防水層に膨れ・破れ等がある □ 屋根葺材に錆・損傷がある □ 笠木・立上り等に損傷がある □ 樋やルーフドレンを目視点検できない □ 既存点検等で指摘がある	2	屋根鋼鈑やや劣化 鋼製笠木一破損 水はけ不良	B
2 外壁	■ 塗仕上げ □ タイル張り、石張り □ 金属系パネル □ コンクリート系パネル（ALC等） □ その他の外壁 （ サイディング ） ■ アルミ製サッシ ■ 鋼製サッシ □ 断熱サッシ、省エネガラス			□ 鉄筋が見えているところがある □ 外壁から漏水がある □ 塗装の剥がれ □ タイルや石が剥がれている □ 大きな亀裂がある □ 窓・ドアの廻りで漏水がある □ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある □ 外部手すり等の錆・腐朽 □ 既存点検等で指摘がある		犬走コンクリート破損 玄関土間コンクリートクラック、及び破損 塗装膨れ 雨樋掴み金物破損	B

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項（改修内容及び点検等による指摘事項）	評価
3 内部仕上 （床・壁・天井） （内部建具） （間仕切等） （照明器具） （エアコン）等	□ 老朽改修 □ エコ改修 □ トイレ改修 □ 法令適合 □ 校内LAN □ 空調設置 □ 障害児等対策 □ 防犯対策 □ 構造体の耐震対策 □ 非構造部材の耐震対策 □ その他、内部改修工事		壁クラック サッシ建付け不具合 床板軋み 壁クロス剥れ 木製扉戸当たりゴム破損 天井材ずれ 階段手摺根元部破損	B
4 電気設備	□ 分電盤改修 □ 配線等の敷設工事 □ 昇降設備保守点検 □ その他、電気設備改修工事		照明機器球切れ	A
5 機械設備	□ 給水配管改修 □ 排水配管改修 □ 消防設備の点検 □ その他、機械設備改修工事		外部換気口破損	A

特記事項（改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載）

H21,22：大規模改修、耐震補強工事

健全度
81 ／100点

通し番号	3				
学校名	松川中央小学校	学校番号		調査日	平成30年12月12日
建物名	校舎3			記入者	緒方文行
棟番号	25			建築年度	平成13 年度（ 2001 年度）
構造種別	S造	延床面積	418 ㎡	階数	地上 1 階 地下 階

部位	仕様（該当する項目にチェック）	工事履歴（部位の更新） 年度	工事内容	劣化状況（複数回答可）	箇所数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	□ アスファルト保護防水			□ 降雨時に雨漏りがある		屋根鋼鈑やや劣化	B
	□ アスファルト露出防水			■ 天井等に雨漏り痕がある	2		
	□ シート防水、塗膜防水			□ 防水層に膨れ・破れ等がある			
	■ 勾配屋根（長尺金属板、折板）			□ 屋根葺材に錆・損傷がある			
	□ 勾配屋根（スレート、瓦類）			□ 笠木・立上り等に損傷がある			
	□ その他の屋根 （ ）			□ 樋やルーフドレンを目視点検できない			
				□ 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	■ 塗仕上げ			□ 鉄筋が見えているところがある		外部鉄骨階段錆 壁目地シーリング劣化	B
	□ タイル張り、石張り			□ 外壁から漏水がある			
	□ 金属系パネル			□ 塗装の剥がれ			
	□ コンクリート系パネル（ALC等）			□ タイルや石が剥がれている			
	□ その他の外壁 （ サイディング ）			□ 大きな亀裂がある			
	■ アルミ製サッシ			□ 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	■ 鋼製サッシ			□ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	□ 断熱サッシ、省エネガラス			□ 外部手すり等の錆・腐朽			
				□ 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項（改修内容及び点検等による指摘事項）	評価
3 内部仕上（床・壁・天井）（内部建具）（間仕切等）（照明器具）（エアコン）等	□ 老朽改修		モルタル壁クラック少々	A
	□ エコ改修			
	□ トイレ改修		床板軋み	
	□ 法令適合			
	□ 校内LAN			
	□ 空調設置			
	□ 障害児等対策			
	□ 防犯対策			
	□ 構造体の耐震対策			
	□ 非構造部材の耐震対策			
	□ その他、内部改修工事			
4 電気設備	□ 分電盤改修			A
	□ 配線等の敷設工事			
	□ 昇降設備保守点検			
	□ その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	□ 給水配管改修		外部換気口破損	A
	□ 排水配管改修			
	□ 消防設備の点検			
	□ その他、機械設備改修工事			

特記事項（改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載）

H21,22:大規模改修、耐震補強工事

健全度
91 ／100点

通し番号	4				
学校名	松川中央小学校	学校番号		調査日	平成30年12月12日
建物名	校舎4			記入者	緒方文行
棟番号	7,13			建築年度	昭和54 年度(1979 年度)
構造種別	S造	延床面積	759 ㎡	階数	地上 2 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新) 年度	工事内容	劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	□ アスファルト保護防水 □ アスファルト露出防水 □ シート防水、塗膜防水 ■ 勾配屋根(長尺金属板、折板) □ 勾配屋根(スレート、瓦類) □ その他の屋根 ( )			□ 降雨時に雨漏りがある ■ 天井等に雨漏り痕がある □ 防水層に膨れ・破れ等がある □ 屋根葺材に錆・損傷がある □ 笠木・立上り等に損傷がある □ 樋やルーフドレンを目視点検できない □ 既存点検等で指摘がある	2	屋根鋼鈑やや劣化	B
2 外壁	■ 塗仕上げ □ タイル張り、石張り □ 金属系パネル □ コンクリート系パネル(ALC等) □ その他の外壁 (サイディング) ■ アルミ製サッシ ■ 鋼製サッシ □ 断熱サッシ、省エネガラス			□ 鉄筋が見えているところがある ■ 外壁から漏水がある □ 塗装の剥がれ □ タイルや石が剥がれている □ 大きな亀裂がある □ 窓・ドアの廻りで漏水がある □ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある □ 外部手すり等の錆・腐朽 □ 既存点検等で指摘がある	広範囲		B

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	□ 老朽改修 □ エコ改修 □ トイレ改修 □ 法令適合 □ 校内LAN □ 空調設置 □ 障害児等対策 □ 防犯対策 □ 構造体の耐震対策 □ 非構造部材の耐震対策 □ その他、内部改修工事		天井材ずれ 壁クラック少々 サッシアルミパネル破損	B
4 電気設備	□ 分電盤改修 □ 配線等の敷設工事 □ 昇降設備保守点検 □ その他、電気設備改修工事		照明機器球切れ	B
5 機械設備	□ 給水配管改修 □ 排水配管改修 □ 消防設備の点検 □ その他、機械設備改修工事		設備配管不具合	B

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

H21,22:大規模改修、耐震補強工事

健全度
75 / 100点

通し番号	5				
学校名	松川中央小学校	学校番号		調査日	平成30年12月12日
建物名	校舎5			記入者	緒方文行
棟番号	28			建築年度	平成25 年度（ 2013 年度）
構造種別	S造	延床面積	569 ㎡	階数	地上 1 階 地下 階

部位	仕様（該当する項目にチェック）	工事履歴（部位の更新） 年度	工事内容	劣化状況（複数回答可）	箇所数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	□ アスファルト保護防水 □ アスファルト露出防水 □ シート防水、塗膜防水 ■ 勾配屋根（長尺金属板、折板） □ 勾配屋根（スレート、瓦類） □ その他の屋根 （ ）			□ 降雨時に雨漏りがある □ 天井等に雨漏り痕がある □ 防水層に膨れ・破れ等がある □ 屋根葺材に錆・損傷がある □ 笠木・立上り等に損傷がある □ 樋やルーフドレンを目視点検できない □ 既存点検等で指摘がある			A
2 外壁	■ 塗仕上げ □ タイル張り、石張り □ 金属系パネル □ コンクリート系パネル（ALC等） □ その他の外壁 （ サイディング ） ■ アルミ製サッシ ■ 鋼製サッシ □ 断熱サッシ、省エネガラス			□ 鉄筋が見えているところがある □ 外壁から漏水がある □ 塗装の剥がれ □ タイルや石が剥がれている □ 大きな亀裂がある □ 窓・ドアの廻りで漏水がある □ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある □ 外部手すり等の錆・腐朽 □ 既存点検等で指摘がある		外部鉄骨階段錆 壁目地劣化	A

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項（改修内容及び点検等による指摘事項）	評価
3 内部仕上 （床・壁・天井） （内部建具） （間仕切等） （照明器具） （エアコン）等	□ 老朽改修 □ エコ改修 □ トイレ改修 □ 法令適合 □ 校内LAN □ 空調設置 □ 障害児等対策 □ 防犯対策 □ 構造体の耐震対策 □ 非構造部材の耐震対策 □ その他、内部改修工事			A
4 電気設備	□ 分電盤改修 □ 配線等の敷設工事 □ 昇降設備保守点検 □ その他、電気設備改修工事			A
5 機械設備	□ 給水配管改修 □ 排水配管改修 □ 消防設備の点検 □ その他、機械設備改修工事			A

特記事項（改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載）

健全度
100／100点

通し番号	6				
学校名	松川中央小学校	学校番号		調査日	平成30年12月12日
建物名	屋内運動場			記入者	緒方文行
棟番号	3			建築年度	昭和43 年度（ 1968 年度）
構造種別	RC造	延床面積	1,354 ㎡	階数	地上 2 階 地下 階

部位	仕様（該当する項目にチェック）	工事履歴（部位の更新） 年度 工事内容	劣化状況（複数回答可）	箇所数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	□ アスファルト保護防水 □ アスファルト露出防水 □ シート防水、塗膜防水 ■ 勾配屋根（長尺金属板、折板） □ 勾配屋根（スレート、瓦類） □ その他の屋根 （ ）		□ 降雨時に雨漏りがある □ 天井等に雨漏り痕がある □ 防水層に膨れ・破れ等がある □ 屋根葺材に錆・損傷がある □ 笠木・立上り等に損傷がある □ 樋やﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝを目視点検できない □ 既存点検等で指摘がある		屋根鋼鈑や劣化	B
2 外壁	■ 塗仕上げ □ タイル張り、石張り □ 金属系パネル □ コンクリート系パネル（ALC等） □ その他の外壁 （ サイディング ） ■ アルミ製サッシ ■ 鋼製サッシ □ 断熱サッシ、省エネガラス		□ 鉄筋が見えているところがある □ 外壁から漏水がある □ 塗装の剥がれ □ タイルや石が剥がれている □ 大きな亀裂がある □ 窓・ドアの廻りで漏水がある □ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある □ 外部手すり等の錆・腐朽 □ 既存点検等で指摘がある		犬走りコンクリートクラック、及び破損モルタル壁一部クラック	B

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項（改修内容及び点検等による指摘事項）	評価
3 内部仕上（床・壁・天井）（内部建具）（間仕切等）（照明器具）（エアコン）等	□ 老朽改修 □ エコ改修 □ トイレ改修 □ 法令適合 □ 校内LAN □ 空調設置 □ 障害児等対策 □ 防犯対策 □ 構造体の耐震対策 □ 非構造部材の耐震対策 □ その他、内部改修工事		壁クラック ギャラリーコンクリート床クラック多数有	A
4 電気設備	□ 分電盤改修 □ 配線等の敷設工事 □ 昇降設備保守点検 □ その他、電気設備改修工事			A
5 機械設備	□ 給水配管改修 □ 排水配管改修 □ 消防設備の点検 □ その他、機械設備改修工事			A

特記事項（改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載）

H22;大規模改修、耐震補強工事

健全度
91 / 100点

通し番号	7				
学校名	松川北小学校	学校番号		調査日	平成30年12月11日
建物名	校舎1			記入者	緒方文行
棟番号	1			建築年度	昭和39 年度(1964 年度)
構造種別	RC造	延床面積	1,173 ㎡	階数	地上 2 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新) 年度	工事内容	劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	□ アスファルト保護防水 □ アスファルト露出防水 ■ シート防水、塗膜防水 □ 勾配屋根(長尺金属板、折板) □ 勾配屋根(スレート、瓦類) □ その他の屋根 ( )			□ 降雨時に雨漏りがある ■ 天井等に雨漏り痕がある □ 防水層に膨れ・破れ等がある □ 屋根葺材に錆・損傷がある □ 笠木・立上り等に損傷がある □ 樋やルーフドレンを目視点検できない □ 既存点検等で指摘がある	6	玄関、屋上屋根防水シート劣化 防護 フェンス基礎破損	B
2 外壁	■ 塗仕上げ □ タイル張り、石張り □ 金属系パネル □ コンクリート系パネル(ALC等) □ その他の外壁 ( ) ■ アルミ製サッシ ■ 鋼製サッシ □ 断熱サッシ、省エネガラス			□ 鉄筋が見えているところがある □ 外壁から漏水がある ■ 塗装の剥がれ □ タイルや石が剥がれている ■ 大きな亀裂がある □ 窓・ドアの廻りで漏水がある □ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ■ 外部手すり等の錆・腐朽 □ 既存点検等で指摘がある	多数 1 少々	塔屋軒天塗装膨れ多数有 土間クラック 壁クラック少々	B

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	□ 老朽改修 □ エコ改修 □ トイレ改修 □ 法令適合 □ 校内LAN □ 空調設置 □ 障害児等対策 □ 防犯対策 □ 構造体の耐震対策 □ 非構造部材の耐震対策 □ その他、内部改修工事		窓面台クラック 壁塗装剥がれ 壁クラック 天井材剥れ 床シート破損 壁クロス剥れ 床材劣化 トイレタイル破損、浮き	C
4 電気設備	□ 分電盤改修 □ 配線等の敷設工事 □ 昇降設備保守点検 □ その他、電気設備改修工事			C
5 機械設備	□ 給水配管改修 □ 排水配管改修 □ 消防設備の点検 □ その他、機械設備改修工事			C

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

H21:耐震補強工事

健全度
53 / 100点

通し番号	8				
学校名	松川北小学校	学校番号		調査日	平成30年12月11日
建物名	校舎2			記入者	緒方文行
棟番号	2			建築年度	昭和40 年度（ 1965 年度）
構造種別	RC造	延床面積	1,182 ㎡	階数	地上 2 階 地下 階

部位	仕様（該当する項目にチェック）	工事履歴（部位の更新） 年度	工事内容	劣化状況（複数回答可）	箇所数	特記事項	評価
1 屋根	□ アスファルト保護防水			□ 降雨時に雨漏りがある			
屋上	□ アスファルト露出防水			■ 天井等に雨漏り痕がある	2		
	■ シート防水、塗膜防水			■ 防水層に膨れ・破れ等がある	多数		
	□ 勾配屋根（長尺金属板、折板）			□ 屋根葺材に錆・損傷がある			B
	□ 勾配屋根（スレート、瓦類）			■ 笠木・立上り等に損傷がある	多数		
	□ その他の屋根 （ ）			□ 樋やルーフドレンを目視点検できない			
				□ 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	■ 塗仕上げ			■ 鉄筋が見えているところがある	3		
	□ タイル張り、石張り			□ 外壁から漏水がある			
	□ 金属系パネル			□ 塗装の剥がれ			
	□ コンクリート系パネル（ALC等）			□ タイルや石が剥がれている			
	□ その他の外壁 （ ）			□ 大きな亀裂がある			B
	■ アルミ製サッシ			□ 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	■ 鋼製サッシ			□ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	□ 断熱サッシ、省エネガラス			■ 外部手すり等の錆・腐朽	多数		
				□ 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項（改修内容及び点検等による指摘事項）	評価
3 内部仕上	□ 老朽改修		窓面台クラック	
（床・壁・天井）	□ エコ改修		壁塗装剥がれ	
（内部建具）	□ トイレ改修		壁クラック	
（間仕切等）	□ 法令適合		コンクリート床クラック多数	
（照明器具）	□ 校内LAN		床材劣化	
（エアコン）等	□ 空調設置			C
	□ 障害児等対策			
	□ 防犯対策			
	□ 構造体の耐震対策			
	□ 非構造部材の耐震対策			
	□ その他、内部改修工事			
4 電気設備	□ 分電盤改修			
	□ 配線等の敷設工事			C
	□ 昇降設備保守点検			
	□ その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	□ 給水配管改修			
	□ 排水配管改修			C
	□ 消防設備の点検			
	□ その他、機械設備改修工事			

特記事項（改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載）

H21:耐震補強工事

健全度
53 ／100点

通し番号	9				
学校名	松川北小学校	学校番号		調査日	平成30年12月11日
建物名	校舎3			記入者	緒方文行
棟番号	20			建築年度	平成3 年度（ 1991 年度）
構造種別	S造+RC造	延床面積	130 ㎡	階数	地上 2 階 地下 階

部位	仕様（該当する項目にチェック）	工事履歴（部位の更新） 年度 工事内容	劣化状況（複数回答可）	箇所数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	□ アスファルト保護防水		□ 降雨時に雨漏りがある		鋼鈑屋根トやや劣化	B
	□ アスファルト露出防水		■ 天井等に雨漏り痕がある	2		
	□ シート防水、塗膜防水		□ 防水層に膨れ・破れ等がある			
	■ 勾配屋根（長尺金属板、折板）		□ 屋根葺材に錆・損傷がある			
	□ 勾配屋根（スレート、瓦類）		□ 笠木・立上り等に損傷がある			
	□ その他の屋根 （ ）		□ 樋やルーフドレンを目視点検できない			
			□ 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	■ 塗仕上げ		□ 鉄筋が見えているところがある		壁クラック少々	B
	□ タイル張り、石張り		□ 外壁から漏水がある			
	□ 金属系パネル		■ 塗装の剥がれ	少々		
	□ コンクリート系パネル（ALC等）		□ タイルや石が剥がれている			
	□ その他の外壁 （ サイディング ）		□ 大きな亀裂がある			
	■ アルミ製サッシ		□ 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	■ 鋼製サッシ		□ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	□ 断熱サッシ、省エネガラス		□ 外部手すり等の錆・腐朽			
			□ 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項（改修内容及び点検等による指摘事項）	評価
3 内部仕上	□ 老朽改修		床シートの不具合	B
（床・壁・天井）	□ エコ改修		床モルタル割れ	
（内部建具）	□ トイレ改修			
（間仕切等）	□ 法令適合			
（照明器具）	□ 校内LAN			
（エアコン）等	□ 空調設置			
	□ 障害児等対策			
	□ 防犯対策			
	□ 構造体の耐震対策			
	□ 非構造部材の耐震対策			
	□ その他、内部改修工事			
4 電気設備	□ 分電盤改修			B
	□ 配線等の敷設工事			
	□ 昇降設備保守点検			
	□ その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	□ 給水配管改修			B
	□ 排水配管改修			
	□ 消防設備の点検			
	□ その他、機械設備改修工事			

特記事項（改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載）

H21:耐震補強工事

健全度
75 / 100点

通し番号	10				
学校名	松川北小学校	学校番号		調査日	平成30年12月11日
建物名	屋内運動場			記入者	緒方文行
棟番号	11,12-1,12-2,12-3			建築年度	昭和59 年度（ 1984 年度）
構造種別	S造+RC造	延床面積	1,414 ㎡	階数	地上 2 階 地下 階

部位	仕様（該当する項目にチェック）	工事履歴（部位の更新） 年度 工事内容	劣化状況（複数回答可）	箇所数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	□ アスファルト保護防水 □ アスファルト露出防水 □ シート防水、塗膜防水 ■ 勾配屋根（長尺金属板、折板） □ 勾配屋根（スレート、瓦類） □ その他の屋根 （ ）		□ 降雨時に雨漏りがある ■ 天井等に雨漏り痕がある □ 防水層に膨れ・破れ等がある □ 屋根葺材に錆・損傷がある □ 笠木・立上り等に損傷がある □ 樋やﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝを目視点検できない □ 既存点検等で指摘がある	5	屋根鋼鈑やや劣化	B
2 外壁	■ 塗仕上げ □ タイル張り、石張り □ 金属系パネル □ コンクリート系パネル（ALC等） □ その他の外壁 （ サイディング ） ■ アルミ製サッシ ■ 鋼製サッシ □ 断熱サッシ、省エネガラス		□ 鉄筋が見えているところがある □ 外壁から漏水がある □ 塗装の剥がれ □ タイルや石が剥がれている □ 大きな亀裂がある □ 窓・ドアの廻りで漏水がある ■ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある □ 外部手すり等の錆・腐朽 □ 既存点検等で指摘がある	4	土間コンクリートクラック 外部階段本体からずれ 玄関庇幕板劣化、破損 軒天ﾎﾞｰﾄﾞ破損 鉄骨ブレース錆渡 渡り廊下鉄骨部錆 玄関床ﾀｲﾙ浮き	B

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項（改修内容及び点検等による指摘事項）	評価
3 内部仕上（床・壁・天井）（内部建具）（間仕切等）（照明器具）（エアコン）等	□ 老朽改修 □ エコ改修 □ トイレ改修 □ 法令適合 □ 校内LAN □ 空調設置 □ 障害児等対策 □ 防犯対策 □ 構造体の耐震対策 □ 非構造部材の耐震対策 □ その他、内部改修工事		天井材破損 壁ボード破損 窓廻りシーリング不具合	B
4 電気設備	□ 分電盤改修 □ 配線等の敷設工事 □ 昇降設備保守点検 □ その他、電気設備改修工事			B
5 機械設備	□ 給水配管改修 □ 排水配管改修 □ 消防設備の点検 □ その他、機械設備改修工事			B

特記事項（改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載）

H27;防災機能強化工事（天井）

健全度
75 / 100点

通し番号	11				
学校名	松川中学校	学校番号		調査日	平成30年12月13日
建物名	校舎1			記入者	緒方文行
棟番号	14			建築年度	昭和53 年度（ 1978 年度）
構造種別	RC造	延床面積	2,695 ㎡	階数	地上 3 階 地下 階

部位	仕様（該当する項目にチェック）	工事履歴（部位の更新） 年度 工事内容	劣化状況（複数回答可）	箇所数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	□ アスファルト保護防水 □ アスファルト露出防水 ■ シート防水、塗膜防水 ■ 勾配屋根（長尺金属板、折板） □ 勾配屋根（スレート、瓦類） □ その他の屋根 （ ）		□ 降雨時に雨漏りがある ■ 天井等に雨漏り痕がある □ 防水層に膨れ・破れ等がある □ 屋根葺材に錆・損傷がある □ 笠木・立上り等に損傷がある □ 樋やルーフドレンを目視点検できない □ 既存点検等で指摘がある	5	折版屋根材止めボルト錆	B
2 外壁	■ 塗仕上げ □ タイル張り、石張り □ 金属系パネル □ コンクリート系パネル（ALC等） □ その他の外壁 （ サイディング ） ■ アルミ製サッシ ■ 鋼製サッシ □ 断熱サッシ、省エネガラス		□ 鉄筋が見えているところがある ■ 外壁から漏水がある ■ 塗装の剥がれ □ タイルや石が剥がれている □ 大きな亀裂がある □ 窓・ドアの廻りで漏水がある □ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ■ 外部手すり等の錆・腐朽 □ 既存点検等で指摘がある	2 少々 少々	壁クラック 目地シーリング劣化 雨樋破損 配管受け金物錆 軒天ボード一部破損	B

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項（改修内容及び点検等による指摘事項）	評価
3 内部仕上（床・壁・天井）（内部建具）（間仕切等）（照明器具）（エアコン）等	□ 老朽改修 □ エコ改修 □ トイレ改修 □ 法令適合 □ 校内LAN □ 空調設置 □ 障害児等対策 □ 防犯対策 □ 構造体の耐震対策 □ 非構造部材の耐震対策 □ その他、内部改修工事		天井材破損 窓廻りシーリング不具合 床材劣化 壁クラック トイレブース一部破損 壁塗装剥れ 巾木破損 壁クロス亀裂 建具建付け不良	C
4 電気設備	□ 分電盤改修 □ 配線等の敷設工事 □ 昇降設備保守点検 □ その他、電気設備改修工事		照明機器球切れ スピーカー破損	C
5 機械設備	□ 給水配管改修 □ 排水配管改修 □ 消防設備の点検 □ その他、機械設備改修工事		給水管保護材破損	C

特記事項（改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載）

H20：耐震補強工事

健全度
53 ／100点

通し番号	11				
学校名	松川中学校	学校番号		調査日	平成30年12月13日
建物名	校舎1			記入者	緒方文行
棟番号	14			建築年度	昭和53 年度（ 1978 年度）
構造種別	RC造	延床面積	2,695 ㎡	階数	地上 3 階 地下 階

部位	仕様（該当する項目にチェック）	工事履歴（部位の更新） 年度 工事内容	劣化状況（複数回答可）	箇所数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	□ アスファルト保護防水 □ アスファルト露出防水 ■ シート防水、塗膜防水 ■ 勾配屋根（長尺金属板、折板） □ 勾配屋根（スレート、瓦類） □ その他の屋根 （ ）		□ 降雨時に雨漏りがある ■ 天井等に雨漏り痕がある □ 防水層に膨れ・破れ等がある □ 屋根葺材に錆・損傷がある □ 笠木・立上り等に損傷がある □ 樋やルーフドレンを目視点検できない □ 既存点検等で指摘がある	5	折版屋根材止めボルト錆	B
2 外壁	■ 塗仕上げ □ タイル張り、石張り □ 金属系パネル □ コンクリート系パネル（ALC等） □ その他の外壁 （ サイディング ） ■ アルミ製サッシ ■ 鋼製サッシ □ 断熱サッシ、省エネガラス		□ 鉄筋が見えているところがある ■ 外壁から漏水がある ■ 塗装の剥がれ □ タイルや石が剥がれている □ 大きな亀裂がある □ 窓・ドアの廻りで漏水がある □ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ■ 外部手すり等の錆・腐朽 □ 既存点検等で指摘がある	2 少々 少々	壁クラック 目地シーリング劣化 雨樋破損 配管受け金物錆 軒天ボード一部破損	B

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項（改修内容及び点検等による指摘事項）	評価
3 内部仕上（床・壁・天井）（内部建具）（間仕切等）（照明器具）（エアコン）等	□ 老朽改修 □ エコ改修 □ トイレ改修 □ 法令適合 □ 校内LAN □ 空調設置 □ 障害児等対策 □ 防犯対策 □ 構造体の耐震対策 □ 非構造部材の耐震対策 □ その他、内部改修工事		天井材破損 窓廻りシーリング不具合 床材劣化 壁クラック トイレブース一部破損 壁塗装剥れ 巾木破損 壁クロス亀裂 建具建付け不良	C
4 電気設備	□ 分電盤改修 □ 配線等の敷設工事 □ 昇降設備保守点検 □ その他、電気設備改修工事		照明機器球切れ スピーカー破損	C
5 機械設備	□ 給水配管改修 □ 排水配管改修 □ 消防設備の点検 □ その他、機械設備改修工事		給水管保護材破損	C

特記事項（改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載）

H20：耐震補強工事

健全度
53 ／100点

通し番号	12				
学校名	松川中学校	学校番号		調査日	平成30年12月13日
建物名	校舎2			記入者	緒方文行
棟番号	15			建築年度	昭和53 年度(1978 年度)
構造種別	RC造	延床面積	2,102 ㎡	階数	地上 3 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新) 年度	工事内容	劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	■ アスファルト保護防水 □ アスファルト露出防水 □ シート防水、塗膜防水 □ 勾配屋根(長尺金属板、折板) □ 勾配屋根(スレート、瓦類) □ その他の屋根 ( )			□ 降雨時に雨漏りがある □ 天井等に雨漏り痕がある □ 防水層に膨れ・破れ等がある □ 屋根葺材に錆・損傷がある □ 笠木・立上り等に損傷がある □ 樋やルーフドレンを目視点検できない □ 既存点検等で指摘がある			B
2 外壁	■ 塗仕上げ □ タイル張り、石張り □ 金属系パネル □ コンクリート系パネル(ALC等) □ その他の外壁 (サイディング) ■ アルミ製サッシ ■ 鋼製サッシ □ 断熱サッシ、省エネガラス			□ 鉄筋が見えているところがある □ 外壁から漏水がある ■ 塗装の剥がれ □ タイルや石が剥がれている □ 大きな亀裂がある □ 窓・ドアの廻りで漏水がある □ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある □ 外部手すり等の錆・腐朽 □ 既存点検等で指摘がある	少々	雨樋劣化 壁クラック 渡り廊下鉄骨部錆	B

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	□ 老朽改修 □ エコ改修 □ トイレ改修 □ 法令適合 □ 校内LAN □ 空調設置 □ 障害児等対策 □ 防犯対策 □ 構造体の耐震対策 □ 非構造部材の耐震対策 □ その他、内部改修工事		ｶﾞﾗｽ廻りﾋﾞｰﾄ破損 壁クラック トイレブース破損 壁塗装剥れ トイレタイル破損 硝子破損 床軋み	C
4 電気設備	□ 分電盤改修 □ 配線等の敷設工事 □ 昇降設備保守点検 □ その他、電気設備改修工事			C
5 機械設備	□ 給水配管改修 □ 排水配管改修 □ 消防設備の点検 □ その他、機械設備改修工事			C

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

H21:耐震補強工事

健全度
53 / 100点

通し番号	13				
学校名	松川中学校	学校番号		調査日	平成30年12月13日
建物名	校舎3			記入者	緒方文行
棟番号	16			建築年度	昭和54 年度(1979 年度)
構造種別	RC造	延床面積	749 ㎡	階数	地上 2 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新) 年度	工事内容	劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	□ アスファルト保護防水 □ アスファルト露出防水 □ シート防水、塗膜防水 ■ 勾配屋根(長尺金属板、折板) □ 勾配屋根(スレート、瓦類) □ その他の屋根 ( )			□ 降雨時に雨漏りがある □ 天井等に雨漏り痕がある □ 防水層に膨れ・破れ等がある □ 屋根葺材に錆・損傷がある □ 笠木・立上り等に損傷がある □ 樋やルーフドレンを目視点検できない □ 既存点検等で指摘がある			B
2 外壁	■ 塗仕上げ □ タイル張り、石張り □ 金属系パネル □ コンクリート系パネル(ALC等) □ その他の外壁 (サイディング) ■ アルミ製サッシ ■ 鋼製サッシ □ 断熱サッシ、省エネガラス			■ 鉄筋が見えているところがある □ 外壁から漏水がある ■ 塗装の剥がれ □ タイルや石が剥がれている □ 大きな亀裂がある □ 窓・ドアの廻りで漏水がある □ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある □ 外部手すり等の錆・腐朽 □ 既存点検等で指摘がある	1 多数	巾木モルタル破損 壁クラック 土間コンクリートクラック 渡り廊下鉄骨部錆	B

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	□ 老朽改修 □ エコ改修 □ トイレ改修 □ 法令適合 □ 校内LAN □ 空調設置 □ 障害児等対策 □ 防犯対策 □ 構造体の耐震対策 □ 非構造部材の耐震対策 □ その他、内部改修工事		床材劣化 壁ボード破損 壁、梁クラック 硝子破損 床シート破損	B
4 電気設備	□ 分電盤改修 □ 配線等の敷設工事 □ 昇降設備保守点検 □ その他、電気設備改修工事		照明機器錆	B
5 機械設備	□ 給水配管改修 □ 排水配管改修 □ 消防設備の点検 □ その他、機械設備改修工事		給水管保護材破損	B

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

H20:耐震補強工事

健全度
75 / 100点

通し番号	I4				
学校名	松川中学校	学校番号		調査日	平成30年12月13日
建物名	校舎4			記入者	緒方文行
棟番号	33			建築年度	平成28 年度（ 2016 年度）
構造種別	S造	延床面積	455 ㎡	階数	地上 1 階 地下 階

部位	仕様（該当する項目にチェック）	工事履歴（部位の更新） 年度	工事内容	劣化状況（複数回答可）	箇所数	特記事項	評価
1 屋根	□ アスファルト保護防水			□ 降雨時に雨漏りがある			
屋上	□ アスファルト露出防水			□ 天井等に雨漏り痕がある			
	□ シート防水、塗膜防水			□ 防水層に膨れ・破れ等がある			
	■ 勾配屋根（長尺金属板、折板）			□ 屋根葺材に錆・損傷がある			A
	□ 勾配屋根（スレート、瓦類）			□ 笠木・立上り等に損傷がある			
	□ その他の屋根 （ ）			□ 樋やルーフドレンを目視点検できない			
				□ 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	■ 塗仕上げ			□ 鉄筋が見えているところがある		壁クラック少々	
	□ タイル張り、石張り			□ 外壁から漏水がある			
	□ 金属系パネル			□ 塗装の剥がれ			
	□ コンクリート系パネル（ALC等）			□ タイルや石が剥がれている			
	□ その他の外壁 （ サイディング ）			□ 大きな亀裂がある			A
	■ アルミ製サッシ			□ 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	■ 鋼製サッシ			□ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	□ 断熱サッシ、省エネガラス			□ 外部手すり等の錆・腐朽			
				□ 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項（改修内容及び点検等による指摘事項）	評価
3 内部仕上	□ 老朽改修			
（床・壁・天井）	□ エコ改修			
（内部建具）	□ トイレ改修			
（間仕切等）	□ 法令適合			
（照明器具）	□ 校内LAN			
（エアコン）等	□ 空調設置			A
	□ 障害児等対策			
	□ 防犯対策			
	□ 構造体の耐震対策			
	□ 非構造部材の耐震対策			
	□ その他、内部改修工事			
4 電気設備	□ 分電盤改修			
	□ 配線等の敷設工事			
	□ 昇降設備保守点検			A
	□ その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	□ 給水配管改修			
	□ 排水配管改修			A
	□ 消防設備の点検			
	□ その他、機械設備改修工事			

特記事項（改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載）

健全度
100／100点

通し番号	15				
学校名	松川中学校	学校番号		調査日	平成30年12月13日
建物名	屋内運動場			記入者	緒方文行
棟番号	19-1,19-2			建築年度	昭和55 年度（ 1980 年度）
構造種別	RC造	延床面積	1,737 ㎡	階数	地上 2 階 地下 階

部位	仕様（該当する項目にチェック）	工事履歴（部位の更新） 年度	工事内容	劣化状況（複数回答可）	箇所数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	□ アスファルト保護防水			□ 降雨時に雨漏りがある			B
	□ アスファルト露出防水			■ 天井等に雨漏り痕がある	3		
	□ シート防水、塗膜防水			□ 防水層に膨れ・破れ等がある			
	■ 勾配屋根（長尺金属板、折板）			□ 屋根葺材に錆・損傷がある			
	□ 勾配屋根（スレート、瓦類）			□ 笠木・立上り等に損傷がある			
	□ その他の屋根 （ ）			□ 樋やルーフドレンを目視点検できない			
				□ 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	■ 塗仕上げ			□ 鉄筋が見えているところがある		渡り廊下鉄骨部錆	B
	□ タイル張り、石張り			□ 外壁から漏水がある		折版屋根劣化	
	□ 金属系パネル			■ 塗装の剥がれ	多数	雨樋受け金物劣化	
	□ コンクリート系パネル（ALC等）			□ タイルや石が剥がれている		カーテンウォール劣化進行	
	□ その他の外壁 （ サイディング ）			□ 大きな亀裂がある		扉枠廻り破損	
	■ アルミ製サッシ			□ 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	■ 鋼製サッシ			■ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある	10		
	□ 断熱サッシ、省エネガラス			□ 外部手すり等の錆・腐朽			
				□ 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項（改修内容及び点検等による指摘事項）	評価
3 内部仕上	□ 老朽改修		壁板張り塗装劣化	B
（床・壁・天井）	□ エコ改修		床コンクリートクラック	
（内部建具）	□ トイレ改修		床Pタイル破損	
（間仕切等）	□ 法令適合		ガラス廻りビート破損	
（照明器具）	□ 校内LAN			
（エアコン）等	□ 空調設置			
	□ 障害児等対策			
	□ 防犯対策			
	□ 構造体の耐震対策			
	□ 非構造部材の耐震対策			
	□ その他、内部改修工事			
4 電気設備	□ 分電盤改修			B
	□ 配線等の敷設工事			
	□ 昇降設備保守点検			
	□ その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	□ 給水配管改修		設備機器錆	B
	□ 排水配管改修			
	□ 消防設備の点検			
	□ その他、機械設備改修工事			

特記事項（改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載）

H19：耐震補強工事

健全度
75 ／100点

通し番号	16				
学校名	福与保育園	学校番号		調査日	平成30年12月10日
建物名	校舎1			記入者	緒方文行
棟番号				建築年度	昭和53 年度（ 1978 年度）
構造種別	W造	延床面積	316 ㎡	階数	地上 1 階 地下 階

部位	仕様（該当する項目にチェック）	工事履歴（部位の更新） 年度	工事内容	劣化状況（複数回答可）	箇所数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	□ アスファルト保護防水			□ 降雨時に雨漏りがある		屋根材やや劣化	B
	□ アスファルト露出防水			■ 天井等に雨漏り痕がある	1		
	□ シート防水、塗膜防水			□ 防水層に膨れ・破れ等がある			
	■ 勾配屋根（長尺金属板、折板）			□ 屋根葺材に錆・損傷がある			
	□ 勾配屋根（スレート、瓦類）			□ 笠木・立上り等に損傷がある			
	□ その他の屋根 （ ）			□ 樋やルーフドレンを目視点検できない			
				□ 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	■ 塗仕上げ			■ 鉄筋が見えているところがある	1	土間コンクリートクラック	B
	□ タイル張り、石張り			□ 外壁から漏水がある			
	□ 金属系パネル			□ 塗装の剥がれ			
	□ コンクリート系パネル（ALC等）			□ タイルや石が剥がれている			
	■ その他の外壁 （ サイディング ）			□ 大きな亀裂がある			
	■ アルミ製サッシ			□ 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	■ 鋼製サッシ			■ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある	4		
	□ 断熱サッシ、省エネガラス			□ 外部手すり等の錆・腐朽			
				□ 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項（改修内容及び点検等による指摘事項）	評価
3 内部仕上	□ 老朽改修		窓廻りシーリング不具合	C
（床・壁・天井）	□ エコ改修		床材劣化	
（内部建具）	□ トイレ改修		ボード継ぎ目割れ	
（間仕切等）	□ 法令適合			
（照明器具）	□ 校内LAN			
（エアコン）等	□ 空調設置			
	□ 障害児等対策			
	□ 防犯対策			
	□ 構造体の耐震対策			
	□ 非構造部材の耐震対策			
	□ その他、内部改修工事			
4 電気設備	□ 分電盤改修			C
	□ 配線等の敷設工事			
	□ 昇降設備保守点検			
	□ その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	□ 給水配管改修		オイルタンク錆、劣化	C
	□ 排水配管改修			
	□ 消防設備の点検			
	□ その他、機械設備改修工事			

特記事項（改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載）

健全度
53 ／100点

通し番号	17				
学校名	大島保育園	学校番号		調査日	平成30年12月13日
建物名	校舎1			記入者	緒方文行
棟番号				建築年度	昭和50 年度（ 1975 年度）
構造種別	S造+W造	延床面積	830 ㎡	階数	地上 1 階 地下 階

部位	仕様（該当する項目にチェック）	工事履歴（部位の更新） 年度 工事内容	劣化状況（複数回答可）	箇所数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	□ アスファルト保護防水		■ 降雨時に雨漏りがある	1		B
	□ アスファルト露出防水		■ 天井等に雨漏り痕がある	6		
	□ シート防水、塗膜防水		□ 防水層に膨れ・破れ等がある			
	■ 勾配屋根（長尺金属板、折板）		□ 屋根葺材に錆・損傷がある			
	□ 勾配屋根（スレート、瓦類）		□ 笠木・立上り等に損傷がある			
	□ その他の屋根 （ ）		□ 樋やルーフドレンを目視点検できない			
			□ 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	■ 塗仕上げ		■ 鉄筋が見えているところがある	1	目地シーリング劣化 土間クラック少々 下屋鉄骨劣化 軒天ボード一部破損 屋根折版劣化 モルタル巾木破損	B
	□ タイル張り、石張り		□ 外壁から漏水がある			
	□ 金属系パネル		□ 塗装の剥がれ			
	□ コンクリート系パネル（ALC等）		□ タイルや石が剥がれている			
	■ その他の外壁 （ サイディング ）		□ 大きな亀裂がある			
	■ アルミ製サッシ		□ 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	■ 鋼製サッシ		□ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	□ 断熱サッシ、省エネガラス		□ 外部手すり等の錆・腐朽			
			□ 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項（改修内容及び点検等による指摘事項）	評価
3 内部仕上（床・壁・天井）（内部建具）（間仕切等）（照明器具）（エアコン）等	□ 老朽改修		網戸不具合	C
	□ エコ改修		壁ボード継ぎ目部割れ	
	□ トイレ改修		床軋み	
	□ 法令適合		壁クロス劣化	
	□ 校内LAN		ステージ框部破損	
	□ 空調設置		トイレブース破損	
	□ 障害児等対策		木製扉一部劣化	
	□ 防犯対策			
	□ 構造体の耐震対策			
	□ 非構造部材の耐震対策			
	□ その他、内部改修工事			
4 電気設備	□ 分電盤改修			C
	□ 配線等の敷設工事			
	□ 昇降設備保守点検			
	□ その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	□ 給水配管改修		オイルタンク錆	C
	□ 排水配管改修			
	□ 消防設備の点検			
	□ その他、機械設備改修工事			

特記事項（改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載）

健全度
53 ／100点

通し番号	18				
学校名	双葉保育園	学校番号		調査日	平成30年12月10日
建物名	校舎1			記入者	緒方文行
棟番号				建築年度	昭和60 年度（ 1985 年度）
構造種別	S造	延床面積	937 ㎡	階数	地上 1 階 地下 階

部位	仕様（該当する項目にチェック）	工事履歴（部位の更新） 年度	工事内容	劣化状況（複数回答可）	箇所数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	□ アスファルト保護防水			■ 降雨時に雨漏りがある	10以上	屋根材やや劣化、一部破損	D
	□ アスファルト露出防水			■ 天井等に雨漏り痕がある	5		
	□ シート防水、塗膜防水			□ 防水層に膨れ・破れ等がある			
	□ 勾配屋根（長尺金属板、折板）			□ 屋根葺材に錆・損傷がある			
	■ 勾配屋根（スレート、瓦類）			□ 笠木・立上り等に損傷がある			
	□ その他の屋根 （ ）			□ 樋やルーフドレンを目視点検できない			
				□ 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	■ 塗仕上げ			■ 鉄筋が見えているところがある	1	土間コンクリートクラック 目地シーリング劣化 軒天ボード破損 下屋鉄骨部錆 雨樋劣化	B
	□ タイル張り、石張り			□ 外壁から漏水がある			
	□ 金属系パネル			□ 塗装の剥がれ			
	□ コンクリート系パネル（ALC等）			□ タイルや石が剥がれている			
	■ その他の外壁 （ サイディング ）			□ 大きな亀裂がある			
	■ アルミ製サッシ			□ 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	■ 鋼製サッシ			■ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある	4		
	□ 断熱サッシ、省エネガラス			□ 外部手すり等の錆・腐朽			
				□ 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項（改修内容及び点検等による指摘事項）	評価
3 内部仕上（床・壁・天井）（内部建具）（間仕切等）（照明器具）（エアコン）等	□ 老朽改修		壁クラック	B
	□ エコ改修		トイレタイル破損	
	□ トイレ改修		床軋み	
	□ 法令適合		硝子破損	
	□ 校内LAN		床目地破損	
	□ 空調設置			
	□ 障害児等対策			
	□ 防犯対策			
	□ 構造体の耐震対策			
	□ 非構造部材の耐震対策			
	□ その他、内部改修工事			
4 電気設備	□ 分電盤改修		照明機器球切れ	B
	□ 配線等の敷設工事			
	□ 昇降設備保守点検			
	□ その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	□ 給水配管改修		設備機器錆	B
	□ 排水配管改修			
	□ 消防設備の点検			
	□ その他、機械設備改修工事			

特記事項（改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載）

健全度
69 ／100点

通し番号	19				
学校名	上片桐保育園	学校番号		調査日	平成30年12月12日
建物名	校舎1			記入者	緒方文行
棟番号				建築年度	平成15 年度（ 2003 年度）
構造種別	S造	延床面積	1,700 ㎡	階数	地上 1 階 地下 階

部位	仕様（該当する項目にチェック）	工事履歴（部位の更新） 年度	工事内容	劣化状況（複数回答可）	箇所数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	□ アスファルト保護防水			■ 降雨時に雨漏りがある	2	トップライト部漏水痕	B
	□ アスファルト露出防水			■ 天井等に雨漏り痕がある	7		
	□ シート防水、塗膜防水			□ 防水層に膨れ・破れ等がある			
	■ 勾配屋根（長尺金属板、折板）			□ 屋根葺材に錆・損傷がある			
	□ 勾配屋根（スレート、瓦類）			□ 笠木・立上り等に損傷がある			
	□ その他の屋根 （ ）			□ 樋やルーフドレンを目視点検できない			
				□ 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	■ 塗仕上げ			□ 鉄筋が見えているところがある		外壁サイディング破損 目地シーリング劣化 雨樋破損 下屋木架構劣化 土間クラック 巾木モルタル割れ ベランダ床材腐食	B
	□ タイル張り、石張り			□ 外壁から漏水がある			
	□ 金属系パネル			□ 塗装の剥がれ			
	□ コンクリート系パネル（ALC等）			□ タイルや石が剥がれている			
	■ その他の外壁 （ サイディング ）			□ 大きな亀裂がある			
	■ アルミ製サッシ			□ 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	■ 鋼製サッシ			□ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	□ 断熱サッシ、省エネガラス			□ 外部手すり等の錆・腐朽			
				□ 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項（改修内容及び点検等による指摘事項）	評価
3 内部仕上（床・壁・天井）（内部建具）（間仕切等）（照明器具）（エアコン）等	□ 老朽改修		手洗い場水はけ不良	A
	□ エコ改修		壁入隅部クロス亀裂	
	□ トイレ改修		床目地シーリング劣化	
	□ 法令適合		壁ボード割れ	
	□ 校内LAN		木扉取っ手破損	
	□ 空調設置		廊下木ベンチ劣化	
	□ 障害児等対策			
	□ 防犯対策			
	□ 構造体の耐震対策			
	□ 非構造部材の耐震対策			
	□ その他、内部改修工事			
4 電気設備	□ 分電盤改修		火災報知器破損	A
	□ 配線等の敷設工事			
	□ 昇降設備保守点検			
	□ その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	□ 給水配管改修		給水管保護材破損	A
	□ 排水配管改修			
	□ 消防設備の点検			
	□ その他、機械設備改修工事			

特記事項（改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載）

健全度
91 ／100点

通し番号	20				
学校名	名子中央保育園	学校番号		調査日	平成30年12月11日
建物名	校舎1			記入者	緒方文行
棟番号				建築年度	平成26 年度(2014 年度)
構造種別	S造+W造	延床面積	1,971 ㎡	階数	地上 1 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新) 年度	工事内容	劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	□ アスファルト保護防水 □ アスファルト露出防水 □ シート防水、塗膜防水 ■ 勾配屋根(長尺金属板、折板) □ 勾配屋根(スレート、瓦類) □ その他の屋根 ( )			□ 降雨時に雨漏りがある □ 天井等に雨漏り痕がある □ 防水層に膨れ・破れ等がある □ 屋根葺材に錆・損傷がある □ 笠木・立上り等に損傷がある □ 樋やﾙｰﾌﾞﾚﾝを目視点検できない □ 既存点検等で指摘がある			A
2 外壁	■ 塗仕上げ □ タイル張り、石張り □ 金属系パネル □ コンクリート系パネル(ALC等) ■ その他の外壁 (サイディング等) ■ アルミ製サッシ ■ 鋼製サッシ □ 断熱サッシ、省エネガラス			□ 鉄筋が見えているところがある ■ 外壁から漏水がある □ 塗装の剥がれ □ タイルや石が剥がれている □ 大きな亀裂がある □ 窓・ドアの廻りで漏水がある □ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある □ 外部手すり等の錆・腐朽 □ 既存点検等で指摘がある	1	木製扉やや劣化 外壁モルタルやや劣化	A

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	□ 老朽改修 □ エコ改修 □ トイレ改修 □ 法令適合 □ 校内LAN □ 空調設置 □ 障害児等対策 □ 防犯対策 □ 構造体の耐震対策 □ 非構造部材の耐震対策 □ その他、内部改修工事		木製扉建付け不具合 床目地やや劣化 木戸当たりゴム破損 木製扉建付け不具合	A
4 電気設備	□ 分電盤改修 □ 配線等の敷設工事 □ 昇降設備保守点検 □ その他、電気設備改修工事		コンセント接触不具合	A
5 機械設備	□ 給水配管改修 □ 排水配管改修 □ 消防設備の点検 □ その他、機械設備改修工事			A

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

外構;木製格子一部破損、
中庭ベランダ木床劣化

健全度
100 / 100点

通し番号	21				
学校名	名子児童館	学校番号		調査日	平成30年12月11日
建物名	校舎1			記入者	緒方文行
棟番号				建築年度	昭和57 年度（ 1982 年度）
構造種別	S造+W造	延床面積	248 ㎡	階数	地上 1 階 地下 階

部位	仕様（該当する項目にチェック）	工事履歴（部位の更新） 年度	工事内容	劣化状況（複数回答可）	箇所数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	□ アスファルト保護防水			□ 降雨時に雨漏りがある			B
	□ アスファルト露出防水			■ 天井等に雨漏り痕がある	5		
	□ シート防水、塗膜防水			□ 防水層に膨れ・破れ等がある			
	■ 勾配屋根（長尺金属板、折板）			□ 屋根葺材に錆・損傷がある			
	□ 勾配屋根（スレート、瓦類）			□ 笠木・立上り等に損傷がある			
	□ その他の屋根 （ ）			□ 樋やルーフドレンを目視点検できない			
				□ 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	■ 塗仕上げ			□ 鉄筋が見えているところがある		外壁汚れ、浮き	B
	□ タイル張り、石張り			□ 外壁から漏水がある			
	□ 金属系パネル			□ 塗装の剥がれ			
	□ コンクリート系パネル（ALC等）			□ タイルや石が剥がれている			
	■ その他の外壁 （ サイディング等 ）			□ 大きな亀裂がある			
	■ アルミ製サッシ			□ 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	■ 鋼製サッシ			■ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある	2		
	□ 断熱サッシ、省エネガラス			□ 外部手すり等の錆・腐朽			
				□ 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項（改修内容及び点検等による指摘事項）	評価
3 内部仕上	□ 老朽改修		トイレタイル破損	B
（床・壁・天井）	□ エコ改修		床板材劣化	
（内部建具）	□ トイレ改修		壁材破損	
（間仕切等）	□ 法令適合			
（照明器具）	□ 校内LAN			
（エアコン）等	□ 空調設置			
	□ 障害児等対策			
	□ 防犯対策			
	□ 構造体の耐震対策			
	□ 非構造部材の耐震対策			
	□ その他、内部改修工事			
4 電気設備	□ 分電盤改修		照明機器破損	B
	□ 配線等の敷設工事			
	□ 昇降設備保守点検			
	□ その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	□ 給水配管改修		設備機器錆、劣化	B
	□ 排水配管改修			
	□ 消防設備の点検			
	□ その他、機械設備改修工事			

特記事項（改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載）

健全度
75 ／100点

通し番号	22				
学校名	上片桐児童センター	学校番号		調査日	平成30年12月12日
建物名	校舎1			記入者	緒方文行
棟番号				建築年度	平成12 年度(2000 年度)
構造種別	S造+W造	延床面積	140 ㎡	階数	地上 1 階 地下 階

部位	仕様（該当する項目にチェック）	工事履歴（部位の更新） 年度	工事履歴（部位の更新） 工事内容	劣化状況（複数回答可）	箇所数	特記事項	評価
1 屋根	□ アスファルト保護防水			□ 降雨時に雨漏りがある		トップライト部漏水痕	B
屋上	□ アスファルト露出防水			■ 天井等に雨漏り痕がある	4		
	□ シート防水、塗膜防水			□ 防水層に膨れ・破れ等がある			
	■ 勾配屋根（長尺金属板、折板）			□ 屋根葺材に錆・損傷がある			
	□ 勾配屋根（スレート、瓦類）			□ 笠木・立上り等に損傷がある			
	□ その他の屋根 （ ）			□ 樋やルーフドレンを目視点検できない			
				□ 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	■ 塗仕上げ			□ 鉄筋が見えているところがある		外壁サイディング破損 目地シーリング劣化 雨樋破損 下屋木架構劣化 軒天ボード一部破損	B
	□ タイル張り、石張り			□ 外壁から漏水がある			
	□ 金属系パネル			□ 塗装の剥がれ			
	□ コンクリート系パネル（ALC等）			□ タイルや石が剥がれている			
	■ その他の外壁 （ サイディング ）			■ 大きな亀裂がある	1		
	■ アルミ製サッシ			□ 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	■ 鋼製サッシ			□ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	□ 断熱サッシ、省エネガラス			□ 外部手すり等の錆・腐朽			
				□ 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項（改修内容及び点検等による指摘事項）	評価
3 内部仕上	□ 老朽改修		台所壁ボードクラック少々	A
（床・壁・天井）	□ エコ改修		網戸レール不具合	
（内部建具）	□ トイレ改修		天井木造作隙間	
（間仕切等）	□ 法令適合		壁クロス劣化	
（照明器具）	□ 校内LAN		トイレ壁と床部との隙間からの漏水	
（エアコン）等	□ 空調設置			
	□ 障害児等対策			
	□ 防犯対策			
	□ 構造体の耐震対策			
	□ 非構造部材の耐震対策			
	□ その他、内部改修工事			
4 電気設備	□ 分電盤改修		照明機器球切れ	A
	□ 配線等の敷設工事			
	□ 昇降設備保守点検			
	□ その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	□ 給水配管改修		給水管保護材破損	A
	□ 排水配管改修			
	□ 消防設備の点検			
	□ その他、機械設備改修工事			

特記事項（改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載）

駐車場アスファルト舗装に大きな亀裂

健全度
91 / 100点

通し番号	23				
学校名	子育て支援センター	学校番号		調査日	平成30年12月10日
建物名	校舎1			記入者	緒方文行
棟番号				建築年度	昭和56 年度（ 1981 年度）
構造種別	S造+W造	延床面積	924 ㎡	階数	地上 1 階 地下 階

部位	仕様（該当する項目にチェック）	工事履歴（部位の更新）年度	工事内容	劣化状況（複数回答可）	箇所数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	□ アスファルト保護防水			□ 降雨時に雨漏りがある		屋根材全体的に劣化	B
	□ アスファルト露出防水			■ 天井等に雨漏り痕がある	3		
	□ シート防水、塗膜防水			□ 防水層に膨れ・破れ等がある			
	■ 勾配屋根（長尺金属板、折板）			□ 屋根葺材に錆・損傷がある			
	□ 勾配屋根（スレート、瓦類）			□ 笠木・立上り等に損傷がある			
	□ その他の屋根 （ ）			□ 樋やルーフドレンを目視点検できない			
				□ 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	■ 塗仕上げ			□ 鉄筋が見えているところがある		土間コンクリートクラック 雨樋、掴み金物劣化 窓廻りシーリング不具合 壁材破損	B
	□ タイル張り、石張り			■ 外壁から漏水がある	少々		
	□ 金属系パネル			□ 塗装の剥がれ			
	□ コンクリート系パネル（ALC等）			□ タイルや石が剥がれている			
	■ その他の外壁 （ サイディング ）			■ 大きな亀裂がある	1		
	■ アルミ製サッシ			□ 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	■ 鋼製サッシ			□ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	□ 断熱サッシ、省エネガラス			□ 外部手すり等の錆・腐朽			
				□ 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項（改修内容及び点検等による指摘事項）	評価
3 内部仕上（床・壁・天井）（内部建具）（間仕切等）（照明器具）（エアコン）等	□ 老朽改修		壁クロス剥れ	B
	□ エコ改修		壁汚れ	
	□ トイレ改修		モルタル壁クラック	
	□ 法令適合		扉ガラリ破損	
	□ 校内LAN			
	□ 空調設置			
	□ 障害児等対策			
	□ 防犯対策			
	□ 構造体の耐震対策			
	□ 非構造部材の耐震対策			
	□ その他、内部改修工事			
4 電気設備	□ 分電盤改修			B
	□ 配線等の敷設工事			
	□ 昇降設備保守点検			
	□ その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	□ 給水配管改修			B
	□ 排水配管改修			
	□ 消防設備の点検			
	□ その他、機械設備改修工事			

特記事項（改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載）

健全度
75 ／100点